

那須烏山市  
まちづくりに関する市民意向調査  
結果報告書

令和4年2月

## 調査の概要

### 1 調査の目的

本調査については、人口減少・少子高齢化の進展、地域経済力の衰退や新型コロナウイルス感染症といった新たな問題への対応など、本市を取り巻く社会経済環境が一段と厳しさを増している状況を踏まえ、新たなまちづくりビジョンとなる次期総合計画の策定や個別計画の策定・見直しを進める際の基礎資料として活用する。

### 2 調査の方法

調査地域：那須烏山市全域

調査対象：18歳以上の市民

標本数：2,000

抽出方法：18歳以上の市民から無作為抽出

調査方法：郵送による調査票の配布・回収、回答についてはインターネット（パソコン・スマートフォン）でも可能

調査時期：令和3年11月

### 3 調査票の配布数及び回収結果

配布数：2,000

有効回収数：764（内パソコン・スマートフォンでの回答 147）

有効回収率：38.2%（内パソコン・スマートフォン 7.4%）

#### 集計・分析等に関する留意点

比率は百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示した。

四捨五入したため、百分率の合計が100%にならないことがある。

基数となるべき実数は、“n = ”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。

回答が2つ以上ある場合は、表内の構成比の合計が100%を超え、無回答分の構成比を含めば、回答が2つの場合は200%、3つの場合は300%となるよう表示している。

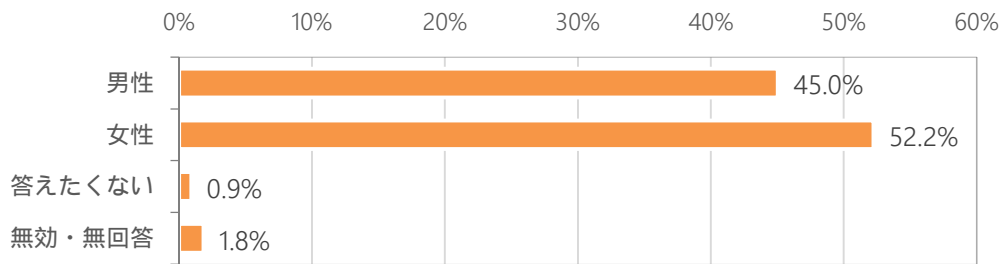
回答設定数を上回って回答した場合には無効としている。

問の中には「 を選んだ方は問 にお進みください。」というような様々な制限があり、回答者の数が少ない問も含まれる。クロス分析においても同様、項目によっては回答者が少なく、有意性が低い場合がある。

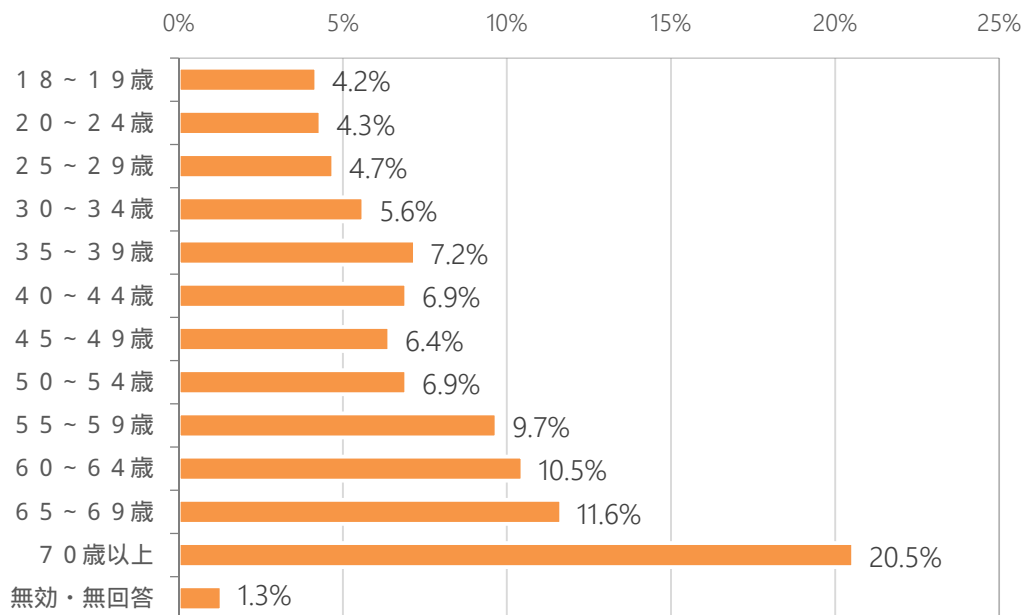
## 調査の結果

### 1 回答対象の属性

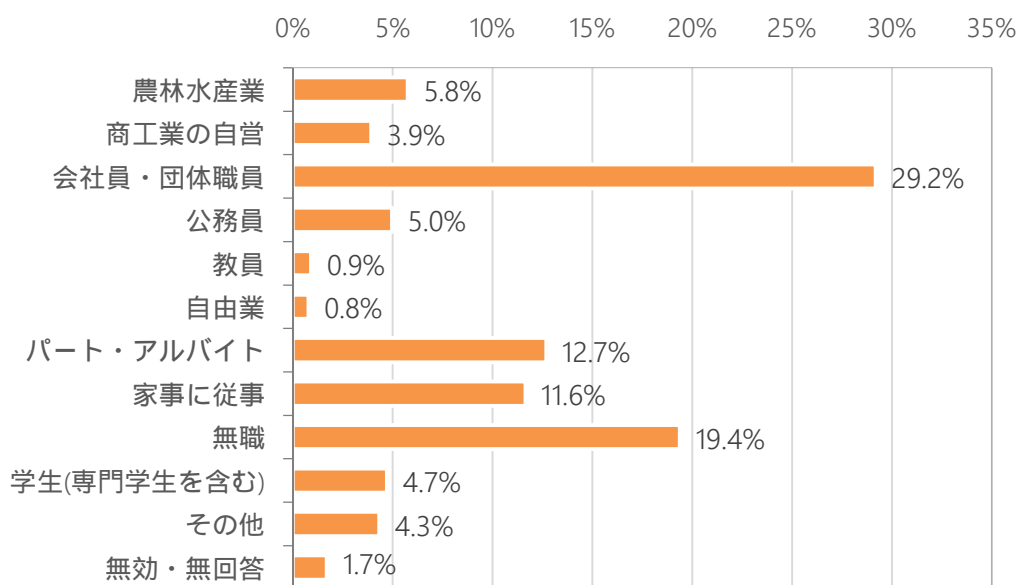
#### 1-1 性別 [ 問 1 : 単数回答 n=764 ]



#### 1-2 年齢 [ 問 2 : 単数回答 n=764 ]



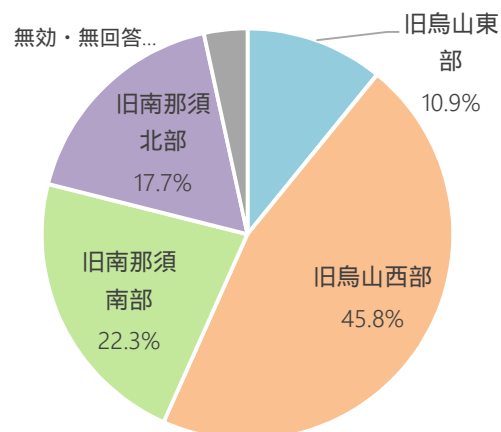
#### 1-3 職業 [ 問 3 : 単数回答 n=764 ]



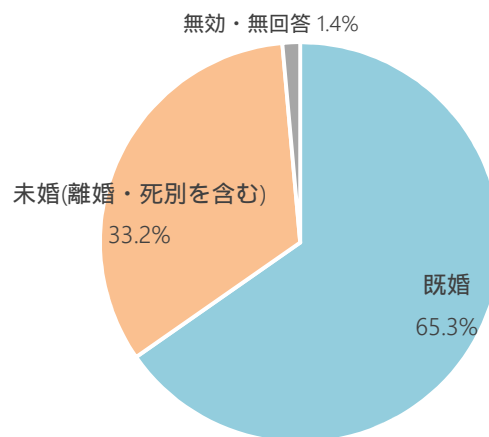
1-4 居住地域 [ 問 4 : 単数回答 n=764 ]

地域区分の考え方：基本構想“将来都市構造イメージ図”より

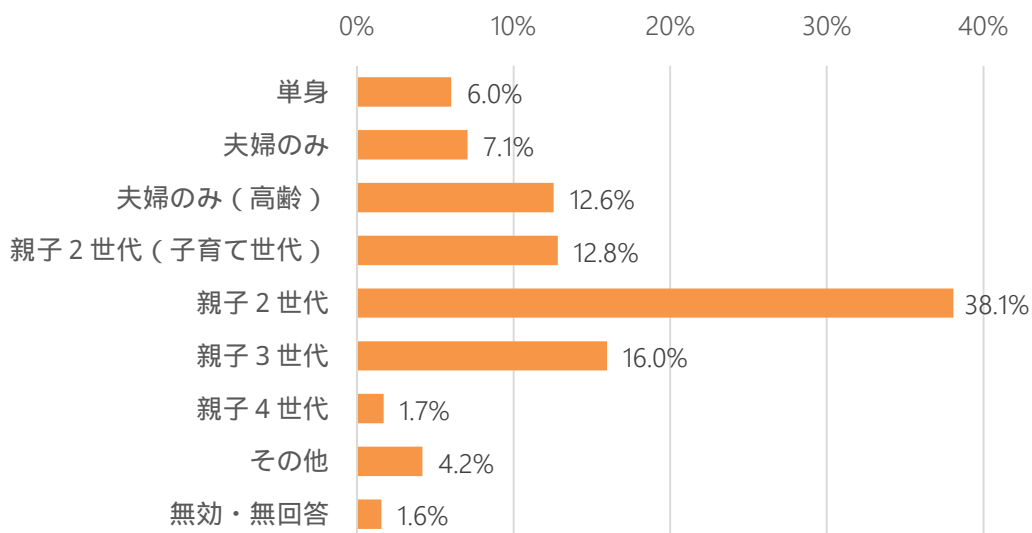
- 『にぎわいと文化の清流ゾーン』 ... 旧烏山西部
- 『豊かな暮らしの丘ゾーン』 ... 旧南那須南部
- 『活力あふれる交流の里ゾーン』 ... 旧南那須北部
- 『自然とふれあう八溝の森ゾーン』 ... 旧烏山東部



1-5 結婚の有無 [ 問 5 : 単数回答 n=764 ]



1-6 家族構成 [ 問 6 : 単数回答 n=764 ]



1 夫婦のみ(高齢)

... 『年齢』において“65歳以上”と回答した方が“夫または妻のみと同居”と回答したケースが対象

2 親子2世代(子育て世代)

... 『年齢』において“18歳～19歳”と回答した方が“親のみと同居”と回答したケース及び“20歳～49歳”と回答した方が“子のみと同居”と回答したケースが対象：国民生活白書(内閣府)における子育て世代(これから結婚しようとする若年から、大学生の子どもの親までで構成される世代)の定義より

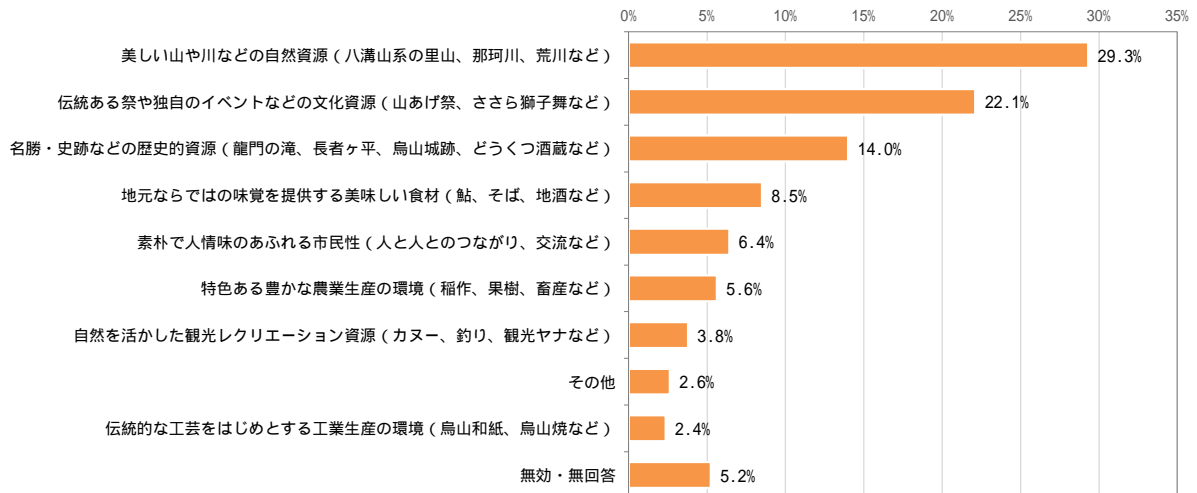
## 2 那須烏山市のこれからのまちづくりについて

### 2-1 那須烏山市の誇れるもの・特色 [ 問 7 : 単数回答 n=764 ]

「美しい山や川などの自然資源」「伝統ある祭りや独自のイベントなどの文化資源」に誇りを持っている。

#### ( 結果概要 )

- ・若い世代は、“伝統ある祭や独自性のある文化”を大切にする意識が高い。
- ・中高年世代は、“美しい山や川などの自然”に対する誇りの意識が高い。

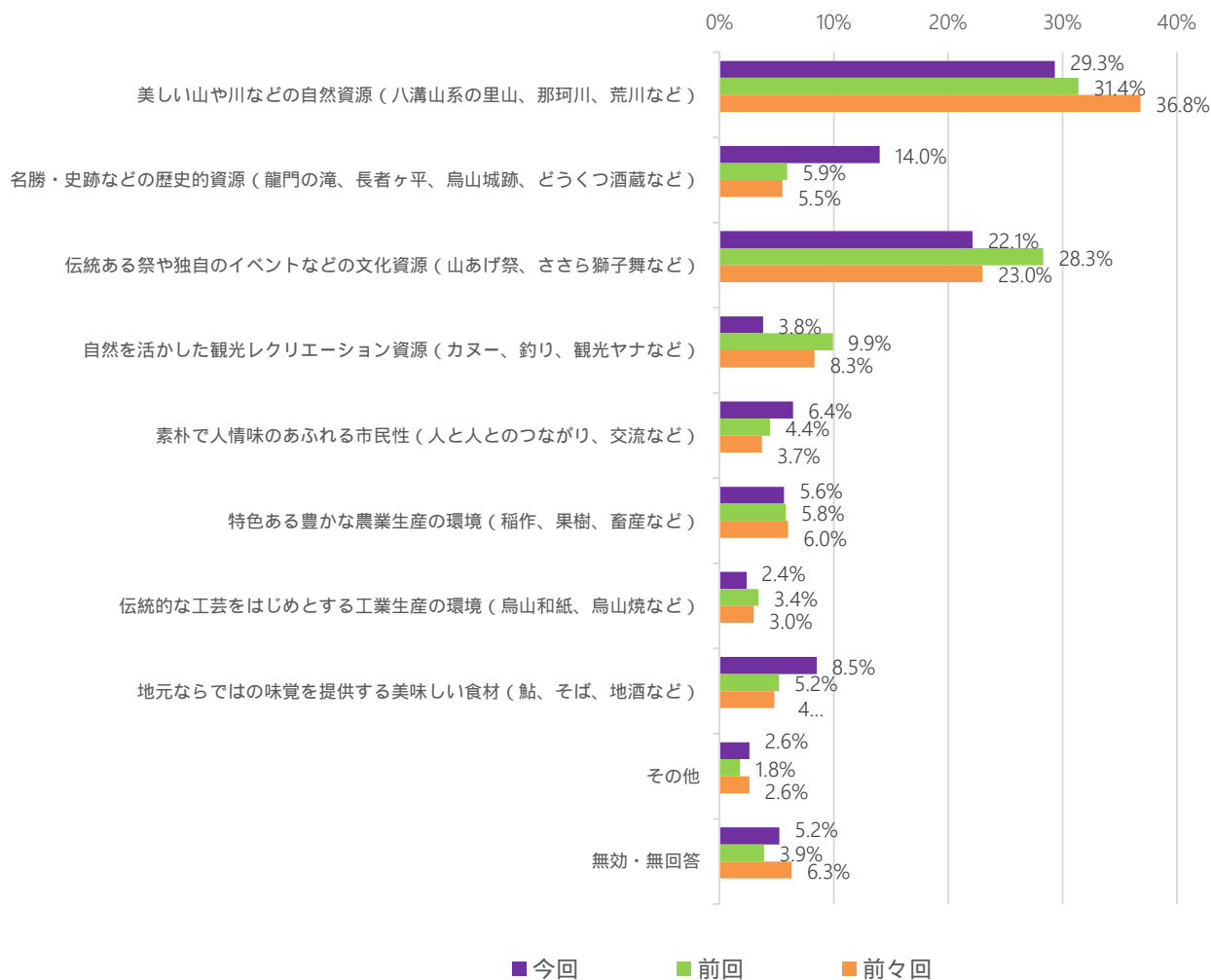


#### - 『その他』意見 -

- ・「食」を中心に、農・商工をリンクさせた集客イベントの充実
- ・田舎ならではの騒音のないのどかな環境
- ・子供に対する教育を中心とした特色ある魅力的な環境

	n	美しい山や川などの自然資源	名勝・史跡などの歴史的資源	伝統ある祭や独自のイベントなどの文化資源	自然を活かした観光レクリエーション資源	素朴で人情味のある市民性	特色ある豊かな農業生産の環境	工業生産の環境	伝統的な工芸をはじめとする	美味しい食材	地元ならではの味覚を提供する	その他	無効・無回答
総合	764	29.3%	14.0%	22.1%	3.8%	6.4%	5.6%	2.4%	8.5%	2.6%	5.2%		
年齢	10代後半	32	18.8%	6.3%	46.9%	3.1%	3.1%	0.0%	3.1%	3.1%	3.1%	12.5%	
	20代	69	24.6%	17.4%	29.0%	4.3%	5.8%	2.9%	4.3%	8.7%	2.9%	0.0%	
	30代	98	22.4%	12.2%	25.5%	8.2%	1.0%	6.1%	2.0%	12.2%	5.1%	5.1%	
	40代	102	29.4%	13.7%	16.7%	3.9%	3.9%	6.9%	3.9%	13.7%	2.9%	4.9%	
	50代	127	31.5%	16.5%	26.8%	0.8%	4.7%	7.9%	1.6%	5.5%	2.4%	2.4%	
	60代	169	37.9%	13.6%	16.0%	3.6%	7.1%	5.3%	1.8%	9.5%	2.4%	3.0%	
	70代以上	157	28.7%	14.0%	19.7%	3.8%	13.4%	5.7%	1.9%	5.1%	1.3%	6.4%	
居住地区	旧烏山東部	83	39.8%	6.0%	30.1%	4.8%	4.8%	1.2%	2.4%	6.0%	0.0%	4.8%	
	旧烏山西部	350	24.0%	14.0%	31.1%	4.3%	7.1%	4.0%	2.3%	7.7%	2.0%	3.4%	
	旧南那須南部	170	34.1%	18.2%	11.2%	2.9%	4.1%	5.9%	1.8%	11.8%	3.5%	6.5%	
	旧南那須北部	135	31.1%	15.6%	11.9%	3.0%	8.1%	12.6%	3.0%	7.4%	4.4%	3.0%	

## 過去の調査結果との比較 [ 那須烏山市の誇れるもの・特色 ]



### ( 数値が高くなったもの )

・“名勝・史跡などの歴史的資源”“素朴で人情味のある市民性”“地元ならではの味覚を提供する美味しい食材”の数値が高くなっている。

### ( 数値が低くなったもの )

・“美しい山や川などの自然資源”“自然を活かした観光レクリエーション資源”の数値が低くなっている。

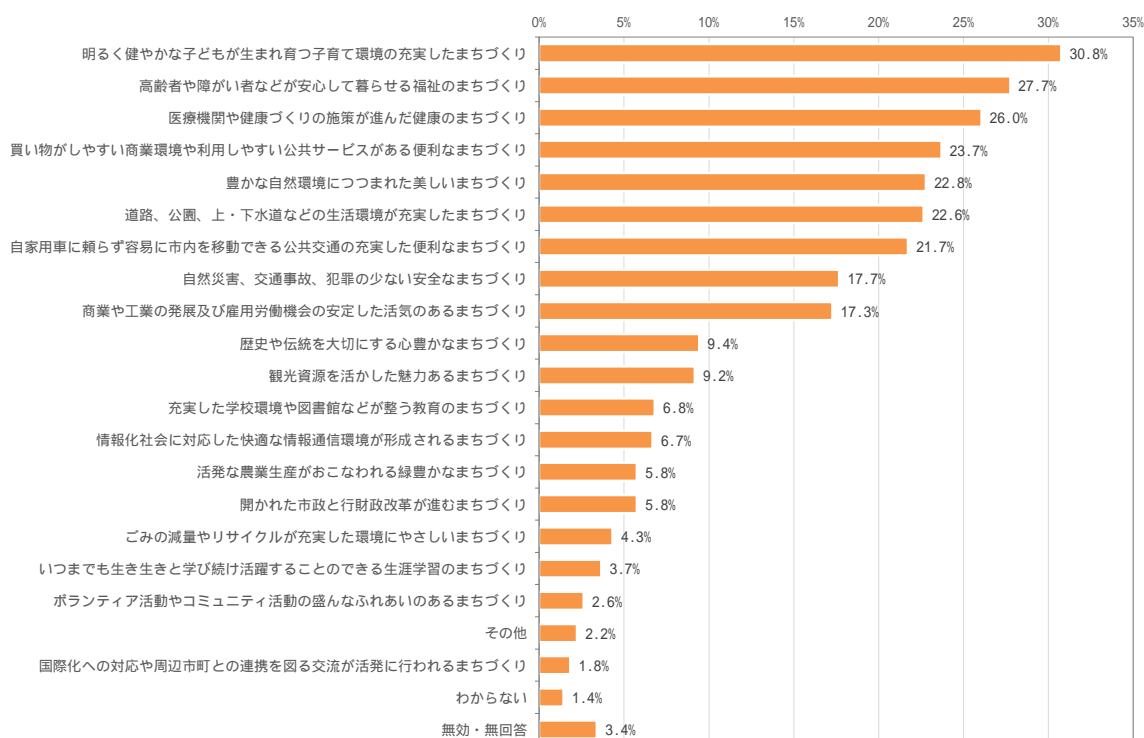
前回調査：平成 27 ( 2015 ) 年 11 月実施、前々回調査：平成 23 ( 2011 ) 年 8 月実施

## 2-2 これから重視すべきまちづくり [ 問 8 : 複数回答 n=764 ]

子どもを産み育てやすい、豊かな自然環境につつまれた、誰もが安心して便利に暮らせるまちづくりが望まれている。

### ( 結果概要 )

- ・多くの世代で、“明るく健やかな子どもが生まれ育つ子育て環境の充実”を期待している。
- ・若い世代は、“買い物がしやすい商業環境や公共サービスの充実”に対する期待が高い。
- ・中高年世代は、“高齢者が安心して暮らせる環境”医療機関や健康づくりの施策の充実”に対する期待が高い。



### - 『その他』意見の趣旨・キーワード -

- ・若者の移住、定住、人口増加につながるまちづくり
- ・スポーツ関連の公共施設の充実、自然環境を生かした公園（アスレチック）の整備
- ・高齢者が生き生きと働ける場の提供
- ・高速道路のインターチェンジ等が市の付近にないため、車での観光客を呼ぶための交通の便の改善

	n	評価項目																									
		豊かな自然環境に つまれた美しいま ちづくり	歴史や伝統を大切 にする心豊かなま ちづくり	道路公園 上・下 水道などの生活環 境が充実したま ちづくり	情報化社会に 対応した快適な情 報通信環境が形 成されるま ちづくり	医療機関や健康 づくりの施策が 進んだ健康のま ちづくり	高齢者や障がい 者などが安心して 暮らせる福祉の まちづくり	明るく健やかな 子どもが生まれ育 つ子育て環境の 充実したま ちづくり	充実した学校環 境や図書館など が整った教育の まちづくり	いつでも生き 生きと学び続け 活躍すること のできる生涯学 習のまちづくり	自然災害、交通 事故、犯罪の少 ない安全なま ちづくり	国際化への 対応や周辺市 町との連携を 図る交流が活 発に行われ るまちづくり	買い物 がしやすい 商業環境や 利用しやすい 公共サービ スがある便 利なまち づくり	自家用車に 頼らず容易 に市内を移 動できる公 共交通の充 実した便 利なま ちづくり	ごみの減 量やリサイ クルが充 実した環 境にやさ しいま ちづくり	活発な農 業生産が おこなわ れる緑豊 かなま ちづくり	商業や工 業の発展 及び雇用 労働機 会の安定 した活気 のあるま ちづくり	ポラン ティア活 動やミニ ミニ活 動の盛ん なふれあ いのあ るま ちづくり	観光資源 を活かした 魅力ある まちづくり	開かれた 市政と行 財政改革 が進むま ちづくり	わからない	その他	無効・無 回答				
総合	764	22.8%	9.4%	22.6%	6.7%	26.0%	27.7%	30.8%	6.8%	3.7%	17.7%	1.8%	23.7%	21.7%	4.3%	5.8%	17.3%	2.6%	9.2%	5.8%	1.4%	2.2%	3.4%				
世代	10代後半	32	21.9%	18.8%	15.6%	12.5%	15.6%	15.6%	31.3%	0.0%	6.3%	15.6%	0.0%	25.0%	15.6%	0.0%	0.0%	15.6%	6.3%	18.8%	3.1%	6.3%	0.0%	6.3%			
	20代	69	15.9%	7.2%	20.3%	8.7%	23.2%	27.5%	39.1%	10.1%	0.0%	10.1%	1.4%	34.8%	23.2%	4.3%	2.9%	10.1%	4.3%	11.6%	1.4%	1.4%	2.9%	0.0%			
	30代	98	20.4%	9.2%	23.5%	14.3%	24.5%	14.3%	45.9%	17.3%	3.1%	18.4%	1.0%	25.5%	11.2%	3.1%	4.1%	14.3%	1.0%	5.1%	3.1%	3.1%	4.1%	3.1%			
	40代	102	14.7%	2.0%	24.5%	3.9%	28.4%	36.3%	35.3%	7.8%	2.9%	16.7%	2.0%	36.3%	25.5%	2.0%	3.9%	16.7%	1.0%	7.8%	3.9%	0.0%	3.9%	2.0%			
	50代	127	18.9%	11.8%	29.1%	2.4%	34.6%	25.2%	28.3%	3.9%	1.6%	18.1%	0.0%	26.0%	18.1%	7.9%	7.1%	21.3%	2.4%	14.2%	4.7%	0.0%	2.4%	2.4%			
	60代	169	32.0%	12.4%	22.5%	4.1%	16.6%	32.5%	26.6%	5.3%	6.5%	22.5%	3.6%	16.0%	19.5%	5.9%	9.5%	18.9%	3.0%	8.3%	7.1%	3.0%	1.8%	1.8%			
	70代以上	157	27.4%	8.9%	19.7%	8.3%	32.5%	31.8%	22.9%	3.2%	4.5%	17.2%	2.5%	16.6%	33.1%	3.2%	5.7%	17.8%	3.2%	7.0%	10.8%	0.0%	0.6%	3.2%			
地域	旧烏山 東部	83	28.9%	7.2%	19.3%	7.2%	19.3%	24.1%	39.8%	6.0%	2.4%	21.7%	2.4%	31.3%	18.1%	2.4%	4.8%	21.7%	2.4%	9.6%	6.0%	1.2%	0.0%	1.2%			
	旧烏山 西部	350	22.9%	14.0%	20.0%	6.0%	26.6%	28.0%	28.3%	7.4%	4.9%	18.3%	1.1%	21.4%	20.0%	3.7%	4.9%	20.9%	3.4%	13.4%	6.0%	1.1%	2.9%	2.3%			
	旧南 那須 南部	170	20.0%	6.5%	24.7%	8.2%	27.6%	30.0%	32.9%	7.6%	2.4%	16.5%	4.1%	23.5%	24.1%	6.5%	6.5%	12.4%	1.8%	4.7%	5.3%	1.2%	3.5%	2.9%			
	旧南 那須 北部	135	23.7%	4.4%	28.9%	5.9%	28.1%	27.4%	31.9%	3.7%	3.7%	17.8%	0.7%	25.9%	25.2%	4.4%	8.9%	12.6%	2.2%	3.7%	5.9%	3.0%	0.7%	2.2%			

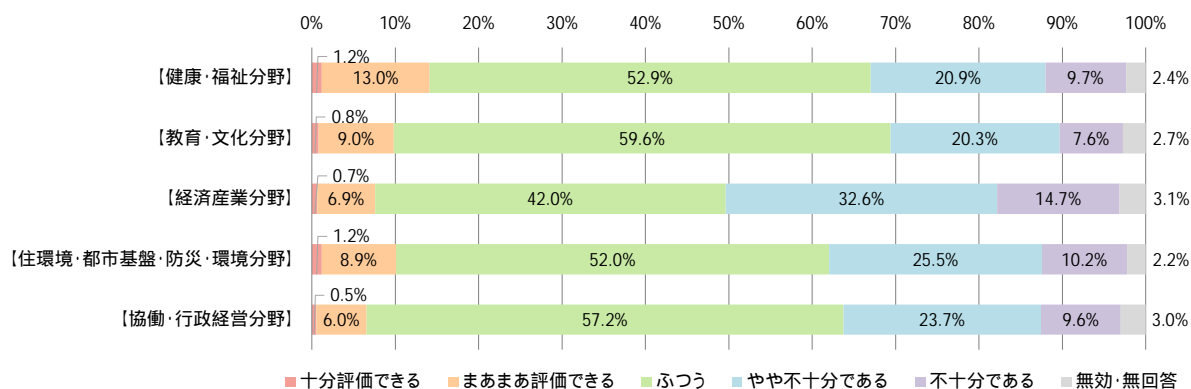


## 2-3 第2次総合計画の分野別の各種事業に対する評価・今後の重要度

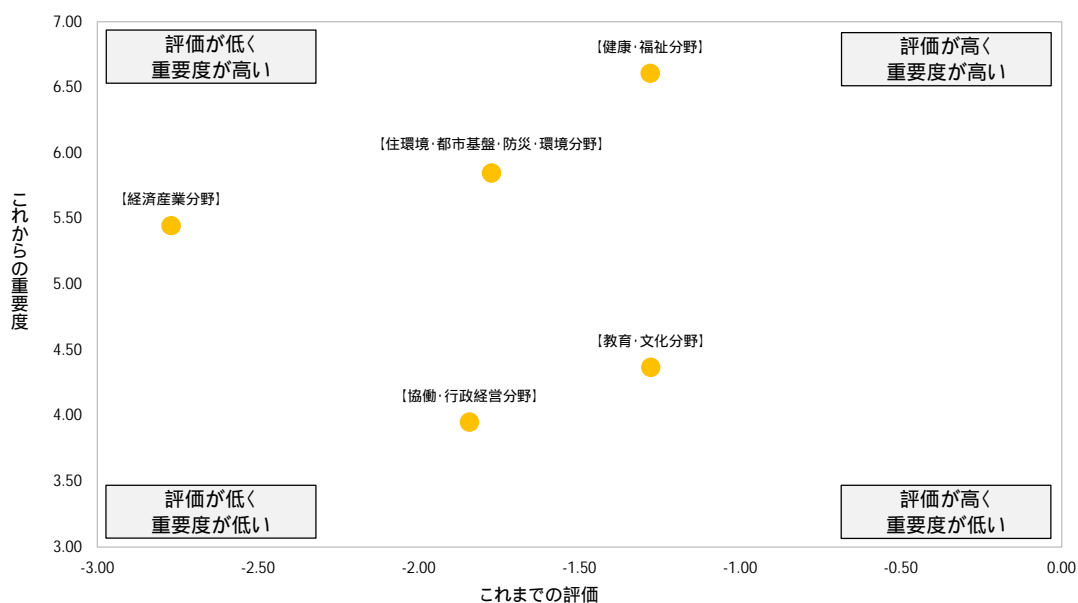
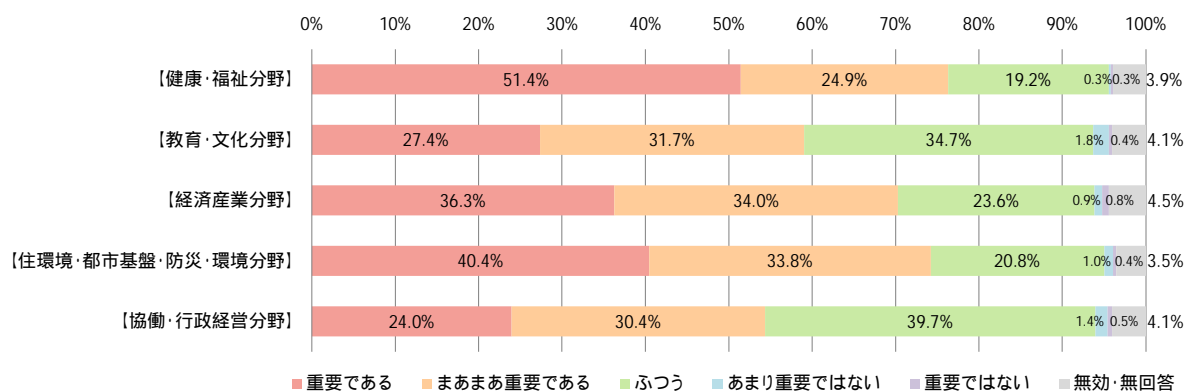
[ 問9：単数回答 n=764 ]

「経済産業分野」に関するこれまでの取り組みに対する評価が低い。  
 「健康・福祉分野」に関する今後の取り組みの重要度が高い。

### - 5つの分野別基本目標ごとのこれまでの評価 -



### - 5つの分野別基本目標ごとのこれからの重要度 -



### 3 那須烏山市のまちづくりの施策や事業への取り組みについて

#### 3-1 各施策・事業の評価と重要度 [ 問 10 : 単数回答 n=764 ]

全体的に各施策・事業のこれまでの評価は低く、これからの重要度は高くなっている。

- 各施策・事業のこれまでの評価：得点の算出結果より -

##### 【評価が高いもの】

“安全な水” “適正なごみ収集や処理” “衛生的な生活環境” “地域の歴史・文化・伝統の継承や活用”

##### 【評価が低いもの】

“商店街を再生する取り組み” “産業の創出” “市民自らによる国際交流” “市営バス・デマンド交通”

- 各施策・事業のこれからの重要度：得点の算出結果より -

##### 【重要度が高いもの】

“救急医療の充実” “地域の防災・減災対策” “安心な出産、子育て可能な支援環境” “市営バス・デマンド交通”

##### 【重要度が低いもの】

“市民自らによる国際交流” “消費生活に関する相談体制” “スポーツを楽しめる環境”

- 各施策・事業のこれまでの評価とこれからの重要度の相関 -

##### 【評価：高、重要度：高】...継続的な取り組みが期待される施策

“安全な水” “子どもの安全・安心な教育環境” “犯罪が少ない” “救急医療の充実”

##### 【評価：低、重要度：高】...今後のまちづくりにおける重要な施策

“市営バス・デマンド交通” “子育てと仕事の両立を支援する体制” “安心な出産、子育て可能な支援環境”

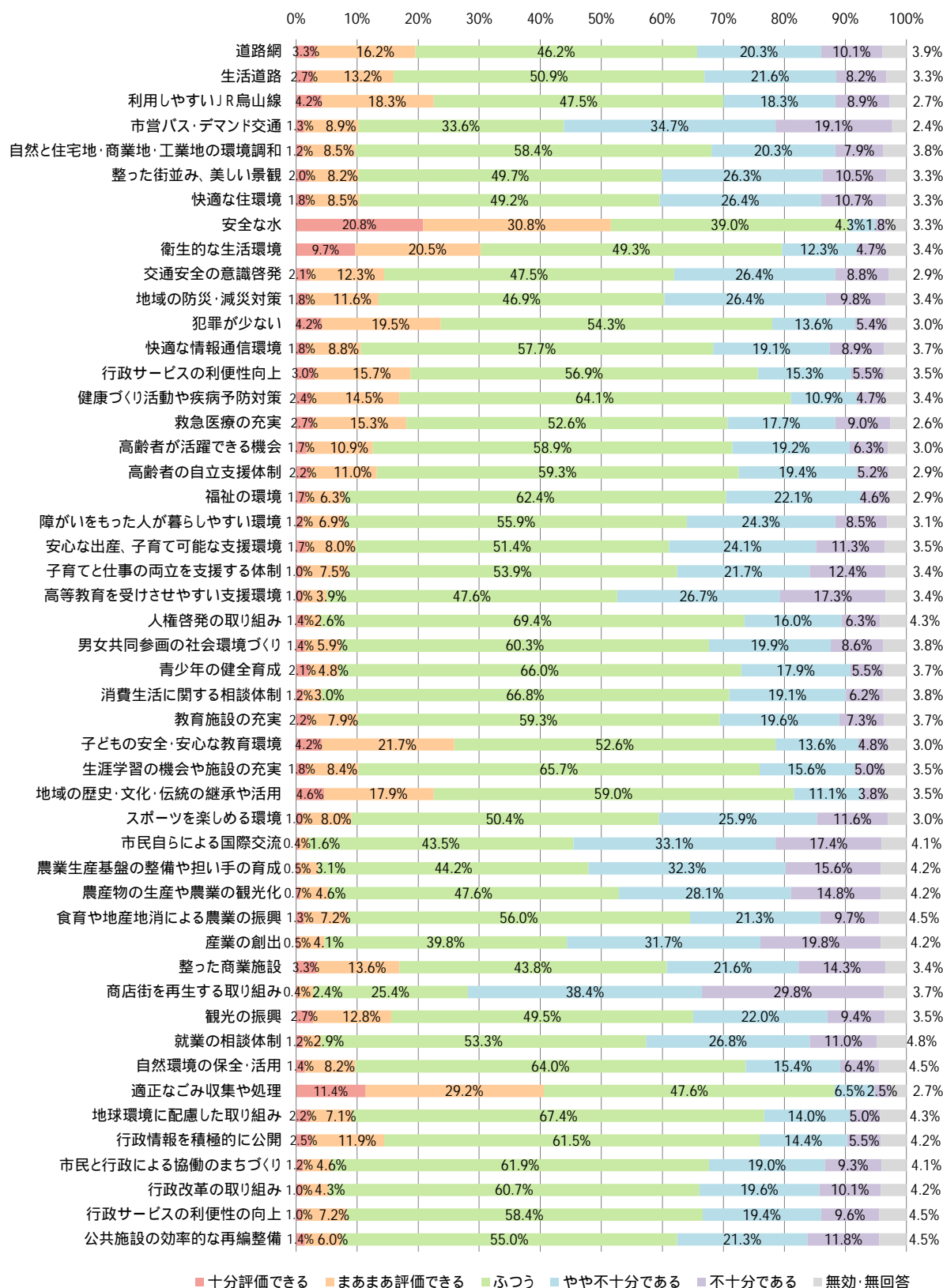
#### 集計・分析について

各施策・事業に対するこれまでの評価と今後の重要度とを得点化し、両者の相関関係から各施策・事業の位置づけ・優先度等を把握。

「これまでの評価」に関する得点は、十分評価：2点、まあ評価：1点、ふつう：0点、やや不十分：-1点、不十分：-2点とし、施策・事業毎の平均点を（十分評価の件数×2点+まあ評価の件数×1点+ふつうの件数×0点+やや不十分の件数×-1点+不十分の件数×-2点）÷（全体の件数・無回答の件数）として算出。

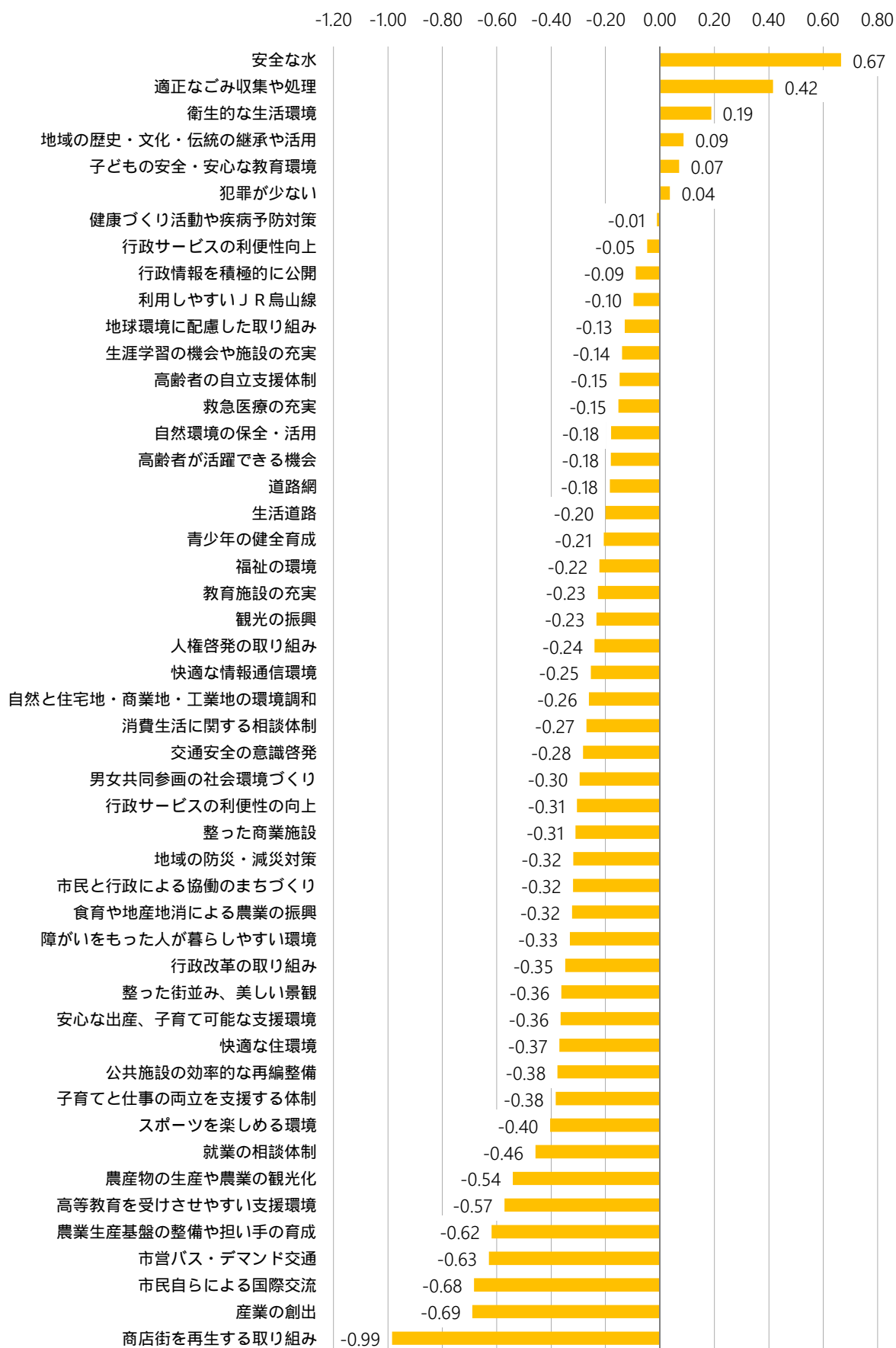
「これからの重要度」に関する得点は、重要：2点、まあ重要：1点、ふつう：0点、あまり重要ではない：-1点、重要ではない：-2点とし、施策・事業毎の平均点を（重要の件数×2点+まあ重要な件数×1点+ふつうの件数×0点+あまり重要ではないの件数×-1点+重要ではないの件数×-2点）÷（全体の件数・無回答の件数）として算出。

[ 各施策・事業のこれまでの評価：回答割合 ]

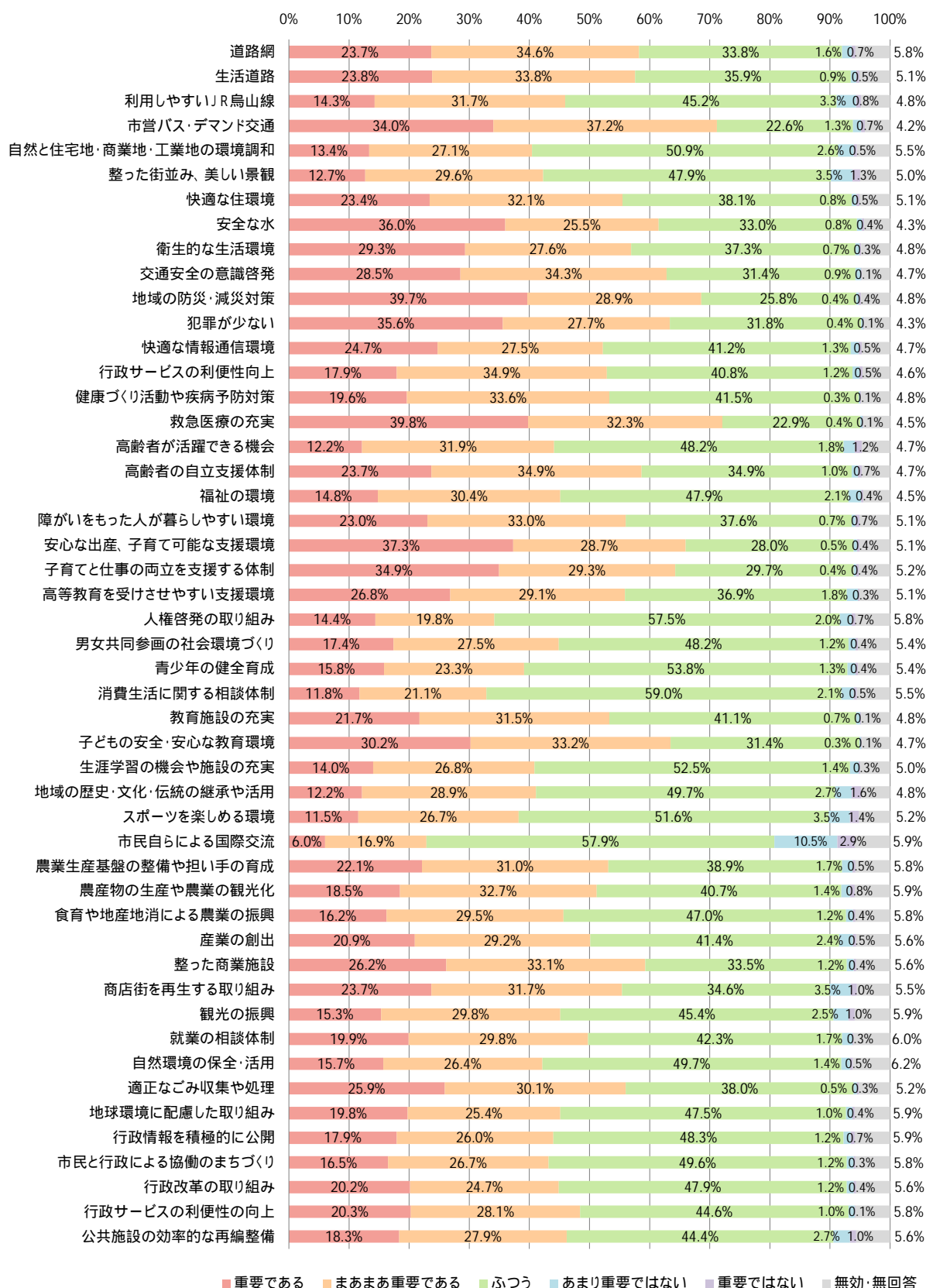


n=764

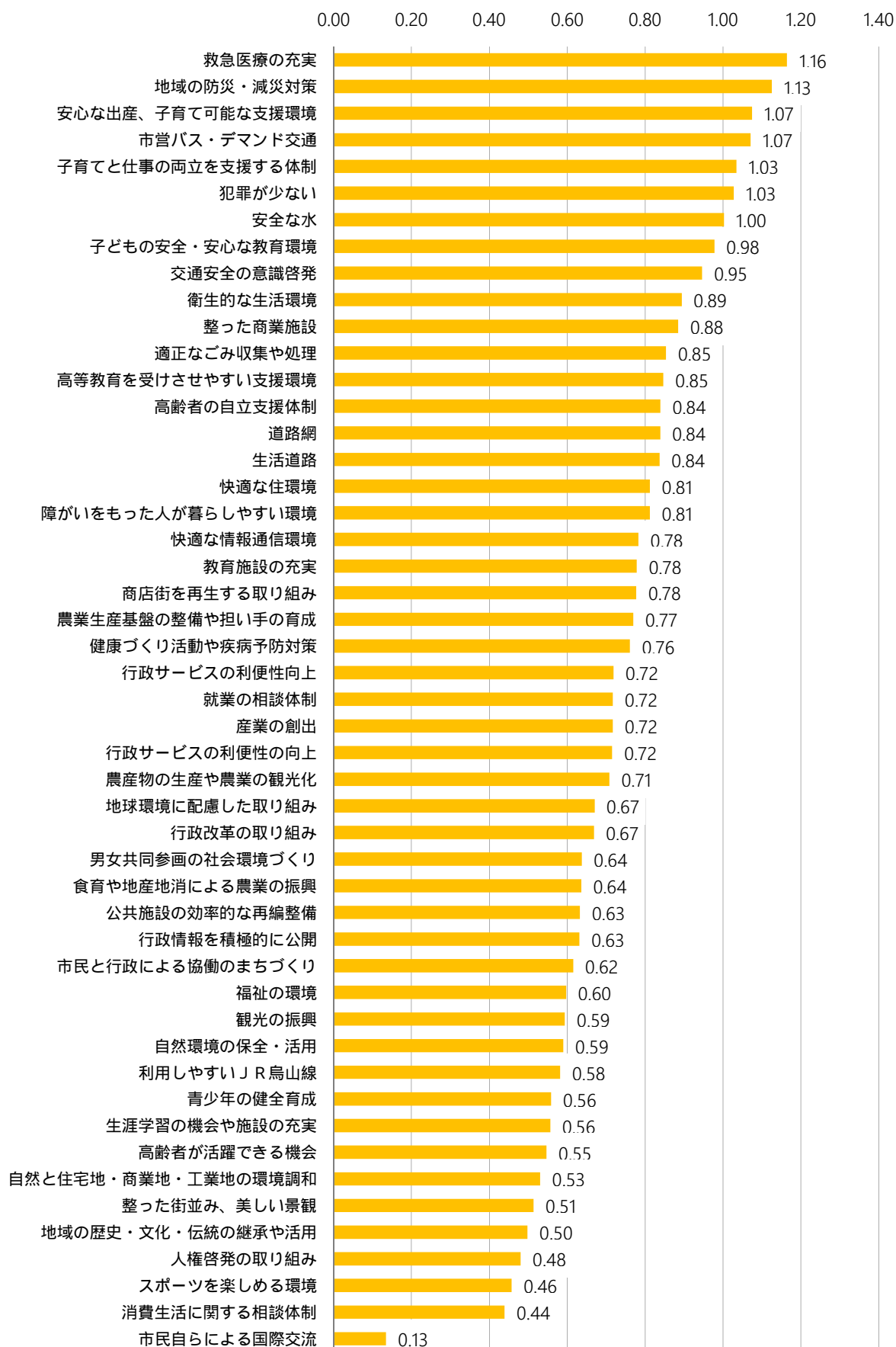
[ 各施策・事業のこれまでの評価：得点の算出 ]



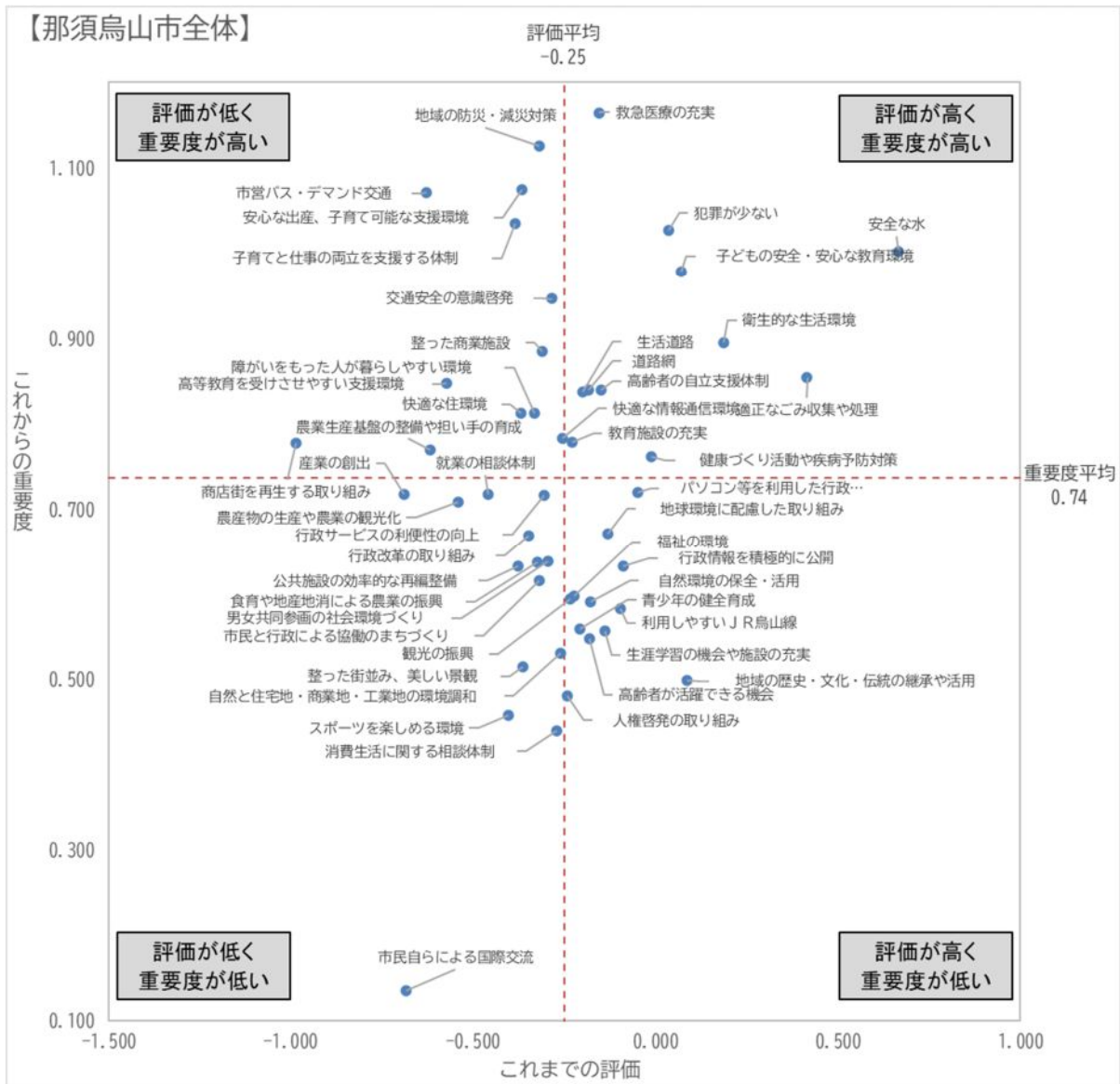
[ 各施策・事業のこれからの重要度：回答割合 ]



[ 各施策・事業のこれからの重要度：得点の算出 ]



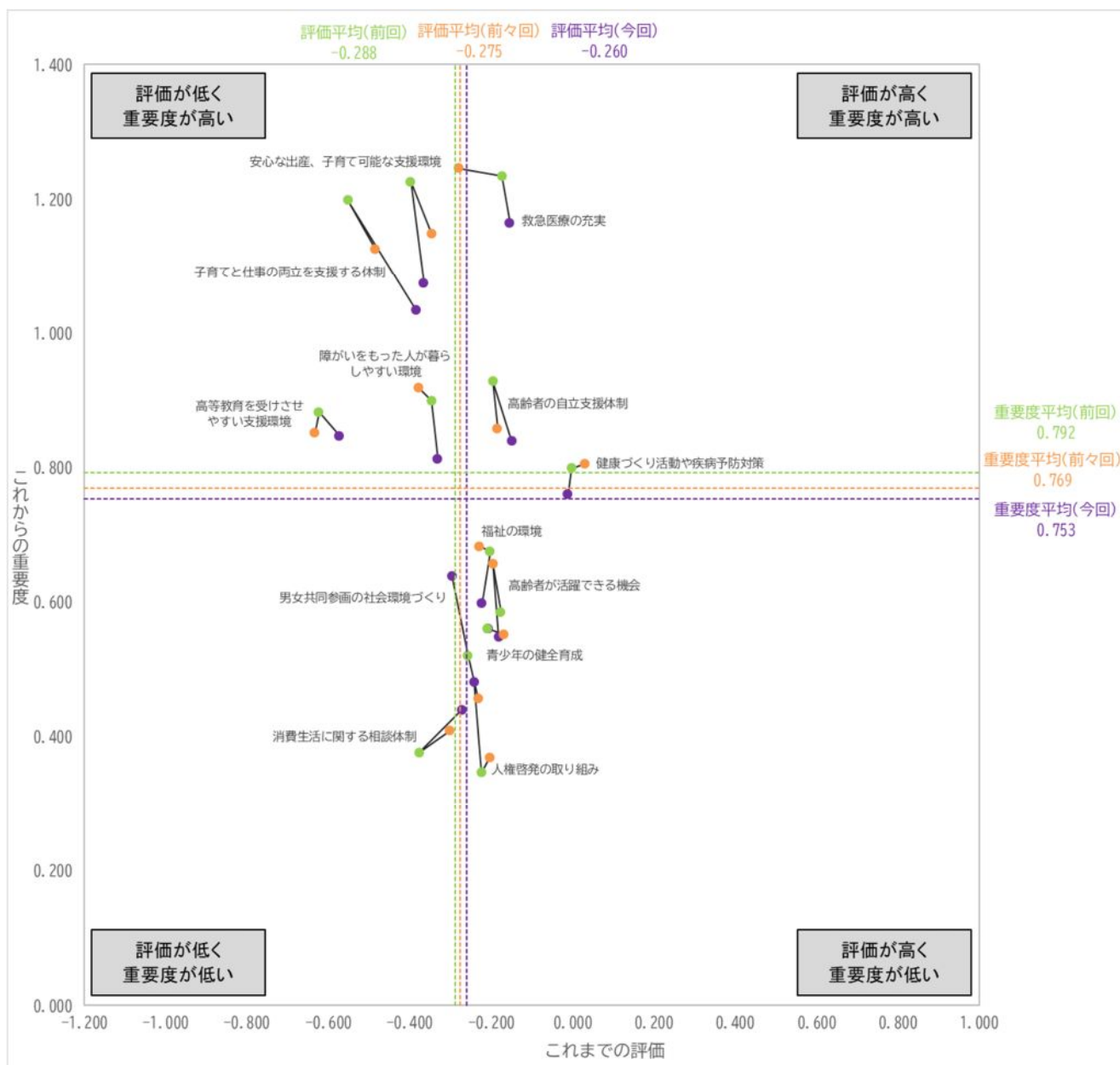
[ 各施策・事業のこれまでの評価とこれからの重要度：相関グラフ ]





## 過去の調査結果との比較

[ 各施策・事業のこれまでの評価とこれからの重要度：健康・福祉分野 ]



### ( 結果概要 )

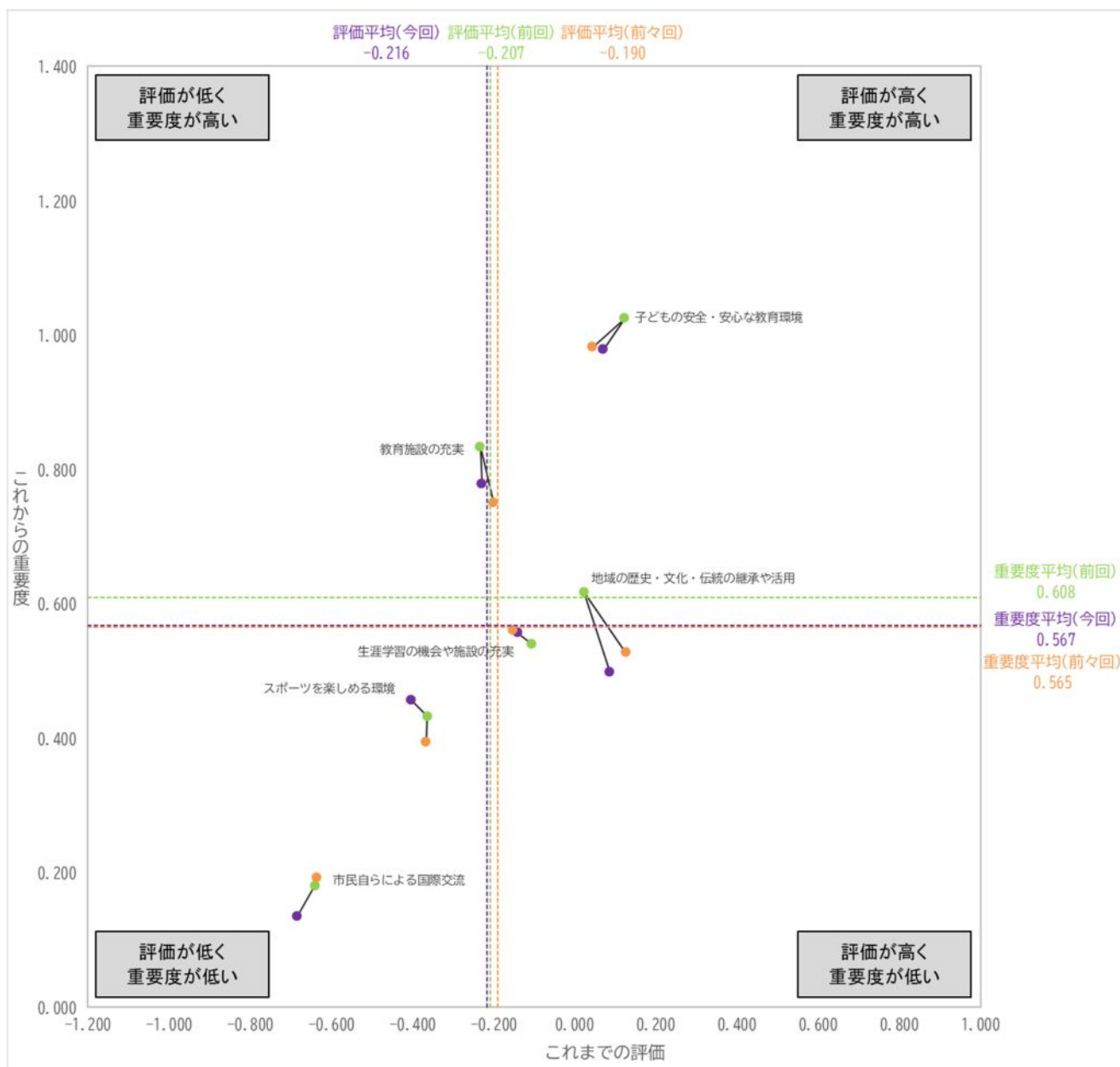
- ・重要度が高い“子育てと仕事の両立を支援する体制”や“救急医療の充実”等については、今後も継続的な取組が期待される。

前回調査：平成 27 (2015) 年 11 月実施、前々回調査：平成 23 (2011) 年 8 月実施



## 過去の調査結果との比較

[ 各施策・事業のこれまでの評価とこれからの重要度：教育・文化分野 ]



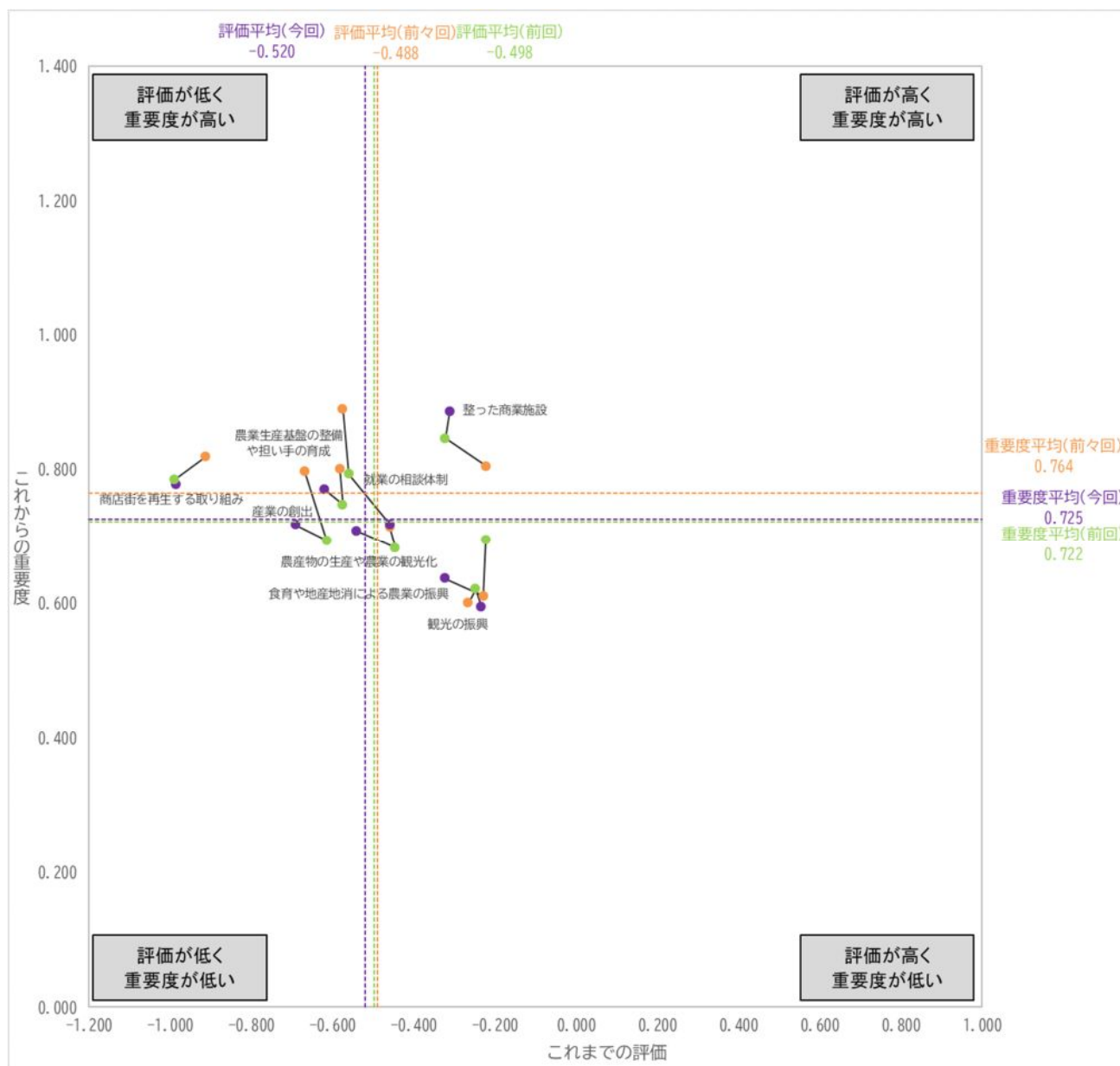
### ( 結果概要 )

- ・一定して評価が高く、重要度が高い“子どもの安全・安心な教育環境”については、今後も継続的な取組が期待される。

前回調査：平成 27 (2015) 年 11 月実施、前々回調査：平成 23 (2011) 年 8 月実施

## 過去の調査結果との比較

[ 各施策・事業のこれまでの評価とこれからの重要度：経済産業分野 ]



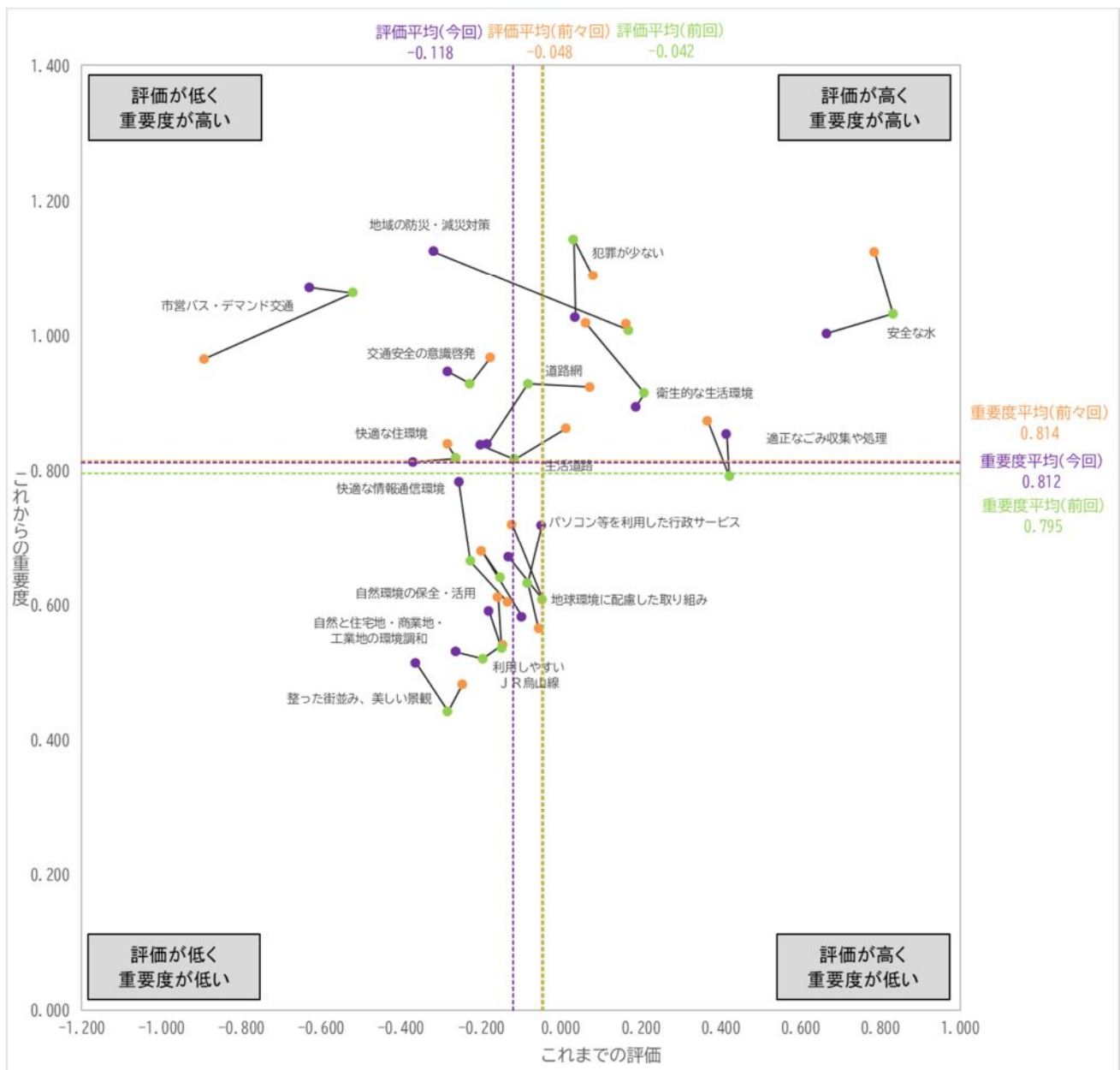
### ( 結果概要 )

- ・評価が低い“商店街を再生する取り組み”については、今後の積極的な取組が期待される。

前回調査：平成 27 (2015) 年 11 月実施、前々回調査：平成 23 (2011) 年 8 月実施

過去の調査結果との比較

[ 各施策・事業のこれまでの評価とこれからの重要度：住環境・都市基盤・防災・環境分野 ]



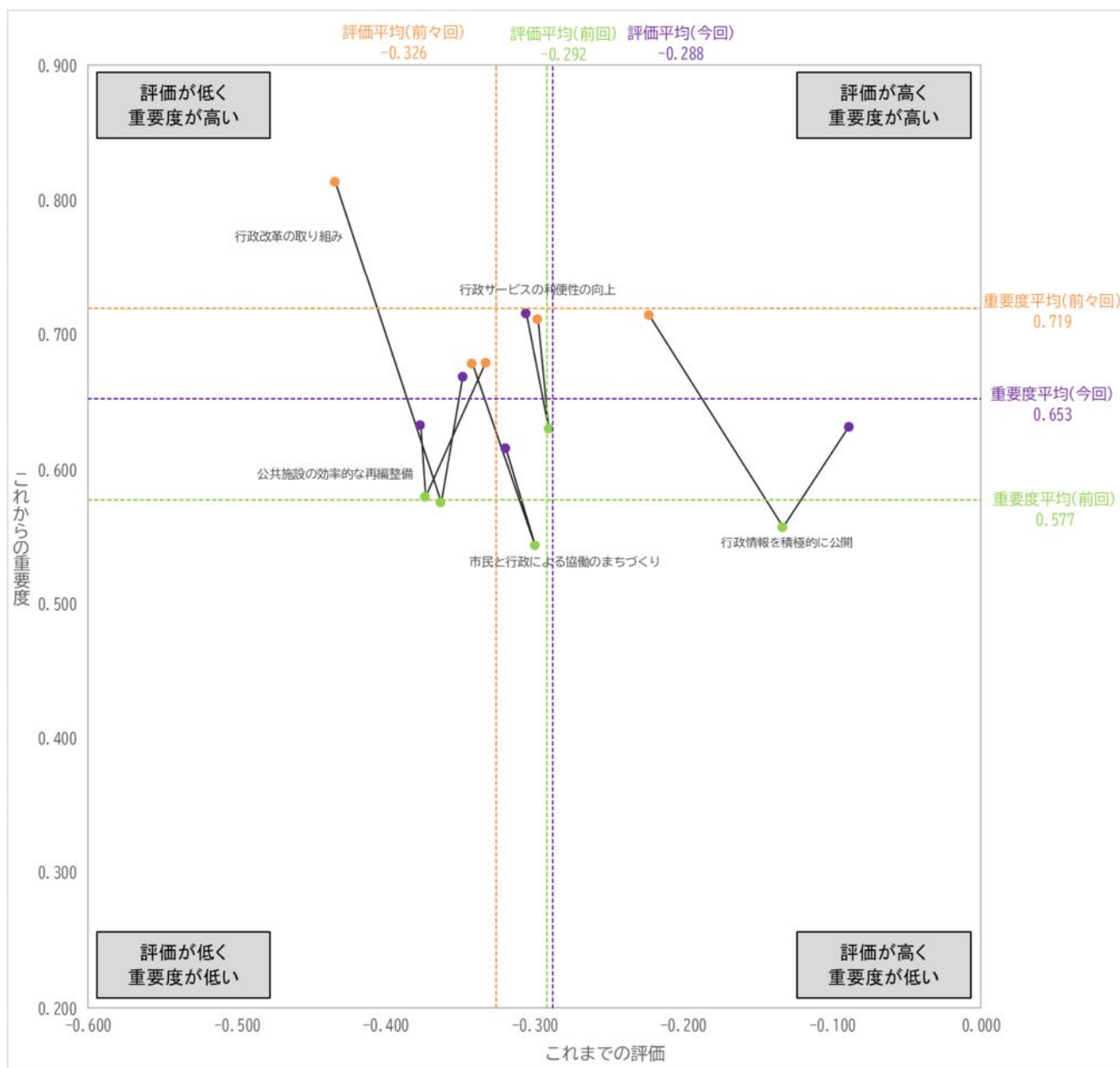
( 結果概要 )

- ・ 前回よりも評価が下がり、重要度が上がった“地域の防災・減災対策”や“市営バス・デマンド交通”については、今後の積極的な取組が期待される。

前回調査：平成 27 (2015) 年 11 月実施、前々回調査：平成 23 (2011) 年 8 月実施

過去の調査結果との比較

[ 各施策・事業のこれまでの評価とこれからの重要度：協働・行政経営分野 ]



( 結果概要 )

- ・ 全体的に評価平均、重要度平均ともに増加の傾向にある。

前回調査：平成 27 ( 2015 ) 年 11 月実施、前々回調査：平成 23 ( 2011 ) 年 8 月実施

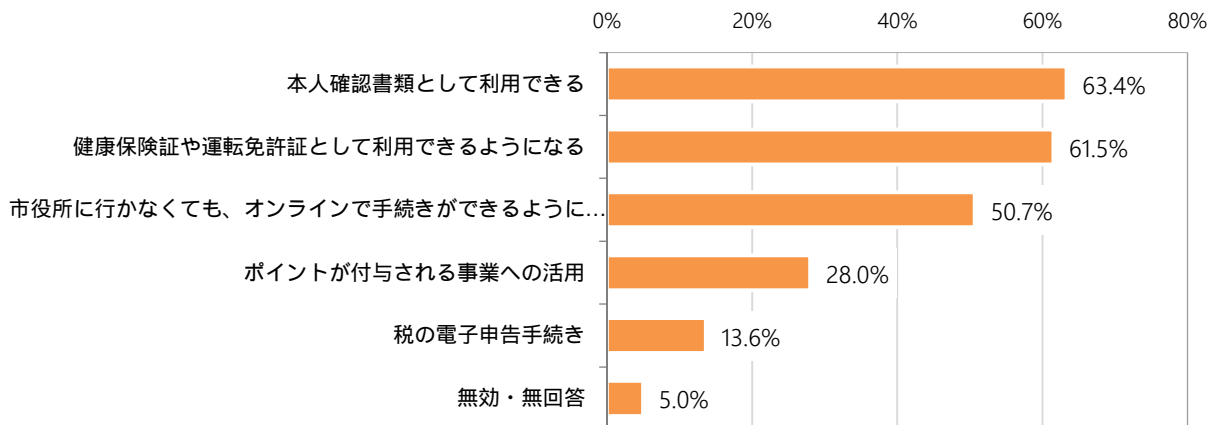
## 4 地域情報化に関する考え方について

### 4-1 マイナンバーカードに期待すること [問 11：複数回答 n=764]

「本人確認書類として利用できる」「健康保険証や運転免許証として利用できるようになる」が6割以上となっている。

( 結果概要 )

- ・ 20代～40代では、オンライン手続きでの活用に期待が高い。
- ・ 高齢層では、本人確認書類としての活用に期待が高い。



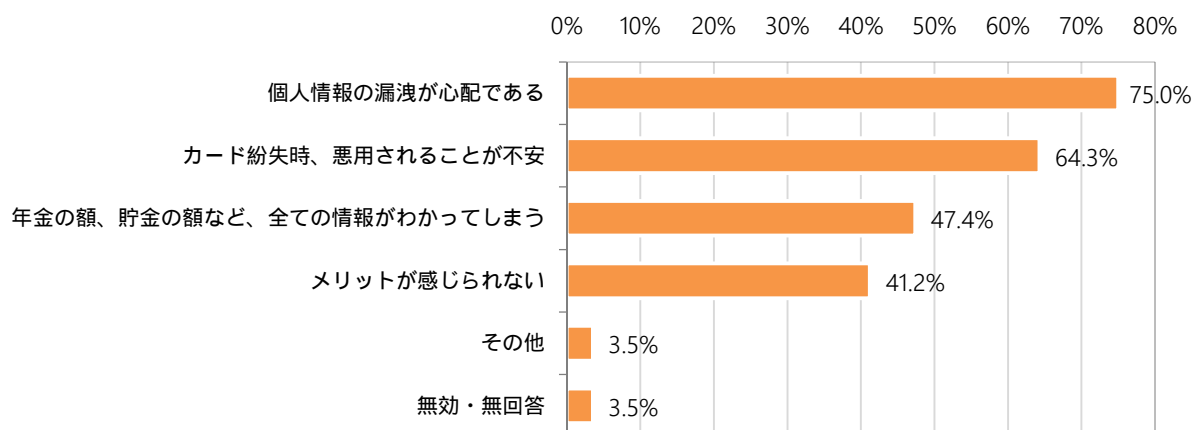
	n	健康保険証や運転免許証として利用できるようになる	市役所に行かなくても、オンラインで手続きができるようになる	本人確認書類として利用できる	税の電子申告手続き	ポイントが付与される事業への活用	無効・無回答	
総合	764	61.5%	50.7%	63.4%	13.6%	28.0%	5.0%	
年齢	10代後半	32	53.1%	56.3%	78.1%	9.4%	12.5%	0.0%
	20代	69	59.4%	60.9%	58.0%	15.9%	34.8%	0.0%
	30代	98	54.1%	68.4%	53.1%	18.4%	40.8%	0.0%
	40代	102	56.9%	62.7%	56.9%	16.7%	30.4%	5.9%
	50代	127	54.3%	55.9%	59.1%	11.8%	33.9%	3.9%
	60代	169	67.5%	43.8%	68.6%	11.8%	26.0%	3.0%
	70代以上	157	73.9%	31.2%	75.2%	12.7%	16.6%	8.9%
居住地区	旧烏山東部	83	56.6%	45.8%	61.4%	4.8%	28.9%	4.8%
	旧烏山西部	350	63.7%	48.0%	67.1%	16.6%	31.7%	3.4%
	旧南那須南部	170	61.8%	60.0%	60.6%	15.9%	23.5%	2.9%
	旧南那須北部	135	61.5%	52.6%	64.4%	11.1%	24.4%	5.9%

#### 4-2 マイナンバーカードに対する不安、未取得の理由 [ 問 12 : 複数回答 n=764 ]

4人に3人が「個人情報の漏洩」に対し不安を感じ、次いで「カード紛失時、悪用されることが不安」が6割以上となっている。

##### ( 結果概要 )

- ・年齢、地域関係なく、「個人情報の漏洩」について不安感が強い。
- ・若年層では、カードを所有するメリットを疑問視している。



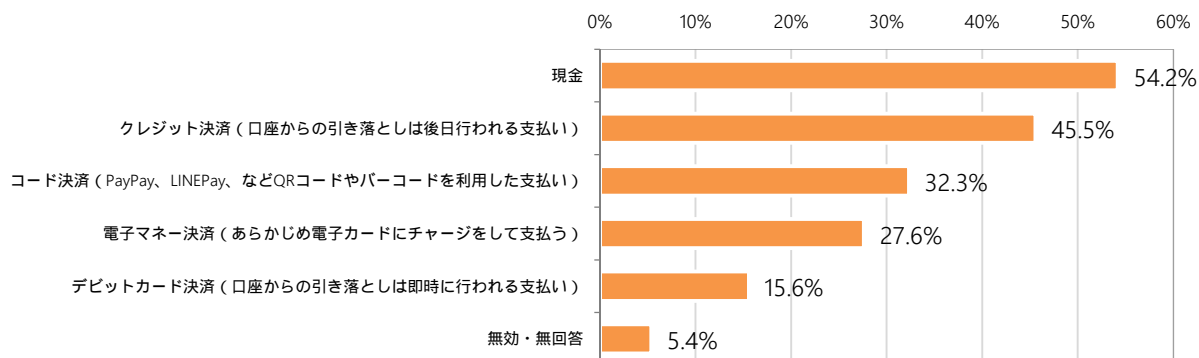
		n	個人情報の漏洩が心配である	メリットが感じられない	カード紛失時、悪用されることが不安	年金の額、貯金の額など、全ての情報がわかってしまう	その他	無効・無回答
総合		764	75.0%	41.2%	64.3%	47.4%	3.5%	3.5%
年齢	10代後半	32	68.8%	28.1%	65.6%	50.0%	3.1%	3.1%
	20代	69	68.1%	46.4%	59.4%	39.1%	1.4%	0.0%
	30代	98	66.3%	44.9%	56.1%	40.8%	7.1%	1.0%
	40代	102	77.5%	36.3%	65.7%	42.2%	3.9%	2.0%
	50代	127	80.3%	40.2%	70.1%	51.2%	3.9%	3.1%
	60代	169	78.7%	45.0%	64.5%	52.7%	2.4%	1.8%
	70代以上	157	78.3%	41.4%	68.2%	52.2%	3.2%	5.1%
居住地区	旧烏山東部	83	73.5%	34.9%	60.2%	51.8%	6.0%	3.6%
	旧烏山西部	350	73.4%	44.0%	65.7%	44.9%	3.4%	2.9%
	旧南那須南部	170	77.1%	42.4%	61.8%	50.0%	2.4%	2.4%
	旧南那須北部	135	80.7%	39.3%	70.4%	49.6%	4.4%	1.5%

#### 4-3 利用したい決済サービス [ 問 13 : 複数回答 n=764 ]

「現金」が約5割、次いで「クレジット決済」が4割強、「コード決済」「電子マネー」は約3割となっている。

##### ( 結果概要 )

- ・若年層では、「コード決済」を希望が多い。
- ・高齢層では、「現金」を希望が多い。



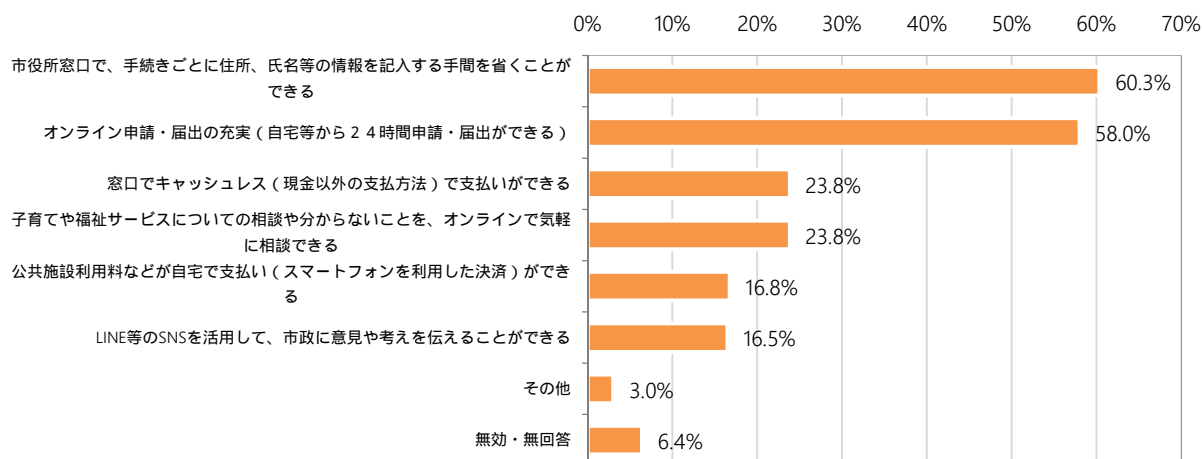
		n	コード決済	電子マネー決済	デビットカード決済	クレジット決済	現金	無効・無回答
総合		764	32.3%	27.6%	15.6%	45.5%	54.2%	5.4%
年齢	10代後半	32	53.1%	40.6%	6.3%	43.8%	56.3%	3.1%
	20代	69	55.1%	40.6%	17.4%	50.7%	47.8%	0.0%
	30代	98	53.1%	36.7%	11.2%	54.1%	44.9%	0.0%
	40代	102	43.1%	25.5%	14.7%	56.9%	45.1%	2.9%
	50代	127	29.1%	33.1%	11.8%	50.4%	53.5%	1.6%
	60代	169	21.9%	22.5%	20.1%	39.6%	63.9%	3.0%
	70代以上	157	13.4%	17.2%	19.1%	35.7%	61.8%	14.0%
居住地区	旧烏山東部	83	27.7%	25.3%	14.5%	39.8%	66.3%	3.6%
	旧烏山西部	350	35.1%	25.7%	16.6%	47.7%	52.3%	4.9%
	旧南那須南部	170	31.8%	34.7%	18.8%	48.2%	51.2%	2.9%
	旧南那須北部	135	31.9%	27.4%	12.6%	43.7%	60.7%	3.7%

4-4 市役所の手続き（デジタル化）に期待すること [ 問 14：複数回答 n=764 ]

「市役所窓口で、手続きごとに住所、氏名等の情報を記入する手間を省くことができる」が約6割で最多、次いで「オンライン申請・届出の充実」が6割弱となっている。

( 結果概要 )

- ・若年層では、オンラインサービスの充実を希望が多い。
- ・高齢層では、手続きの簡略化を希望が多い。



	n	オンライン申請・届出の充実（自宅等から24時間申請・届出ができる）	市役所窓口で、手続きごとに住所、氏名等の情報を記入する手間を省くことができる	窓口でキャッシュレス（現金以外の支払方法）で支払いができる	公共施設利用料などが自宅で支払い（スマートフォンを利用した決済）ができる	LINE等のSNSを活用して、市政に意見や考えを伝えることができる	子育てや福祉サービスについての相談や分からないことを、オンラインで気軽に相談できる	その他	無効・無回答	
総合	764	58.0%	60.3%	23.8%	16.8%	16.5%	23.8%	3.0%	6.4%	
年齢	10代後半	32	65.6%	28.1%	25.0%	9.4%	34.4%	43.8%	0.0%	3.1%
	20代	69	75.4%	52.2%	39.1%	21.7%	26.1%	26.1%	0.0%	0.0%
	30代	98	77.6%	59.2%	24.5%	23.5%	22.4%	28.6%	1.0%	2.0%
	40代	102	71.6%	57.8%	22.5%	26.5%	14.7%	26.5%	2.0%	2.0%
	50代	127	65.4%	68.5%	25.2%	14.2%	13.4%	26.8%	1.6%	1.6%
	60代	169	50.9%	69.2%	21.3%	13.0%	14.8%	19.5%	5.3%	4.7%
	70代以上	157	32.5%	59.9%	19.7%	12.1%	11.5%	17.8%	5.7%	16.6%
居住地区	旧烏山東部	83	54.2%	57.8%	22.9%	9.6%	15.7%	19.3%	4.8%	6.0%
	旧烏山西部	350	58.6%	64.0%	24.6%	18.9%	16.3%	22.9%	2.6%	4.9%
	旧南那須南部	170	63.5%	58.8%	25.3%	15.9%	21.8%	28.2%	1.8%	4.7%
	旧南那須北部	135	57.8%	57.8%	23.0%	16.3%	12.6%	25.9%	5.2%	5.2%

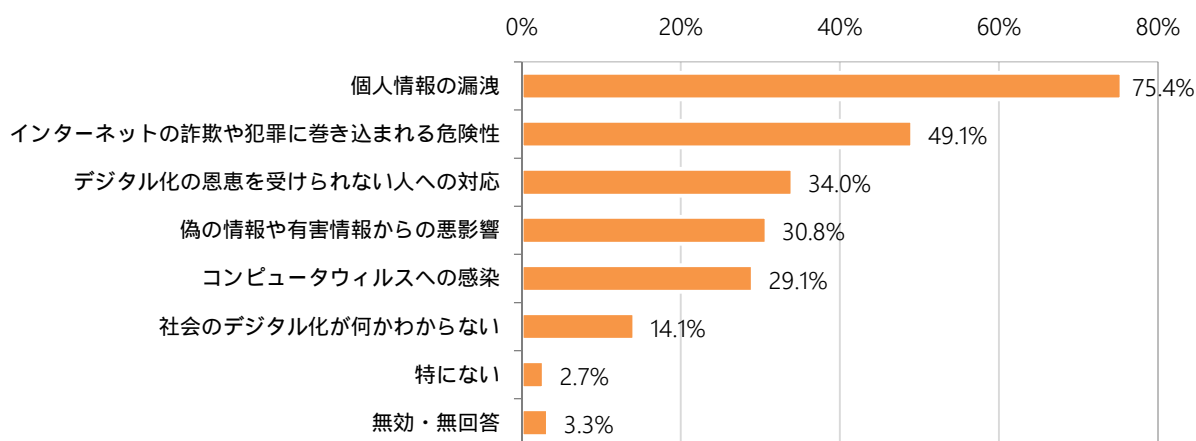


#### 4-5 デジタル化の進行により不安に思うこと [問 15：複数回答 n=764]

4人に3人が「個人情報の漏洩」に対し不安に思っている。

##### ( 結果概要 )

- ・高齢層では、「デジタル化が何かわからない」が多い。
- ・20代、30代では、インターネット上のトラブル（詐欺・犯罪）への不安が大きい。

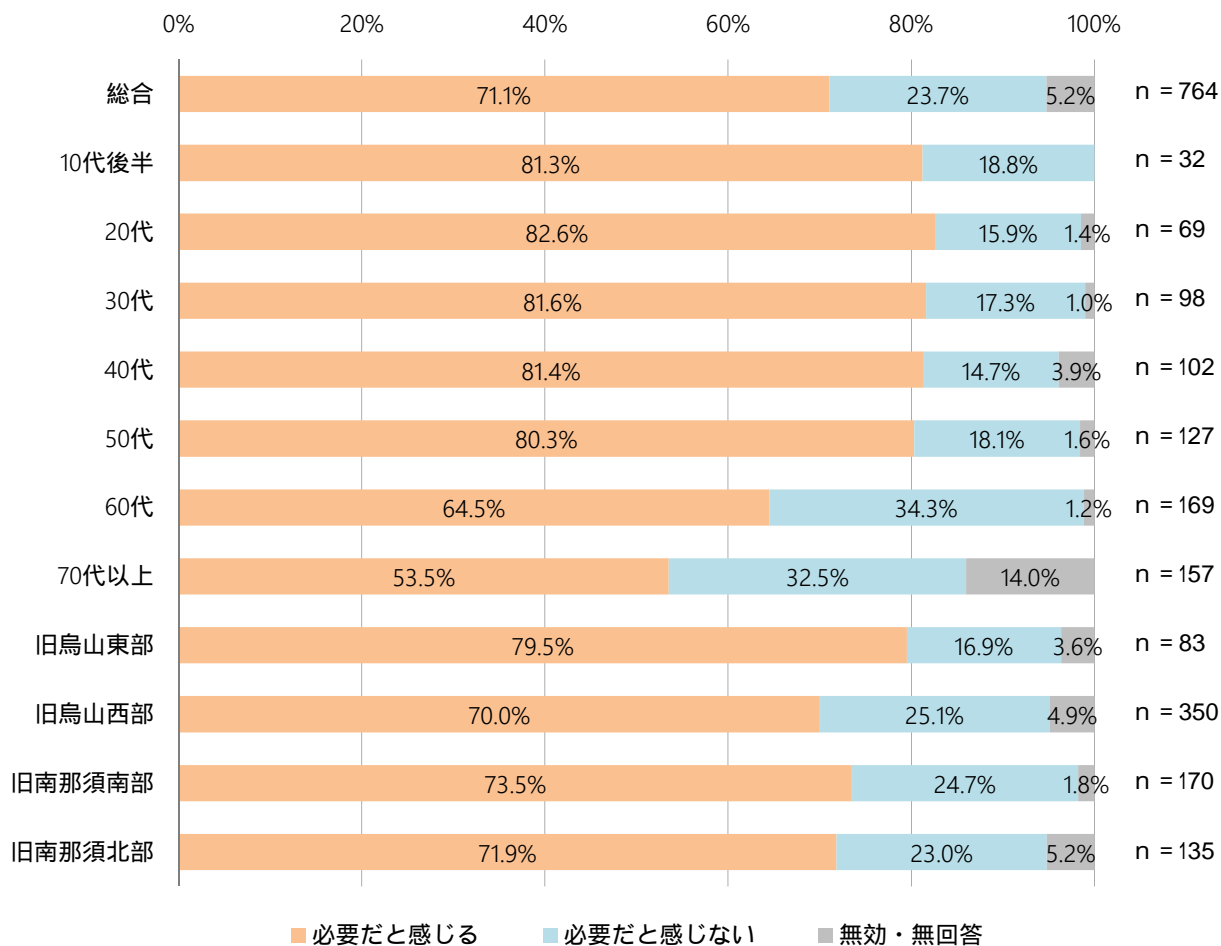
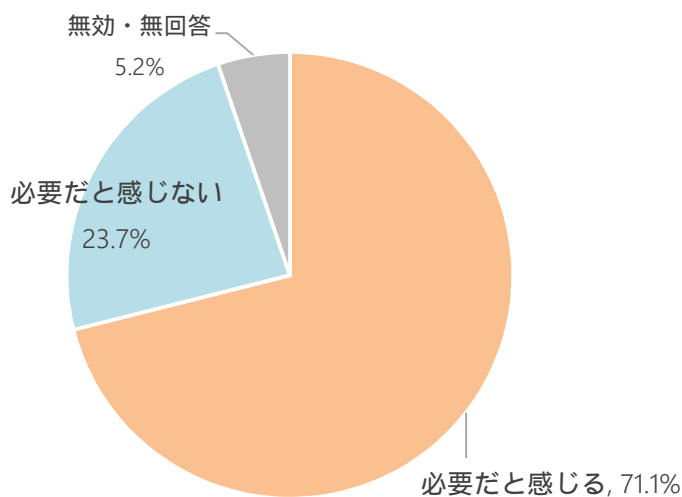


	n	個人情報の漏洩	コンピュータウイルスへの感染	インターネットの詐欺や犯罪に巻き込まれる危険性	偽の情報や有害情報からの悪影響	デジタル化の恩恵を受けられない人への対応	社会のデジタル化が何かわからない	特にない	無効・無回答	
総合	764	75.4%	29.1%	49.1%	30.8%	34.0%	14.1%	2.7%	3.3%	
年齢	10代後半	32	68.8%	43.8%	43.8%	31.3%	28.1%	3.1%	12.5%	0.0%
	20代	69	78.3%	26.1%	59.4%	40.6%	26.1%	4.3%	0.0%	1.4%
	30代	98	75.5%	40.8%	59.2%	34.7%	27.6%	1.0%	3.1%	1.0%
	40代	102	82.4%	37.3%	48.0%	37.3%	30.4%	5.9%	2.9%	2.9%
	50代	127	80.3%	29.1%	52.8%	29.9%	44.1%	8.7%	1.6%	0.8%
	60代	169	78.1%	30.2%	47.3%	22.5%	44.4%	19.5%	3.0%	0.6%
	70代以上	157	68.2%	14.0%	41.4%	31.2%	28.0%	33.1%	2.5%	6.4%
居住地区	旧烏山東部	83	78.3%	22.9%	50.6%	38.6%	36.1%	14.5%	2.4%	0.0%
	旧烏山西部	350	75.1%	26.0%	46.3%	34.0%	32.0%	14.3%	3.4%	3.7%
	旧南那須南部	170	78.8%	33.5%	54.1%	25.9%	35.9%	14.1%	3.5%	1.2%
	旧南那須北部	135	74.1%	33.3%	50.4%	28.1%	39.3%	13.3%	0.7%	1.5%

4-6 公衆無線 LAN (Wi-Fi) の必要性 [ 問 16 : 単数回答 n=764 ]

「必要だと感じる」が約7割となっている。

( 結果概要 )  
 ・ 50代以下では、8割以上が必要と感じている。

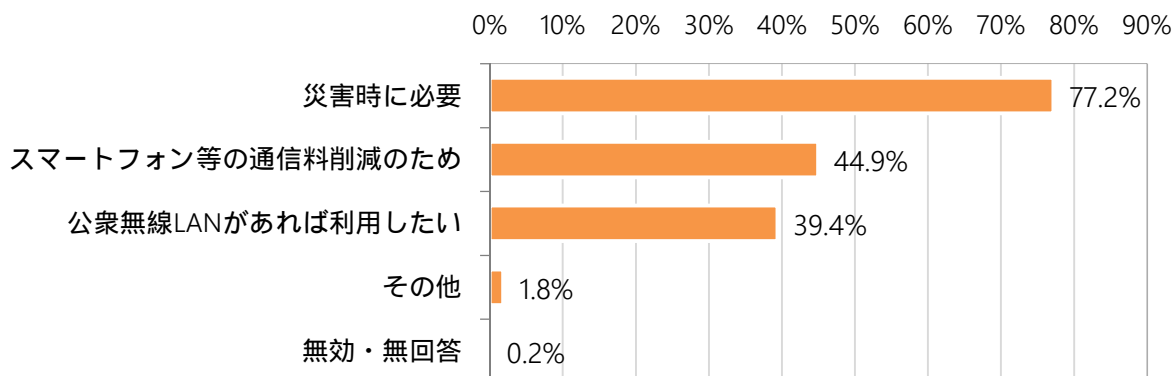


4-7 公衆無線 LAN (Wi-Fi) が必要な理由 [ 問 17 : 複数回答 n=543 ]

「災害時に必要」が約 8 割となっている。

( 結果概要 )

- ・ 10代では、通信料削減に対する期待が高い。
- ・ 旧南那須南部地域では、公衆無線 LAN の利用希望が多い。



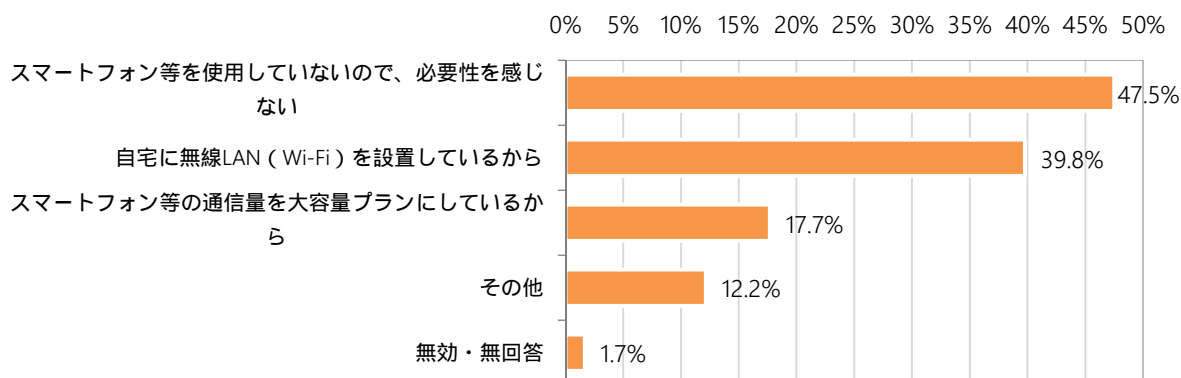
		n	災害時に必要	スマートフォン等の通信料削減のため	公衆無線LANがあれば利用したい	その他	無効・無回答
総合		764	77.2%	44.9%	39.4%	1.8%	0.2%
年齢	10代後半	32	69.2%	65.4%	42.3%	0.0%	0.0%
	20代	69	80.7%	42.1%	40.4%	1.8%	1.8%
	30代	98	77.5%	43.8%	36.3%	5.0%	0.0%
	40代	102	80.7%	41.0%	47.0%	4.8%	0.0%
	50代	127	76.5%	52.9%	35.3%	0.0%	0.0%
	60代	169	72.5%	47.7%	40.4%	0.0%	0.0%
	70代以上	157	81.0%	32.1%	36.9%	1.2%	0.0%
居住地区	旧烏山東部	83	78.8%	42.4%	31.8%	4.5%	0.0%
	旧烏山西部	350	80.4%	43.7%	39.2%	1.2%	0.0%
	旧南那須南部	170	71.2%	44.0%	46.4%	1.6%	0.0%
	旧南那須北部	135	76.3%	49.5%	36.1%	2.1%	1.0%

4-8 公衆無線 LAN (Wi-Fi) が不必要な理由 [ 問 18 : 複数回答 n=181 ]

「スマートフォン等を使用していないので、必要性を感じない」が約半数となっている。

( 結果概要 )

- ・ 50代以下では、自宅に無線 LAN を設置済みのため、必要性を感じないが多い。
- ・ 高齢層では、スマートフォン等を使用していないので、必要性を感じないが多い

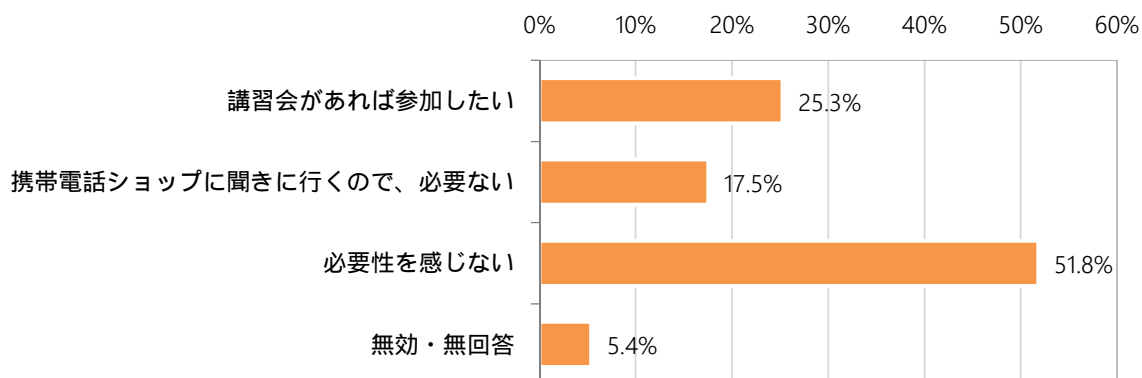


		n	自宅に無線 LAN (Wi-Fi) を設置しているから	スマートフォン等の通信量を大容量プランにしているから	スマートフォン等を使用していないので、必要性を感じない	その他	無効・無回答
総合		764	39.8%	17.7%	47.5%	12.2%	1.7%
年齢	10代後半	32	100.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	20代	69	54.5%	36.4%	18.2%	18.2%	0.0%
	30代	98	70.6%	23.5%	11.8%	41.2%	5.9%
	40代	102	53.3%	33.3%	20.0%	13.3%	0.0%
	50代	127	56.5%	21.7%	39.1%	0.0%	0.0%
	60代	169	25.9%	6.9%	62.1%	8.6%	1.7%
	70代以上	157	23.5%	15.7%	66.7%	9.8%	2.0%
居住地区	旧烏山東部	83	35.7%	7.1%	50.0%	7.1%	7.1%
	旧烏山西部	350	36.4%	17.0%	47.7%	12.5%	1.1%
	旧南那須南部	170	33.3%	26.2%	47.6%	11.9%	2.4%
	旧南那須北部	135	54.8%	12.9%	45.2%	16.1%	0.0%

4-9 スマートフォン等の操作講習会の開催の必要性 [ 問 19 : 単数回答 n=764 ]

「必要性を感じない」が約半数となっている。

( 結果概要 )  
 ・高齢層では、講習会への参加を希望が多い。



		n	講習会があれば参加したい	携帯電話ショップに聞きに行くので、必要ない	必要性を感じない	無効・無回答
総合		764	25.3%	17.5%	51.8%	5.4%
年齢	10代後半	32	12.5%	28.1%	59.4%	0.0%
	20代	69	8.7%	17.4%	72.5%	1.4%
	30代	98	11.2%	18.4%	68.4%	2.0%
	40代	102	17.6%	16.7%	60.8%	4.9%
	50代	127	23.6%	17.3%	58.3%	0.8%
	60代	169	36.7%	21.3%	39.1%	3.0%
	70代以上	157	38.9%	12.1%	36.9%	12.1%
居住地区	旧烏山東部	83	25.3%	22.9%	48.2%	3.6%
	旧烏山西部	350	24.3%	19.4%	51.1%	5.1%
	旧南那須南部	170	23.5%	13.5%	60.0%	2.9%
	旧南那須北部	135	31.9%	14.8%	49.6%	3.7%

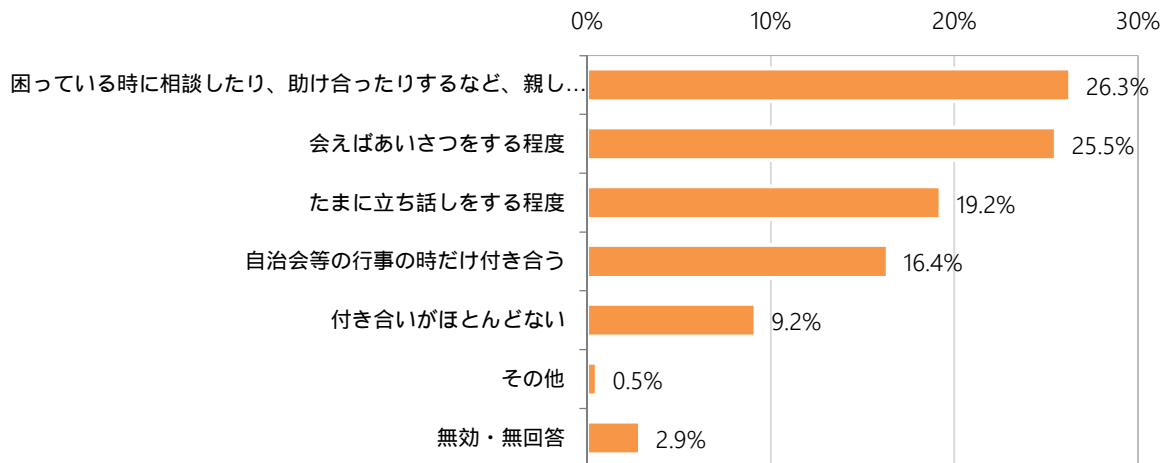
## 5 地域との関わりについて

### 5-1 地域の人との付き合い方 [ 問 20 : 単数回答 n=764 ]

「困っている時に相談したり、助け合ったりするなど、親しくお付き合いしている」が4人に1人、「会えばあいさつする程度」が同程度となっている。

#### ( 結果概要 )

- ・ 50代以下では、あいさつを交わす程度が多い。
- ・ 60代以上では、近隣での助け合いが見られる。



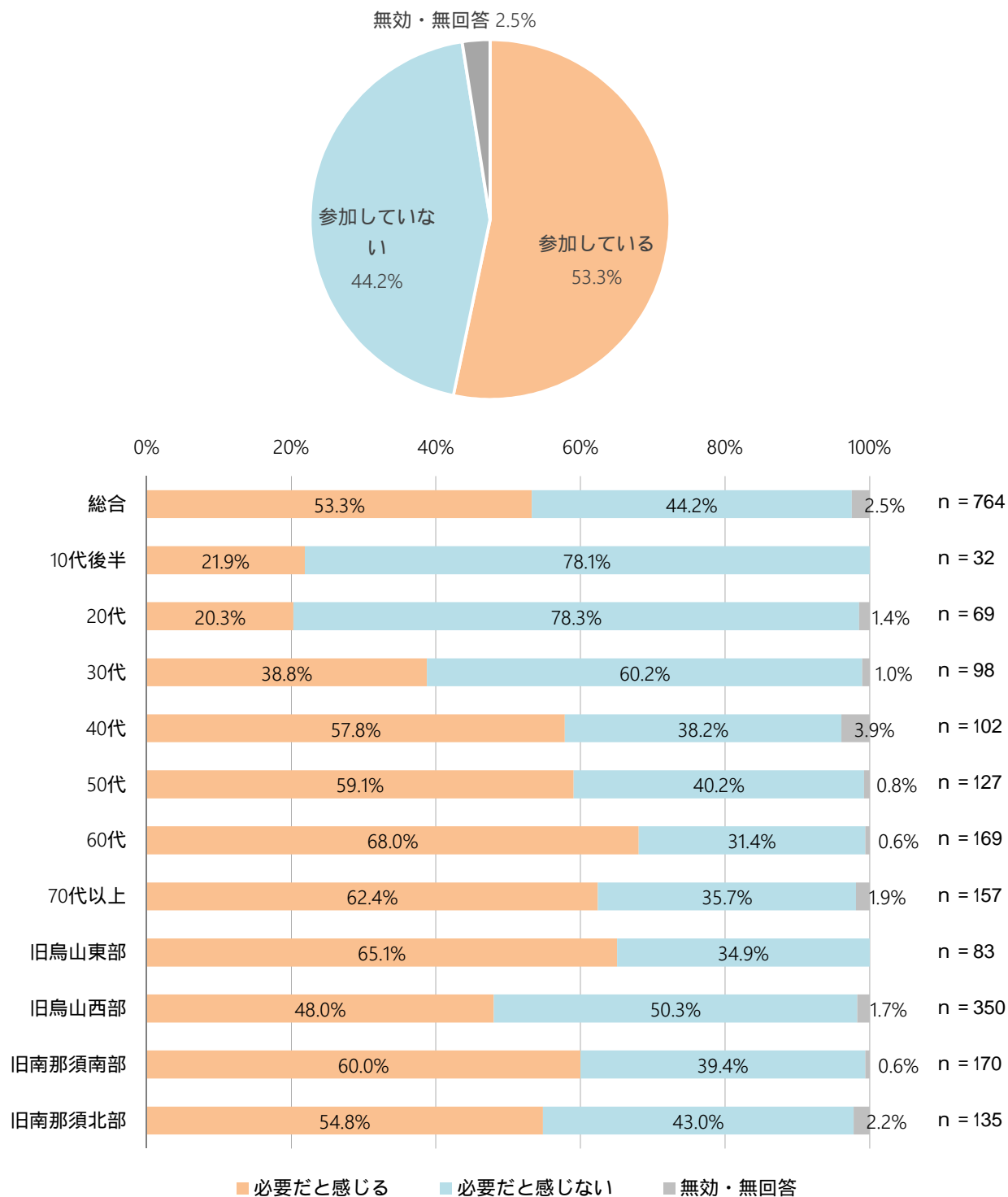
	n	困っている時に相談したり、助け合ったりするなど、親しくお付き合いしている	自治会等の行事の時だけ付き合う	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	付き合いがほとんどない	その他	無効・無回答	
総合	764	26.3%	16.4%	19.2%	25.5%	9.2%	0.5%	2.9%	
年齢	10代後半	32	3.1%	6.3%	3.1%	53.1%	34.4%	0.0%	0.0%
	20代	69	13.0%	5.8%	11.6%	47.8%	20.3%	0.0%	1.4%
	30代	98	17.3%	11.2%	15.3%	42.9%	10.2%	2.0%	1.0%
	40代	102	13.7%	22.5%	20.6%	31.4%	7.8%	0.0%	3.9%
	50代	127	21.3%	19.7%	23.6%	23.6%	10.2%	0.8%	0.8%
	60代	169	39.1%	19.5%	20.7%	16.0%	3.6%	0.0%	1.2%
	70代以上	157	42.0%	17.2%	23.6%	8.9%	4.5%	0.6%	3.2%
居住地区	旧烏山東部	83	33.7%	19.3%	19.3%	16.9%	8.4%	0.0%	2.4%
	旧烏山西部	350	25.4%	15.7%	21.7%	26.6%	8.6%	0.0%	2.0%
	旧南那須南部	170	27.1%	20.0%	15.3%	25.3%	10.0%	1.8%	0.6%
	旧南那須北部	135	25.2%	14.8%	19.3%	26.7%	10.4%	0.7%	3.0%

5-2 地域活動への参加 [ 問 21 : 単数回答 n=764 ]

「参加している」は5割強となっている。

( 結果概要 )

- ・ 40代以上では、参加率が高い。
- ・ 旧烏山東部地域では、参加率が高い。

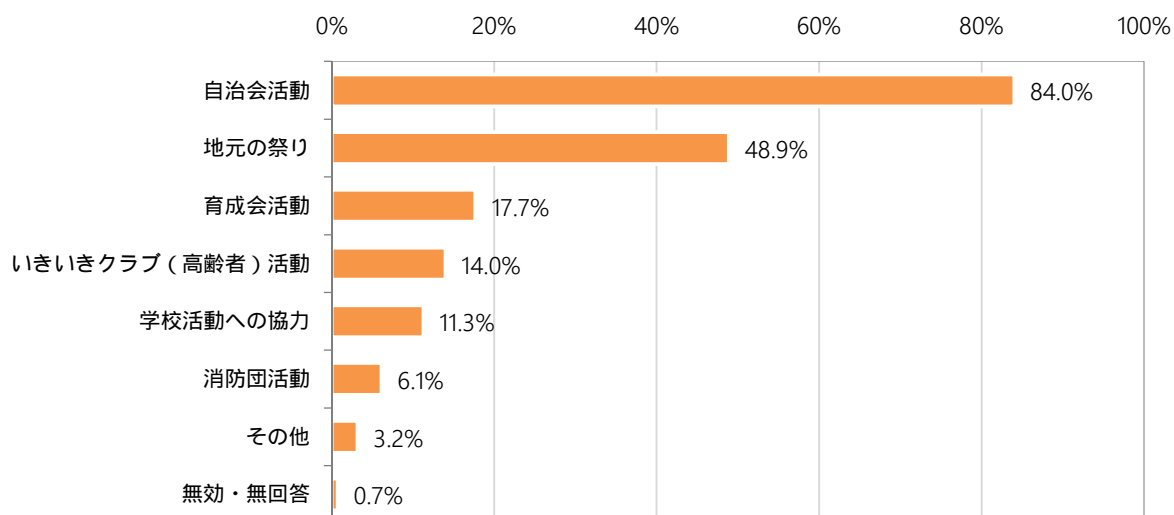


5-3 参加している地域活動（地域活動に参加している方）[問 22：複数回答 n=407]

「自治会活動」が8割以上、次いで「地元の祭り」が約半数となっている。

（結果概要）

- ・ 10代では、祭りへの参加率が高い。
- ・ 50代、60代では、自治会活動への参加率が高い。



		n	自治会活動	地元の祭り	育成会活動	学校活動への協力	いきいきクラブ(高齢者)活動	消防団活動	その他	無効・無回答
総合		407	84.0%	48.9%	17.7%	11.3%	14.0%	6.1%	3.2%	0.7%
年齢	10代後半	7	28.6%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
	20代	14	64.3%	42.9%	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%
	30代	38	52.6%	36.8%	47.4%	23.7%	0.0%	28.9%	2.6%	2.6%
	40代	59	69.5%	27.1%	54.2%	33.9%	1.7%	11.9%	1.7%	1.7%
	50代	75	96.0%	40.0%	16.0%	9.3%	4.0%	4.0%	1.3%	0.0%
	60代	115	95.7%	64.3%	1.7%	5.2%	14.8%	0.0%	3.5%	0.0%
	70代以上	98	88.8%	56.1%	4.1%	4.1%	35.7%	1.0%	5.1%	0.0%
居住地区	旧烏山東部	54	87.0%	55.6%	9.3%	13.0%	11.1%	5.6%	1.9%	0.0%
	旧烏山西部	168	86.3%	52.4%	16.7%	10.7%	14.3%	4.8%	3.0%	0.0%
	旧南那須南部	102	82.4%	41.2%	19.6%	12.7%	10.8%	8.8%	4.9%	2.0%
	旧南那須北部	74	81.1%	45.9%	23.0%	10.8%	18.9%	4.1%	1.4%	0.0%

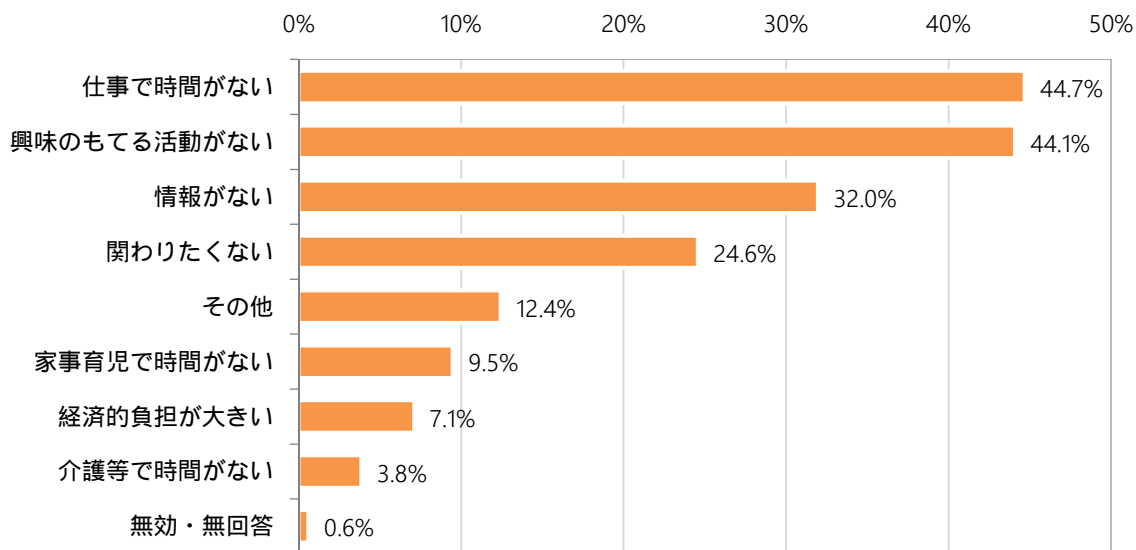


5-4 地域活動に参加しない理由（地域活動に参加していない方）[問23：複数回答 n=338]

「仕事で時間がない」「興味のもてる活動がない」が同程度で、4割強となっている。

（結果概要）

- ・ 20代～50代では、仕事優先が多い。
- ・ 10代と高齢層では、活動への興味が希薄化している。



	n	仕事で時間がない	家事育児で時間がない	介護等で時間がない	経済的負担が大きい	情報がない	興味のもてる活動がない	関わりたくない	その他	無効・無回答	
総合	338	44.7%	9.5%	3.8%	7.1%	32.0%	44.1%	24.6%	12.4%	0.6%	
年齢	10代後半	25	32.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	36.0%	24.0%	12.0%	4.0%
	20代	54	57.4%	14.8%	0.0%	1.9%	33.3%	44.4%	16.7%	11.1%	0.0%
	30代	59	57.6%	25.4%	0.0%	5.1%	33.9%	39.0%	25.4%	11.9%	0.0%
	40代	39	66.7%	10.3%	0.0%	10.3%	35.9%	35.9%	15.4%	12.8%	0.0%
	50代	51	45.1%	2.0%	3.9%	9.8%	27.5%	45.1%	31.4%	15.7%	0.0%
	60代	53	41.5%	5.7%	5.7%	5.7%	32.1%	47.2%	26.4%	9.4%	1.9%
	70代以上	56	12.5%	1.8%	14.3%	12.5%	33.9%	53.6%	30.4%	14.3%	0.0%
居住地区	旧烏山東部	29	41.4%	17.2%	3.4%	0.0%	27.6%	37.9%	24.1%	13.8%	0.0%
	旧烏山西部	176	48.3%	10.2%	3.4%	8.5%	29.5%	48.9%	21.6%	11.9%	0.6%
	旧南那須南部	67	43.3%	10.4%	6.0%	3.0%	25.4%	41.8%	26.9%	9.0%	1.5%
	旧南那須北部	58	36.2%	3.4%	1.7%	8.6%	48.3%	36.2%	29.3%	19.0%	0.0%

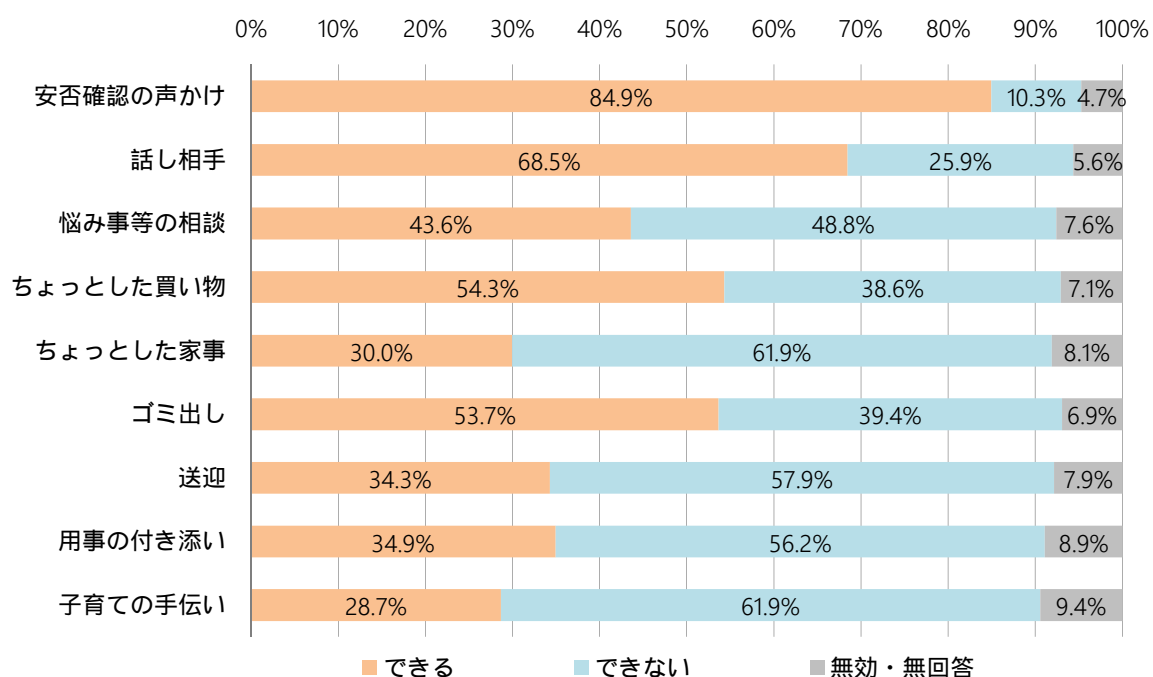
5-5 近隣に手助けできること、手助けしてほしいこと [ 問 24 : 単数回答 n=764 ]

手助けできることとして「安否確認の声かけ」が8割以上で最多、手助けしてほしいこととしても「安否確認の声かけ」が約半数で最多となっている。

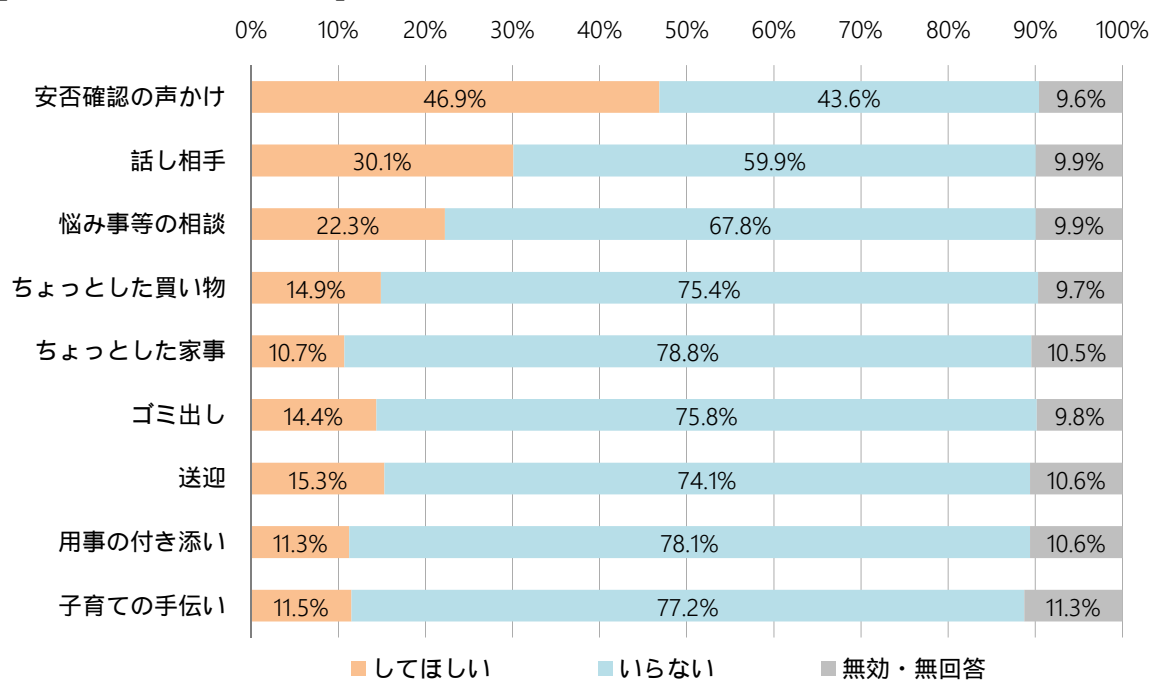
( 結果概要 )

- ・安否確認や話し相手など、手軽にできることに対して、手助けできる方が多い。

[ 手助けできること ]



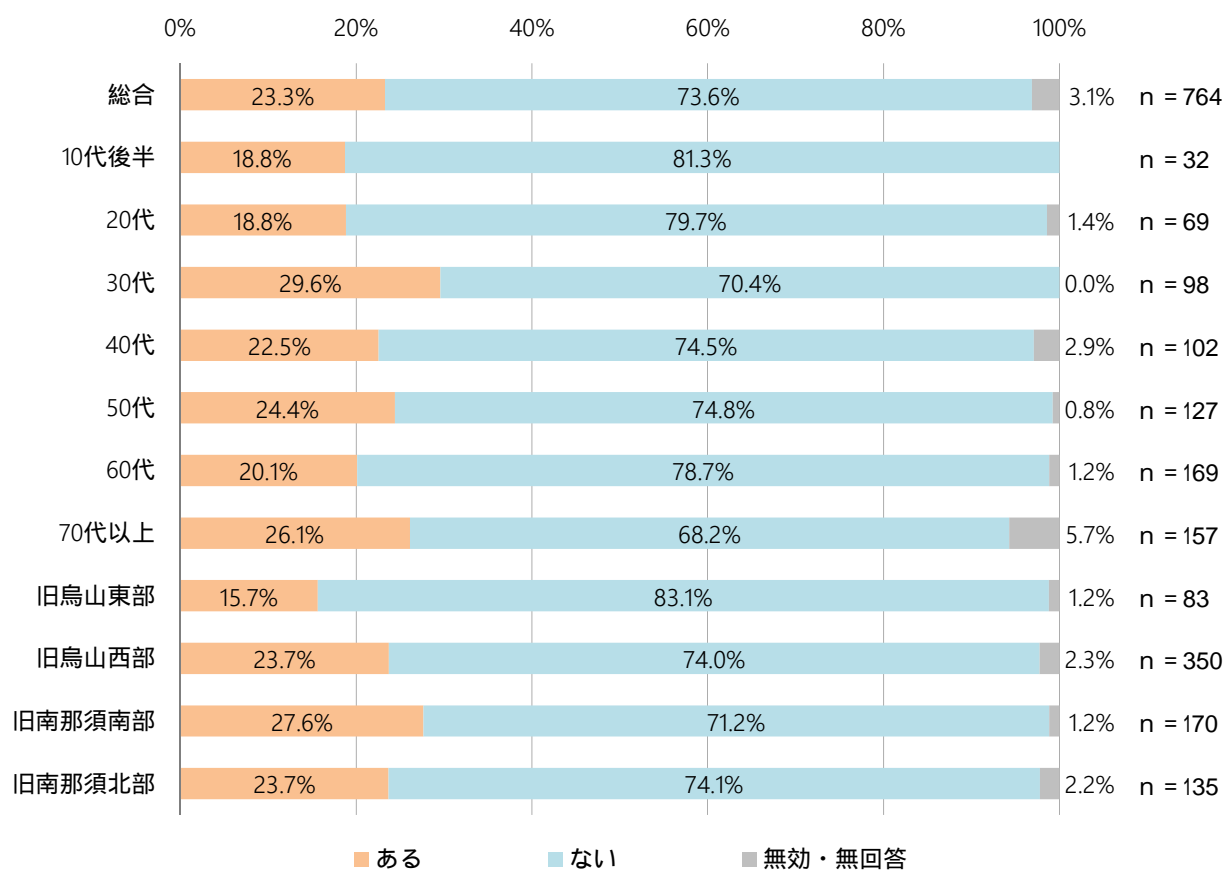
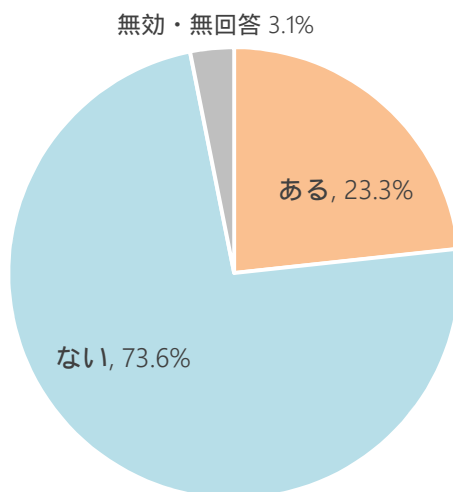
[ 手助けしてほしいこと ]



5-6 日常生活における困っている事の有無 [ 問 25 : 単数回答 n=764 ]

4人に1人が日常生活で困っている。

( 結果概要 )  
 ・ 30代では、日常生活で困っている人が比較的多い。

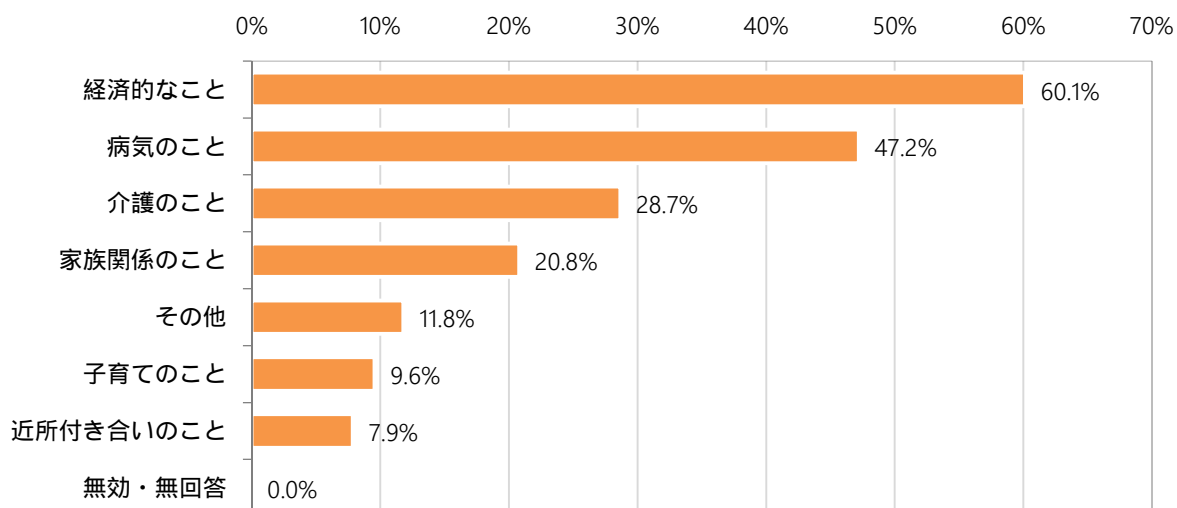


5-7 日常生活で困っていること(困っていることがある方)[問26:複数回答 n=178]

「経済的なこと」が約6割で最多、次いで「病気のこと」が約5割となっている。

( 結果概要 )

- ・70代以上を除いた多くの世代で、経済的な問題を保有している。
- ・高齢層ほど、病気や介護の悩みが増加している。



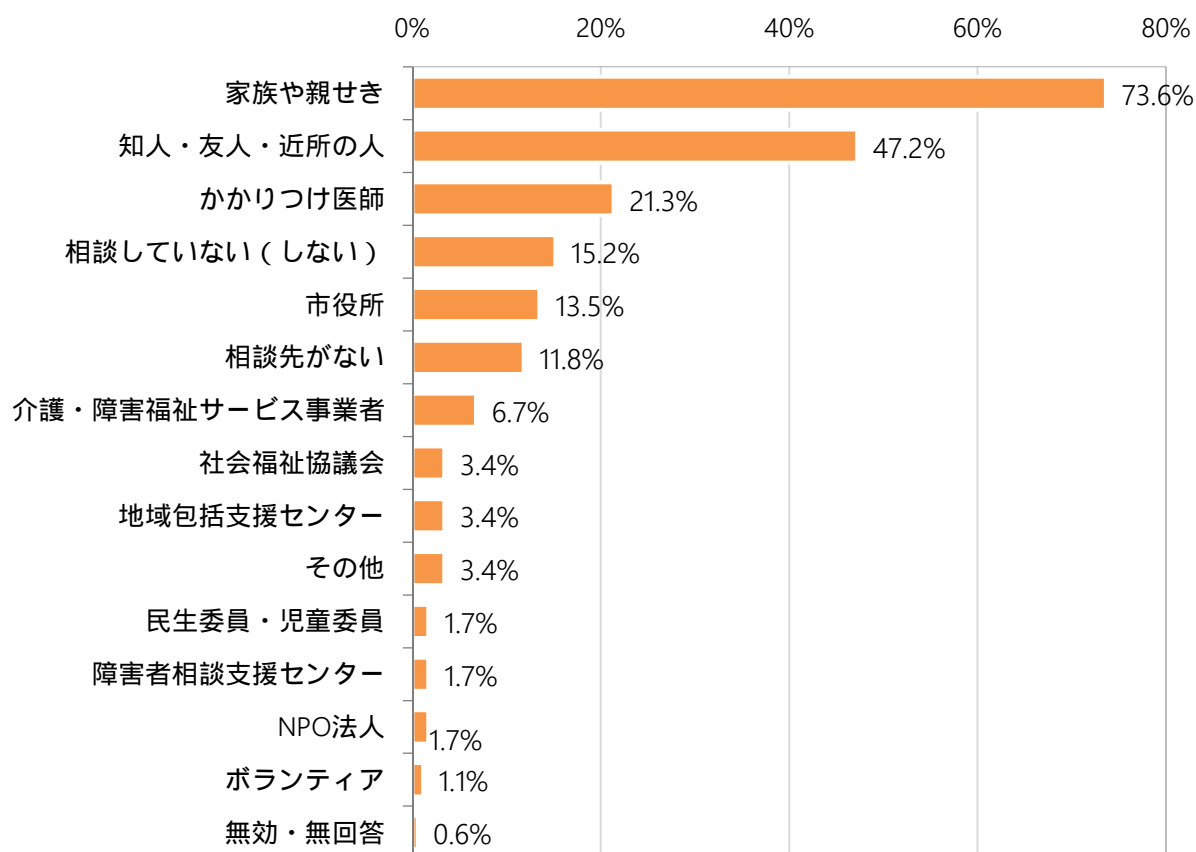
		n	病気のこと	介護のこと	家族関係のこと	近所付き合いのこと	経済的なこと	子育てのこと	その他
総合		178	47.2%	28.7%	20.8%	7.9%	60.1%	9.6%	11.8%
年齢	10代後半	6	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%
	20代	13	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	84.6%	7.7%	15.4%
	30代	29	31.0%	13.8%	24.1%	6.9%	55.2%	27.6%	20.7%
	40代	23	43.5%	26.1%	30.4%	4.3%	65.2%	13.0%	8.7%
	50代	31	45.2%	29.0%	32.3%	12.9%	54.8%	12.9%	12.9%
	60代	34	52.9%	32.4%	20.6%	11.8%	58.8%	2.9%	11.8%
	70代以上	41	68.3%	46.3%	9.8%	7.3%	53.7%	0.0%	7.3%
居住地区	旧烏山東部	13	69.2%	53.8%	38.5%	0.0%	53.8%	0.0%	7.7%
	旧烏山西部	83	34.9%	24.1%	19.3%	7.2%	61.4%	8.4%	14.5%
	旧南那須南部	47	51.1%	27.7%	19.1%	10.6%	55.3%	12.8%	12.8%
	旧南那須北部	32	62.5%	28.1%	21.9%	9.4%	65.6%	12.5%	6.3%

5-8 相談相手（困っていることがある方）[問27：複数回答 n=178]

「家族や親せき」が7割強で最多となっている。

（結果概要）

・20代、40代では、「家族や親せき」を相談相手とする意向が強い。

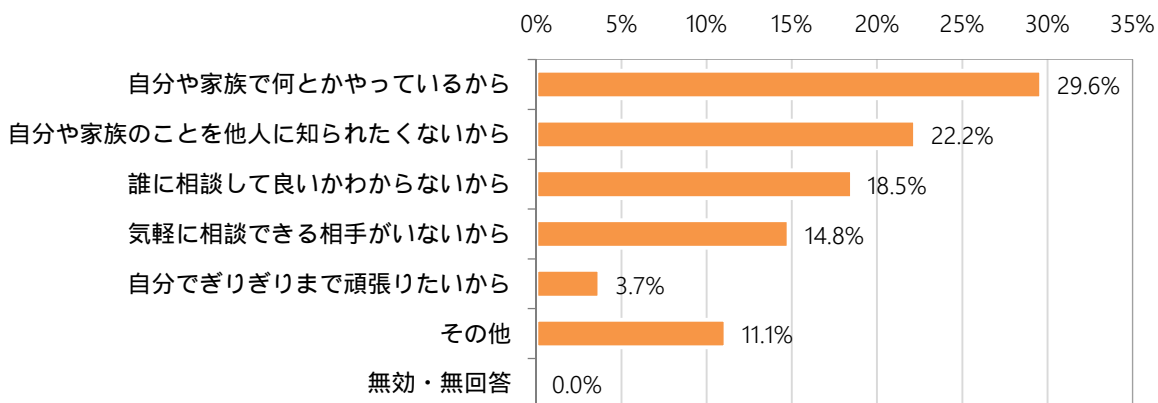


		家族や親せき	知人・友人・近所の人	市役所	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	地域包括支援センター	障害者相談支援センター	介護・障害福祉サービス事業者	かかりつけ医師	ボランティア	NPO法人	その他	相談先がない	相談していない(しない)	無効・無回答
	n															
総合	178	73.6%	47.2%	13.5%	1.7%	3.4%	3.4%	1.7%	6.7%	21.3%	1.1%	1.7%	3.4%	11.8%	15.2%	0.6%
年齢	10代後半	6	66.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	20代	13	92.3%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
	30代	29	58.6%	41.4%	10.3%	0.0%	3.4%	0.0%	3.4%	20.7%	0.0%	3.4%	3.4%	17.2%	31.0%	0.0%
	40代	23	91.3%	60.9%	17.4%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	8.7%	8.7%	13.0%	0.0%
	50代	31	77.4%	51.6%	19.4%	0.0%	3.2%	9.7%	3.2%	12.9%	0.0%	3.2%	6.5%	9.7%	9.7%	0.0%
	60代	34	73.5%	38.2%	8.8%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	11.8%	17.6%	2.9%	2.9%	14.7%	17.6%	0.0%
	70代以上	41	68.3%	46.3%	17.1%	7.3%	4.9%	2.4%	0.0%	9.8%	43.9%	0.0%	2.4%	12.2%	12.2%	2.4%
居住地区	旧烏山東部	13	46.2%	30.8%	7.7%	0.0%	23.1%	7.7%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%
	旧烏山西部	83	77.1%	48.2%	12.0%	1.2%	1.2%	3.6%	0.0%	7.2%	21.7%	0.0%	1.2%	1.2%	10.8%	15.7%
	旧南那須南部	47	78.7%	46.8%	14.9%	2.1%	4.3%	0.0%	2.1%	2.1%	14.9%	2.1%	2.1%	6.4%	10.6%	17.0%
	旧南那須北部	32	71.9%	56.3%	15.6%	3.1%	0.0%	3.1%	0.0%	6.3%	31.3%	0.0%	3.1%	6.3%	15.6%	15.6%

5-9 相談しない理由（相談していない（しない）方）[問28：複数回答 n=27]

「自分や家族で何とかやっているから」が約3割で最多となっている。

（結果概要）  
 ・60代では、半数が「誰に相談して良いかわからないから」を選択している。

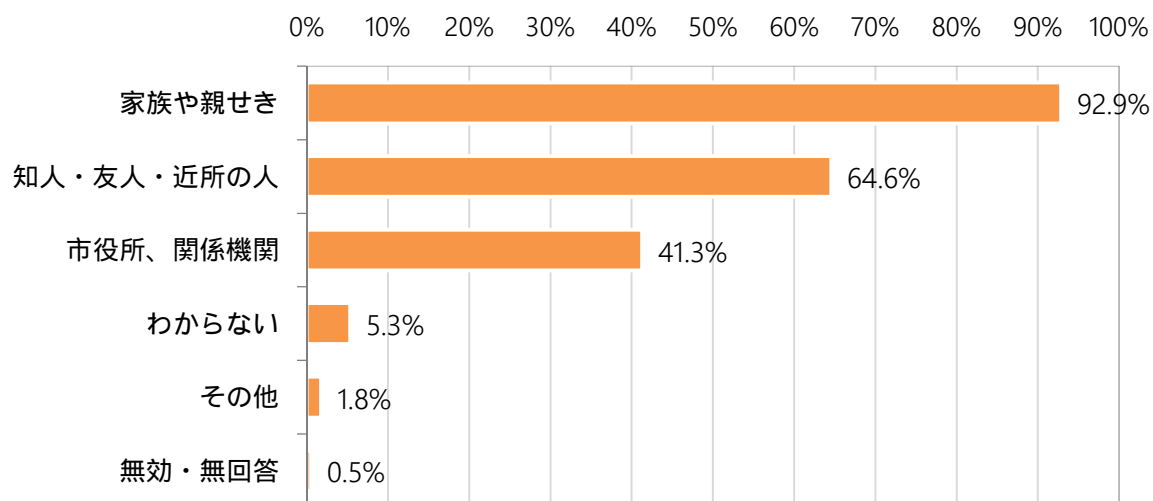


	n	自分でぎりぎりまで頑張りたいから	自分や家族で何とかやっているから	誰に相談して良いかわからないから	気軽に相談できる相手がいないから	自分や家族のことを他人に知られたくないから	その他
総合	27	3.7%	29.6%	18.5%	14.8%	22.2%	11.1%
年齢	10代後半	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	9	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	44.4%
	40代	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	50代	3	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
	60代	6	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%
	70代以上	5	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
居住地区	旧烏山東部	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	旧烏山西部	13	7.7%	15.4%	23.1%	7.7%	38.5%
	旧南那須南部	8	0.0%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%
	旧南那須北部	5	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%

5-10 今後困った時の相談相手（困っていない方）[問29：複数回答 n=562]

「家族や親せき」が9割以上となっている。

（結果概要）  
・高齢層では、「市役所・関係機関」への相談割合が増加する傾向にある。



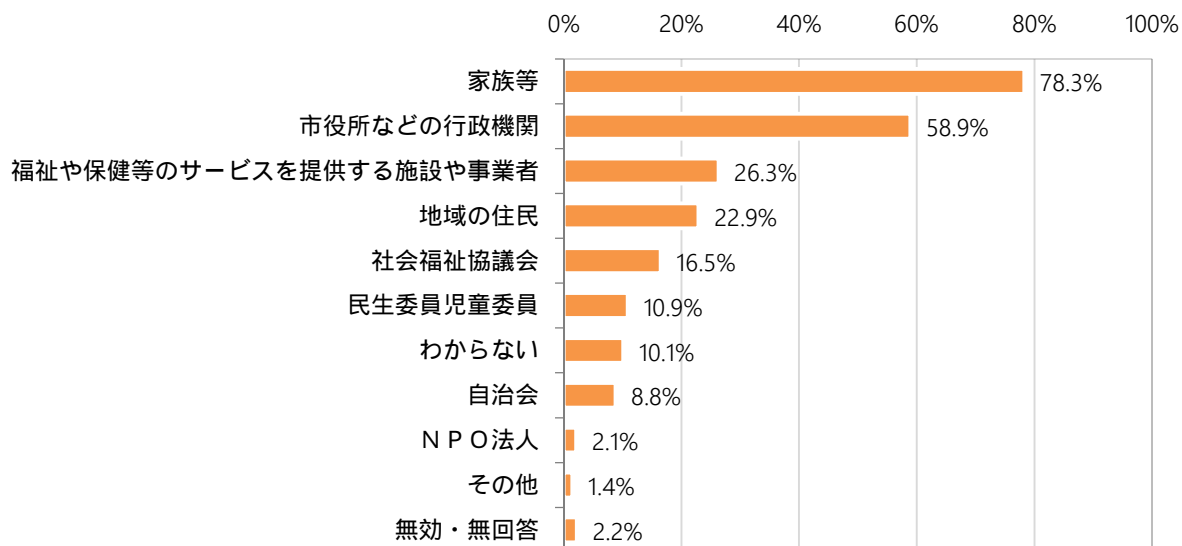
		n	家族や親せき	知人・友人・近所の人	市役所、関係機関	わからない	その他	無効・無回答
総合		562	92.9%	64.6%	41.3%	5.3%	1.8%	0.5%
年齢	10代後半	26	88.5%	69.2%	7.7%	3.8%	0.0%	3.8%
	20代	55	90.9%	61.8%	18.2%	5.5%	1.8%	1.8%
	30代	69	94.2%	68.1%	31.9%	1.4%	4.3%	0.0%
	40代	76	94.7%	69.7%	38.2%	6.6%	1.3%	0.0%
	50代	95	93.7%	64.2%	50.5%	7.4%	2.1%	0.0%
	60代	133	90.2%	57.1%	46.6%	6.8%	2.3%	0.8%
	70代以上	107	95.3%	68.2%	54.2%	3.7%	0.0%	0.0%
居住地区	旧烏山東部	69	94.2%	71.0%	39.1%	4.3%	0.0%	0.0%
	旧烏山西部	259	92.3%	62.5%	41.7%	5.0%	1.9%	1.2%
	旧南那須南部	121	92.6%	64.5%	42.1%	4.1%	1.7%	0.0%
	旧南那須北部	100	95.0%	64.0%	41.0%	8.0%	1.0%	0.0%



5-1 1 必要な手助けを行うべき人・機関 [ 問 30 : 複数回答 n=764 ]

「家族等」が約 8 割で最多、次いで「市役所などの行政機関」が約 6 割となっている。

( 結果概要 )  
 ・ 10 代後半では、「市役所などの行政機関」に対する期待が大きい。



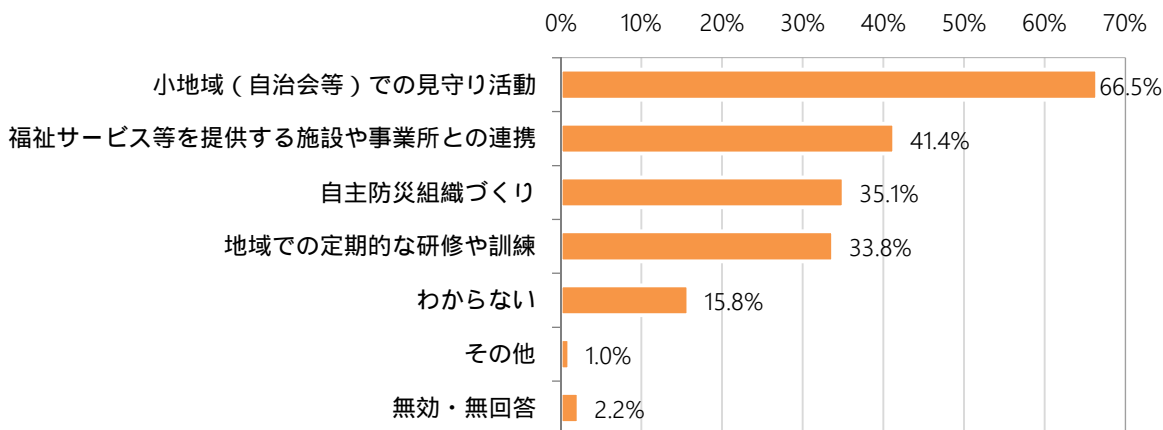
	n	家族等	地域の住民	市役所などの行政機関	社会福祉協議会	民生委員児童委員	自治会	福祉や保健等のサービスを提供する施設や事業者	NPO法人	わからない	その他	無効・無回答	
総合	764	78.3%	22.9%	58.9%	16.5%	10.9%	8.8%	26.3%	2.1%	10.1%	1.4%	2.2%	
年齢	10代後半	32	68.8%	21.9%	75.0%	12.5%	6.3%	15.6%	12.5%	3.1%	12.5%	0.0%	0.0%
	20代	69	82.6%	15.9%	56.5%	15.9%	2.9%	10.1%	23.2%	2.9%	13.0%	0.0%	0.0%
	30代	98	73.5%	27.6%	64.3%	11.2%	1.0%	9.2%	24.5%	4.1%	13.3%	4.1%	1.0%
	40代	102	81.4%	19.6%	65.7%	13.7%	13.7%	4.9%	18.6%	2.0%	9.8%	1.0%	1.0%
	50代	127	83.5%	22.0%	60.6%	18.9%	7.1%	4.7%	29.9%	1.6%	12.6%	1.6%	0.0%
	60代	169	79.3%	24.3%	57.4%	18.3%	15.4%	11.2%	31.4%	1.8%	7.1%	0.0%	1.8%
	70代以上	157	78.3%	26.1%	51.6%	19.7%	18.5%	8.9%	29.3%	1.3%	8.3%	2.5%	2.5%
居住地区	旧烏山東部	83	83.1%	25.3%	62.7%	20.5%	9.6%	9.6%	24.1%	1.2%	9.6%	1.2%	1.2%
	旧烏山西部	350	79.1%	21.7%	58.6%	17.4%	10.3%	7.7%	25.7%	1.7%	10.0%	1.7%	1.1%
	旧南那須南部	170	79.4%	25.9%	54.1%	15.3%	11.8%	12.9%	25.9%	2.9%	9.4%	0.6%	1.2%
	旧南那須北部	135	78.5%	23.7%	68.1%	15.6%	11.1%	5.2%	28.1%	2.2%	11.1%	2.2%	0.7%

5-12 「災害時に住民が支え合う地域づくり」を効果的に進めていくために充実させること  
 [ 問 31 : 複数回答 n=764 ]

「小地域(自治会等)での見守り活動」が約7割となっている。

( 結果概要 )

- ・ 高齢層ほど、「小地域(自治会等)での見守り活動」を重視している。
- ・ 20代～50代では、「福祉サービス等を提供する施設や事業所との連携」も重視している。

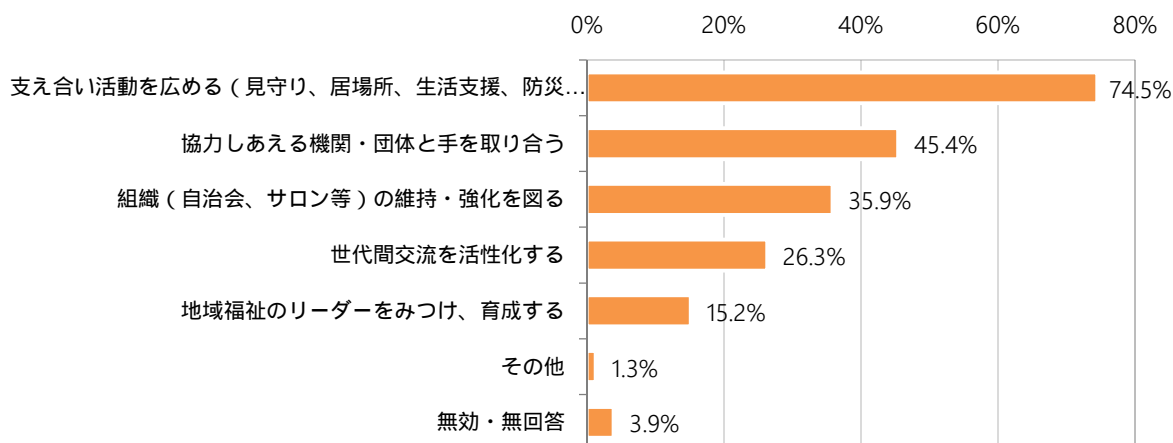


	n	小地域(自治会等)での見守り活動	自主防災組織づくり	地域での定期的な研修や訓練	福祉サービス等を提供する施設や事業所との連携	わからない	その他	無効・無回答	
総合	764	66.5%	35.1%	33.8%	41.4%	15.8%	1.0%	2.2%	
年齢	10代後半	32	53.1%	25.0%	25.0%	31.3%	0.0%	3.1%	
	20代	69	60.9%	34.8%	36.2%	44.9%	0.0%	0.0%	
	30代	98	56.1%	32.7%	35.7%	48.0%	2.0%	0.0%	
	40代	102	58.8%	29.4%	32.4%	41.2%	19.6%	2.9%	0.0%
	50代	127	70.9%	33.9%	36.2%	50.4%	15.0%	0.8%	0.0%
	60代	169	75.1%	37.9%	34.9%	37.3%	16.0%	0.6%	1.2%
	70代以上	157	73.9%	42.0%	32.5%	38.2%	13.4%	0.6%	3.8%
居住地区	旧烏山東部	83	72.3%	37.3%	33.7%	32.5%	18.1%	1.2%	1.2%
	旧烏山西部	350	65.1%	34.9%	34.0%	42.3%	14.9%	1.1%	0.6%
	旧南那須南部	170	68.8%	37.6%	32.4%	40.6%	15.9%	0.6%	1.8%
	旧南那須北部	135	68.9%	33.3%	36.3%	49.6%	17.8%	0.7%	1.5%

5-13 地域における福祉を充実させるために重要な取組み [ 問 32 : 複数回答 n=764 ]

「支え合い活動を広める」が7割強で最多となっている。

( 結果概要 )  
 ・70代以上では、「組織(自治会、サロン等)の維持・強化を図る」ことも重視している。



	n	支え合い活動を広める (見守り、居場所、生活支援、防災の一体的取組み)	組織(自治会、サロン等)の維持・強化を図る	地域福祉のリーダーをみつけ、育成する	協力しあえる機関・団体と手を取り合う	世代間交流を活性化する	その他	無効・無回答	
総合	764	74.5%	35.9%	15.2%	45.4%	26.3%	1.3%	3.9%	
年齢	10代後半	32	68.8%	25.0%	6.3%	40.6%	34.4%	3.1%	6.3%
	20代	69	76.8%	31.9%	4.3%	50.7%	24.6%	0.0%	0.0%
	30代	98	69.4%	36.7%	10.2%	51.0%	31.6%	2.0%	2.0%
	40代	102	71.6%	33.3%	11.8%	52.9%	26.5%	1.0%	3.9%
	50代	127	77.2%	36.2%	20.5%	47.2%	18.9%	1.6%	0.0%
	60代	169	76.3%	37.9%	18.3%	43.2%	26.6%	0.6%	2.4%
	70代以上	157	79.0%	40.1%	20.4%	38.9%	28.7%	1.9%	6.4%
居住地区	旧烏山東部	83	79.5%	39.8%	10.8%	45.8%	18.1%	0.0%	3.6%
	旧烏山西部	350	76.6%	36.0%	15.4%	46.0%	25.7%	1.7%	2.0%
	旧南那須南部	170	71.2%	35.3%	18.2%	48.8%	31.2%	0.6%	3.5%
	旧南那須北部	135	73.3%	39.3%	14.1%	43.0%	29.6%	2.2%	2.2%

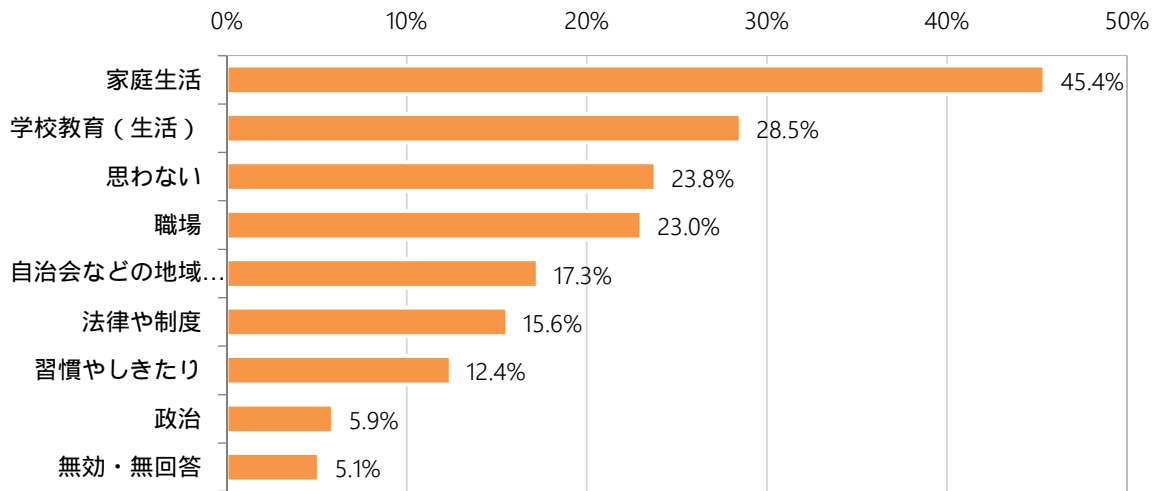
## 6 男女共同参画のまちづくりについて

### 6-1 男女の在り方が平等だと思うもの [ 問 33 : 複数回答 n=764 ]

「家庭生活」が約半数となっている。

( 結果概要 )

- ・ 10代では、半数が「学校教育」で平等性を実感している。
- ・ 70代以上では、「自治会などの地域活動」においても平等性を実感している。



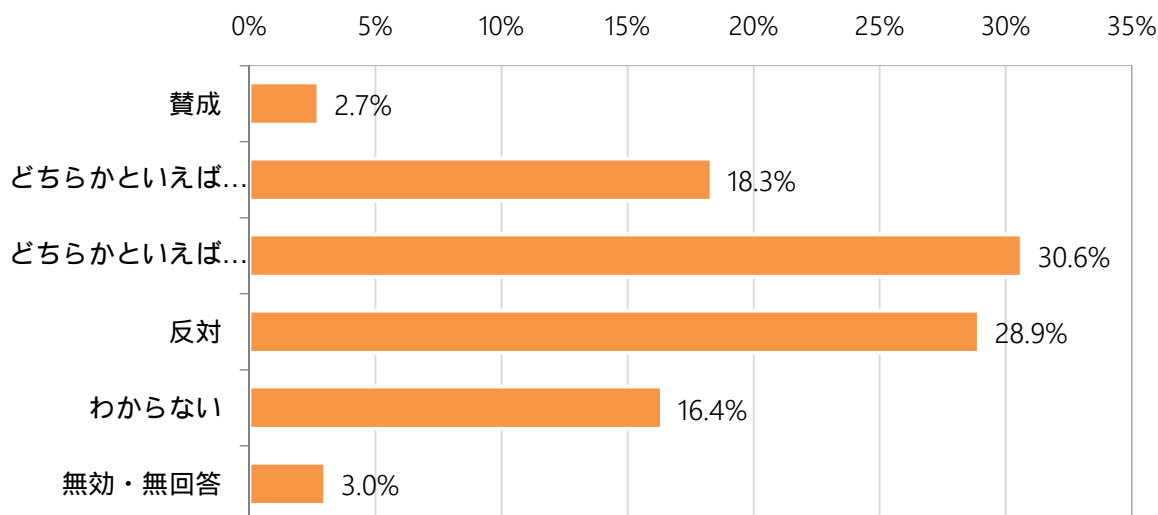
		n	家庭生活	自治会などの地域活動	学校教育(生活)	職場	政治	法律や制度	習慣やしきたり	思わない	無効・無回答
総合		764	45.4%	17.3%	28.5%	23.0%	5.9%	15.6%	12.4%	23.8%	5.1%
年齢	10代後半	32	40.6%	9.4%	50.0%	25.0%	0.0%	6.3%	6.3%	34.4%	3.1%
	20代	69	46.4%	11.6%	34.8%	24.6%	1.4%	13.0%	13.0%	23.2%	0.0%
	30代	98	46.9%	5.1%	31.6%	27.6%	4.1%	13.3%	6.1%	30.6%	0.0%
	40代	102	39.2%	6.9%	29.4%	29.4%	5.9%	13.7%	9.8%	25.5%	4.9%
	50代	127	44.1%	16.5%	29.9%	27.6%	5.5%	16.5%	10.2%	23.6%	2.4%
	60代	169	40.8%	21.3%	27.2%	23.7%	7.7%	20.7%	13.0%	25.4%	4.7%
	70代以上	157	57.3%	33.1%	20.4%	11.5%	8.9%	15.3%	21.0%	16.6%	8.9%
居住地区	旧烏山東部	83	47.0%	21.7%	30.1%	16.9%	3.6%	20.5%	15.7%	20.5%	1.2%
	旧烏山西部	350	47.1%	18.3%	28.6%	25.1%	6.9%	14.3%	11.1%	24.0%	3.4%
	旧南那須南部	170	47.6%	18.8%	30.0%	24.7%	4.1%	13.5%	11.8%	24.7%	4.1%
	旧南那須北部	135	41.5%	12.6%	27.4%	20.7%	8.1%	20.0%	15.6%	24.4%	6.7%

6-2 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方について

[ 問 34 : 複数回答 n=764 ]

「どちらかといえば反対」「反対」を合わせ約6割が反対している。

( 結果概要 )  
 ・若年層では、反対意見が多い。



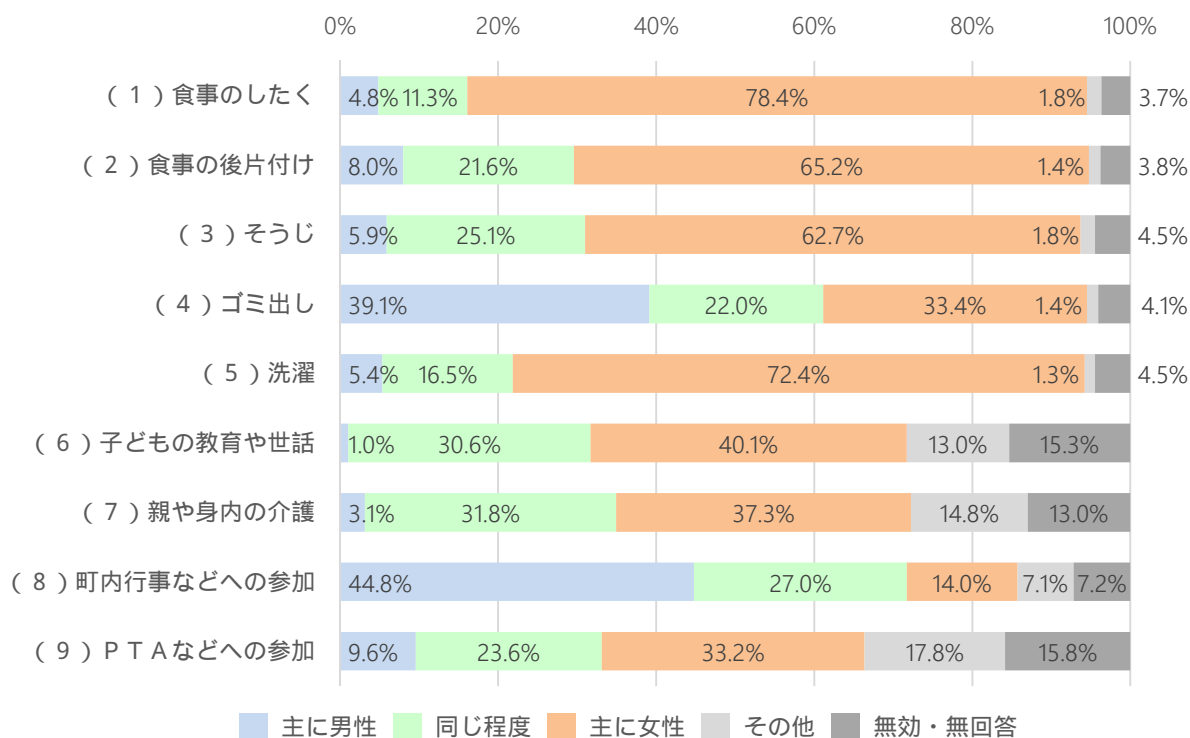
		n	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無効・無回答
総合		764	2.7%	18.3%	30.6%	28.9%	16.4%	3.0%
年齢	10代後半	32	3.1%	3.1%	28.1%	37.5%	25.0%	3.1%
	20代	69	0.0%	14.5%	24.6%	40.6%	18.8%	1.4%
	30代	98	4.1%	10.2%	23.5%	43.9%	18.4%	0.0%
	40代	102	2.0%	9.8%	26.5%	37.3%	21.6%	2.9%
	50代	127	2.4%	17.3%	33.9%	29.1%	15.7%	1.6%
	60代	169	1.8%	24.3%	36.7%	23.7%	11.8%	1.8%
	70代以上	157	5.1%	28.7%	33.1%	14.6%	15.3%	3.2%
居住地区	旧烏山東部	83	1.2%	20.5%	36.1%	26.5%	13.3%	2.4%
	旧烏山西部	350	2.3%	15.7%	28.3%	35.1%	16.9%	1.7%
	旧南那須南部	170	5.3%	22.4%	30.6%	23.5%	15.9%	2.4%
	旧南那須北部	135	2.2%	20.0%	34.8%	22.2%	20.0%	0.7%

6-3 家庭における男性・女性の役割分担 [ 問 35 : 単数回答 n=764 ]

「食事のしたく」「洗濯」は7割以上が女性担当、「ゴミ出し」「町内行事への参加」は約4割が男性担当となっている。

( 結果概要 )

- ・家事に関しては、女性が担当している割合が高い。
- ・育児や介護については、平等に分担している傾向である。

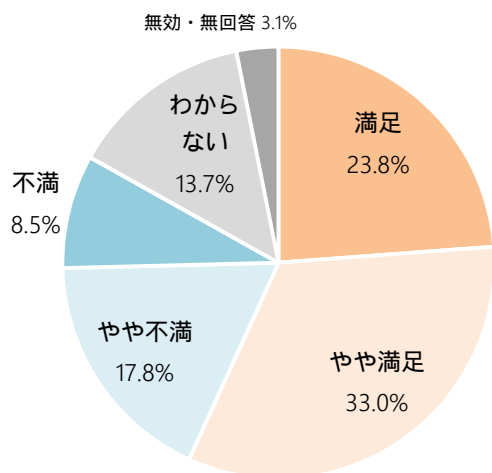


6-4 家庭における役割分担に対する満足度 [ 問 36 : 単数回答 n=764 ]

「満足」が約2割、「やや満足」が約3割、半数以上は満足している。

( 結果概要 )

- ・若年層では、3割弱が不明瞭である。
- ・旧南那須北部地域では、満足度が低い。



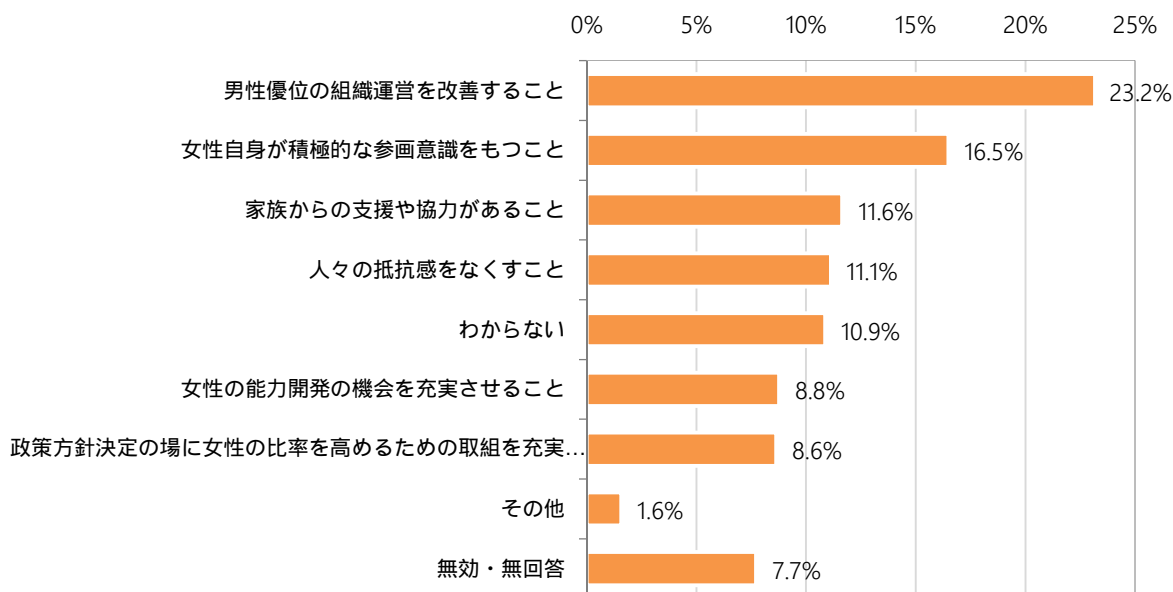
		n	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無効・無回答
総合		764	23.8%	33.0%	17.8%	8.5%	13.7%	3.1%
年齢	10代後半	32	28.1%	25.0%	6.3%	9.4%	28.1%	3.1%
	20代	69	29.0%	20.3%	15.9%	7.2%	27.5%	0.0%
	30代	98	22.4%	28.6%	18.4%	12.2%	16.3%	2.0%
	40代	102	22.5%	32.4%	23.5%	5.9%	13.7%	2.0%
	50代	127	23.6%	31.5%	18.9%	10.2%	15.0%	0.8%
	60代	169	23.1%	37.9%	20.7%	10.7%	7.1%	0.6%
	70代以上	157	23.6%	41.4%	14.0%	5.1%	10.2%	5.7%
居住地区	旧烏山東部	83	20.5%	33.7%	18.1%	16.9%	9.6%	1.2%
	旧烏山西部	350	26.3%	34.3%	16.0%	7.1%	14.3%	2.0%
	旧南那須南部	170	25.3%	36.5%	17.6%	6.5%	11.8%	2.4%
	旧南那須北部	135	17.8%	29.6%	24.4%	8.9%	18.5%	0.7%

6-5 議員や行政機関の委員、政策方針の決定の場に女性の参画が増えるために必要なこと  
 [ 問 37 : 単数回答 n=764 ]

「男性優位の組織運営を改善すること」が2割強で最多となっている。

( 結果概要 )

- ・ 20代、30代では、「抵抗感をなくすこと」も重視している。
- ・ 60代以上では、「女性自身が積極的な参画意識をもつこと」も重視している。



	n	人々の抵抗感をなくすこと	男性優位の組織運営を改善すること	女性の能力開発の機会を充実させること	女性自身が積極的な参画意識をもつこと	家族からの支援や協力があること	政策方針決定の場に女性の比率を高めるための取組を充実させること	わからない	その他	無効・無回答	
総合	764	11.1%	23.2%	8.8%	16.5%	11.6%	8.6%	10.9%	1.6%	7.7%	
年齢	10代後半	32	9.4%	34.4%	9.4%	3.1%	3.1%	3.1%	28.1%	0.0%	9.4%
	20代	69	15.9%	24.6%	11.6%	13.0%	7.2%	8.7%	15.9%	2.9%	0.0%
	30代	98	15.3%	26.5%	9.2%	10.2%	9.2%	13.3%	8.2%	1.0%	7.1%
	40代	102	5.9%	28.4%	6.9%	12.7%	13.7%	9.8%	10.8%	2.0%	9.8%
	50代	127	11.8%	23.6%	9.4%	13.4%	15.7%	9.4%	8.7%	2.4%	5.5%
	60代	169	11.8%	22.5%	8.3%	20.7%	11.2%	8.9%	9.5%	1.8%	5.3%
	70代以上	157	9.6%	16.6%	8.9%	26.1%	13.4%	4.5%	10.8%	0.6%	9.6%
居住地区	旧烏山東部	83	7.2%	28.9%	9.6%	18.1%	12.0%	7.2%	10.8%	0.0%	6.0%
	旧烏山西部	350	12.6%	22.3%	10.6%	17.1%	10.3%	8.3%	10.9%	1.4%	6.6%
	旧南那須南部	170	9.4%	25.3%	5.9%	16.5%	12.9%	10.6%	9.4%	2.4%	7.6%
	旧南那須北部	135	11.9%	20.7%	8.9%	15.6%	14.1%	7.4%	14.1%	1.5%	5.9%

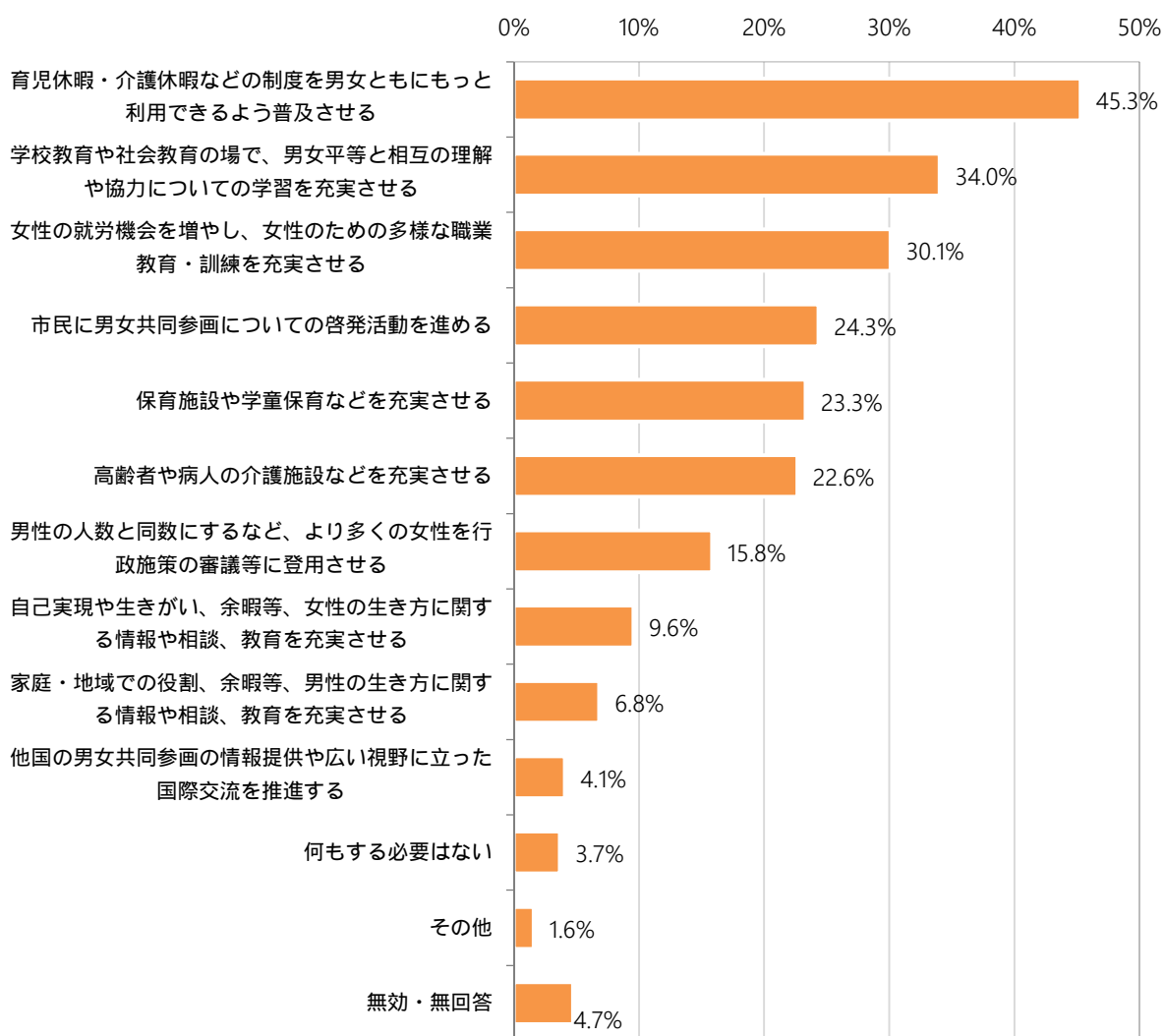


6-6 男女共同参画社会をつくるために行政がすべきこと [ 問 38 : 単数回答 n=764 ]

「育児休暇・介護休暇などの制度を男女ともにもっと利用できるよう普及させる」が約5割となっている。

( 結果概要 )

- ・ 30代では、「保育施設や学童保育などを充実させる」も多く、育児と仕事の両立の支援を重視している。
- ・ 70代以上では、啓発活動や介護施設の充実を重視している。

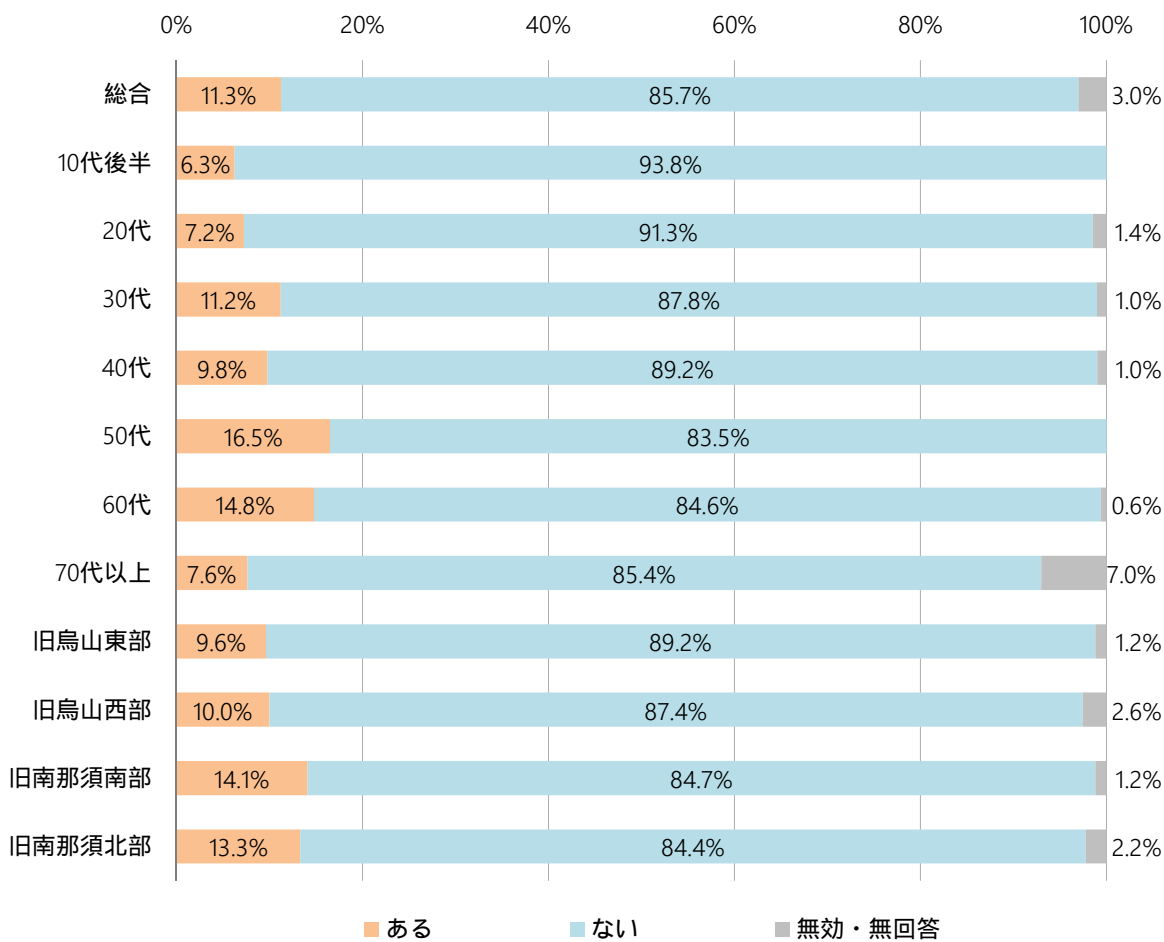
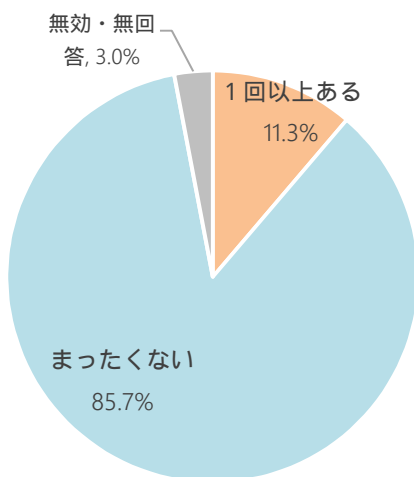


		n	市民に男女共同参画についての啓発活動を進める	学校教育や社会教育の場で、男女平等と相互の理解や協力についての学習を充実させる	育・訓練を充実させる	女性の就労機会を増やし、女性のための多様な職業教育・訓練を充実させる	育児休暇・介護休暇などの制度を男女ともにもっと利用できるよう普及させる	保育施設や学童保育などを充実させる	高齢者や病人の介護施設などを充実させる	男性の人数と同数にするなど、より多くの女性を行政施策の審議等に登用させる	報や相談、教育を充実させる	自己実現や生きがい、余暇等、女性の生き方に関する情報や相談、教育を充実させる	家庭・地域での役割、余暇等、男性の生き方に関する情報や相談、教育を充実させる	交流を推進する	他国の男女共同参画の情報提供や広い視野に立った国際交流を推進する	何もする必要はない	その他	無効・無回答
総合		764	30.8%	31.4%	32.3%	39.5%	23.5%	22.4%	18.3%	9.0%	7.8%	3.5%	4.9%	1.7%	2.9%			
年齢	10代後半	32	12.5%	40.6%	28.1%	43.8%	28.1%	9.4%	6.3%	9.4%	3.1%	3.1%	18.8%	3.1%	3.1%			
	20代	69	14.5%	40.6%	24.6%	56.5%	31.9%	14.5%	8.7%	11.6%	7.2%	4.3%	7.2%	1.4%	1.4%			
	30代	98	13.3%	33.7%	30.6%	56.1%	36.7%	9.2%	19.4%	3.1%	6.1%	5.1%	3.1%	3.1%	3.1%			
	40代	102	16.7%	37.3%	33.3%	43.1%	23.5%	21.6%	14.7%	10.8%	2.9%	4.9%	2.0%	1.0%	3.9%			
	50代	127	27.6%	29.1%	27.6%	44.1%	26.0%	25.2%	21.3%	8.7%	8.7%	3.9%	3.9%	3.1%	0.0%			
	60代	169	29.6%	36.1%	35.5%	45.0%	19.5%	27.8%	15.4%	10.7%	5.3%	3.6%	3.0%	0.6%	2.4%			
	70代以上	157	35.7%	31.8%	28.0%	38.2%	13.4%	31.8%	16.6%	12.1%	10.8%	3.8%	1.3%	0.6%	9.6%			
居住地区	旧烏山 東部	83	26.5%	32.5%	31.3%	53.0%	18.1%	16.9%	19.3%	8.4%	4.8%	2.4%	3.6%	0.0%	4.8%			
	旧烏山 西部	350	22.6%	33.7%	34.3%	44.9%	22.9%	24.9%	14.9%	10.3%	7.4%	4.3%	2.9%	1.7%	4.3%			
	旧南那須 南部	170	25.9%	37.1%	27.1%	43.5%	27.1%	20.6%	18.8%	6.5%	6.5%	5.3%	5.3%	0.6%	2.4%			
	旧南那須 北部	135	28.1%	37.0%	23.0%	45.2%	26.7%	23.7%	14.8%	12.6%	7.4%	3.7%	3.7%	2.2%	3.0%			

6-7 配偶者や交際相手からの暴力行為の有無 [ 問 39 : 単数回答 n=764 ]

約 1 割が暴力行為を受けたことがある。

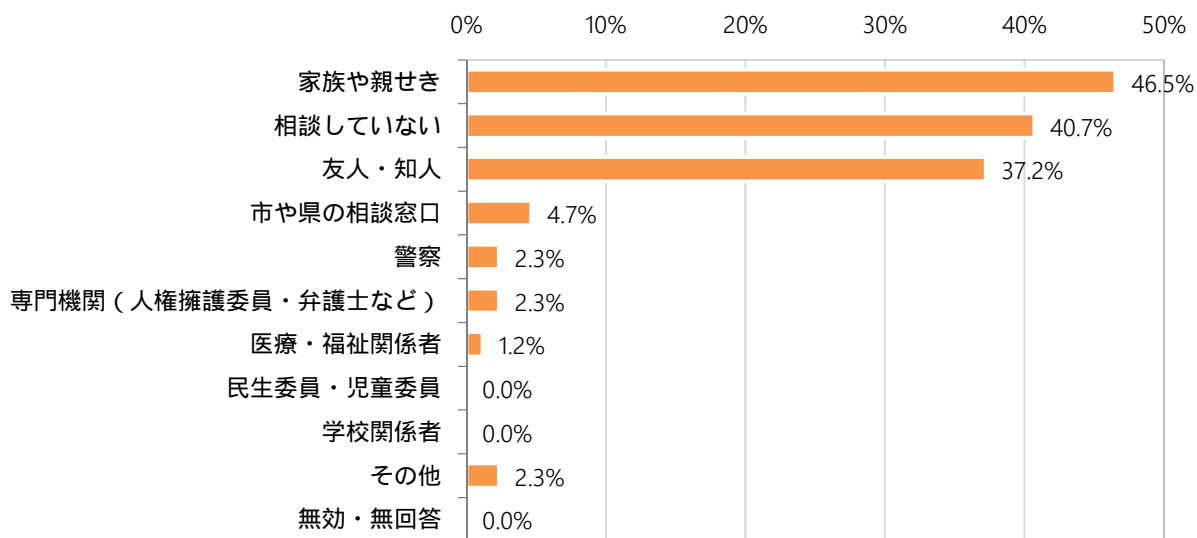
( 結果概要 )  
 ・ 50代、60代では、被害の割合が若干高い。



6-8 暴力を受けた時の相談相手(暴力を受けたことがある方) [問 40：単数回答 n=86]

「家族や親せき」が約5割、「友人・知人」が約4割、一方「相談していない」も約4割となっている。

( 結果概要 )  
 ・30代、50代では、「相談していない」が多い。



	n	友人・知人	家族や親せき	警察	市や県の相談窓口	民生委員・児童委員	医療・福祉関係者	学校関係者	専門機関	相談していない	その他	無効・無回答
総合	86	37.2%	46.5%	2.3%	4.7%	0.0%	1.2%	0.0%	2.3%	40.7%	2.3%	0.0%
年齢	10代後半	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	20代	5	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	11	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	0.0%	0.0%
	40代	10	40.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	50代	21	33.3%	38.1%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	52.4%	9.5%	0.0%
	60代	25	44.0%	56.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.0%	0.0%	0.0%
	70代以上	12	25.0%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
居住地区	旧烏山東部	8	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	旧烏山西部	35	37.1%	57.1%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	2.9%	34.3%	5.7%	0.0%
	旧南那須南部	24	33.3%	29.2%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	旧南那須北部	18	38.9%	50.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	38.9%	0.0%	0.0%

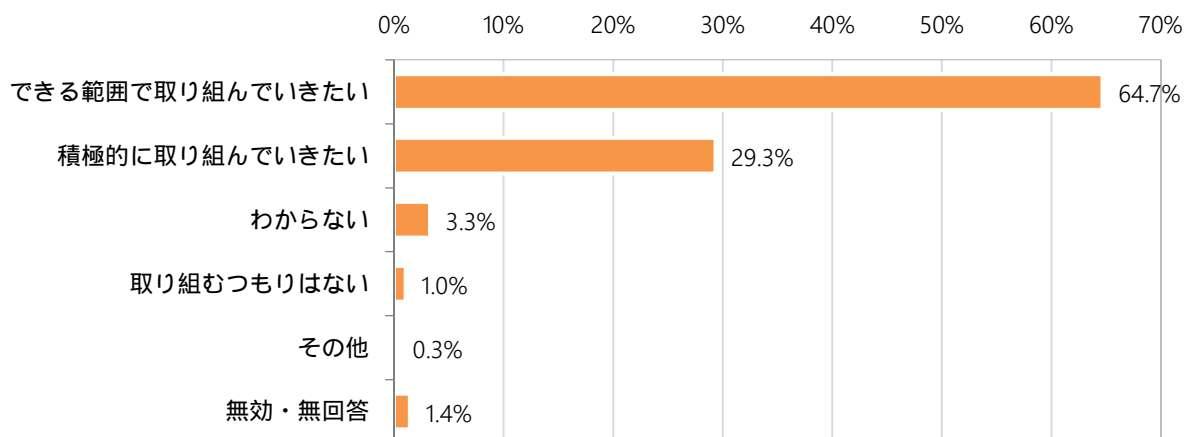
## 7 環境に関する考え方について

### 7-1 ごみの減量化やリサイクルの取り組みについて [ 問 41 : 単数回答 n=764 ]

「できる範囲で取り組んでいきたい」が6割強で最多となっている。

( 結果概要 )

- ・高齢層では、積極性が若干高い。

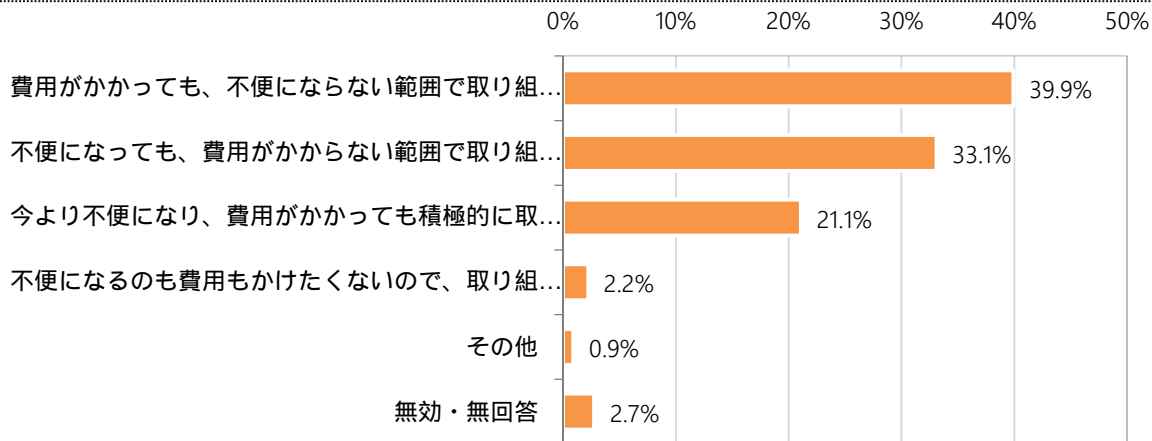


		n	積極的に取り組んでいきたい	できる範囲で取り組んでいきたい	取り組むつもりはない	わからない	その他	無効・無回答
総合		764	29.3%	64.7%	1.0%	3.3%	0.3%	1.4%
年齢	10代後半	32	21.9%	62.5%	6.3%	9.4%	0.0%	0.0%
	20代	69	29.0%	62.3%	1.4%	7.2%	0.0%	0.0%
	30代	98	25.5%	66.3%	4.1%	3.1%	1.0%	0.0%
	40代	102	25.5%	67.6%	1.0%	5.9%	0.0%	0.0%
	50代	127	27.6%	72.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60代	169	33.7%	63.3%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%
	70代以上	157	33.1%	62.4%	0.0%	1.9%	0.6%	1.9%
居住地区	旧烏山東部	83	30.1%	63.9%	0.0%	4.8%	1.2%	0.0%
	旧烏山西部	350	29.4%	64.9%	1.1%	3.4%	0.3%	0.9%
	旧南那須南部	170	30.0%	65.9%	1.2%	2.9%	0.0%	0.0%
	旧南那須北部	135	29.6%	67.4%	0.7%	2.2%	0.0%	0.0%

7-2 日常生活での地球温暖化防止の取り組みについて [ 問 42 : 単数回答 n=764 ]

「費用がかかっても、不便にならない範囲で取り組みを実施すればよい」が約4割で最多となっている。

( 結果概要 )  
 ・40代では、低費用を重視している。



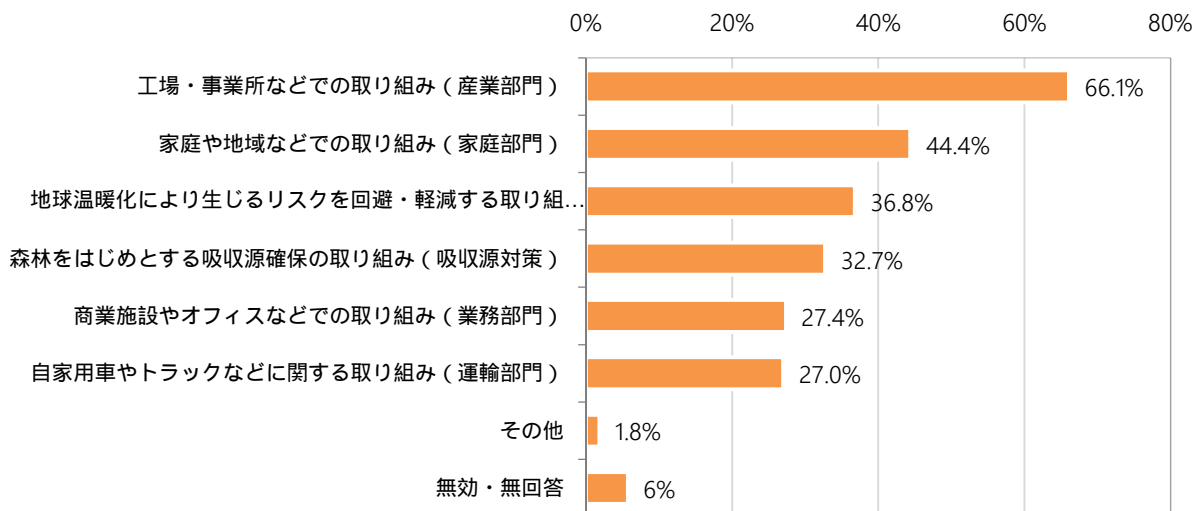
	n	今より不便になり、費用がかかっても積極的に取り組みを行う必要がある	費用がかかっても、不便にならない範囲で取り組みを実施すればよい	不便になっても、費用がかからない範囲で取り組みを実施すればよい	不便になるのも費用もかけたくないのに、取り組みを行う必要はない	その他	無効・無回答	
総合	764	21.1%	39.9%	33.1%	2.2%	0.9%	2.7%	
年齢	10代後半	32	9.4%	43.8%	31.3%	9.4%	6.3%	0.0%
	20代	69	10.1%	47.8%	36.2%	2.9%	1.4%	1.4%
	30代	98	14.3%	39.8%	37.8%	5.1%	1.0%	2.0%
	40代	102	17.6%	30.4%	50.0%	1.0%	0.0%	1.0%
	50代	127	24.4%	44.1%	28.3%	3.1%	0.0%	0.0%
	60代	169	26.6%	42.0%	29.0%	0.6%	0.6%	1.2%
	70代以上	157	27.4%	38.2%	28.0%	0.6%	1.3%	4.5%
居住地区	旧烏山東部	83	25.3%	39.8%	28.9%	2.4%	1.2%	2.4%
	旧烏山西部	350	24.0%	38.0%	32.9%	2.3%	0.3%	2.6%
	旧南那須南部	170	15.3%	44.1%	35.9%	2.4%	1.8%	0.6%
	旧南那須北部	135	19.3%	42.2%	35.6%	0.7%	1.5%	0.7%

7-3 地球温暖化防止・脱炭素社会づくりを推進する取り組みについて [問 43：単数回答 n=764]

「工場・事業所などでの取り組み」が7割弱で最多となっている。

( 結果概要 )

・30代では、適応策を重視、40代では、吸収源対策を重視している。



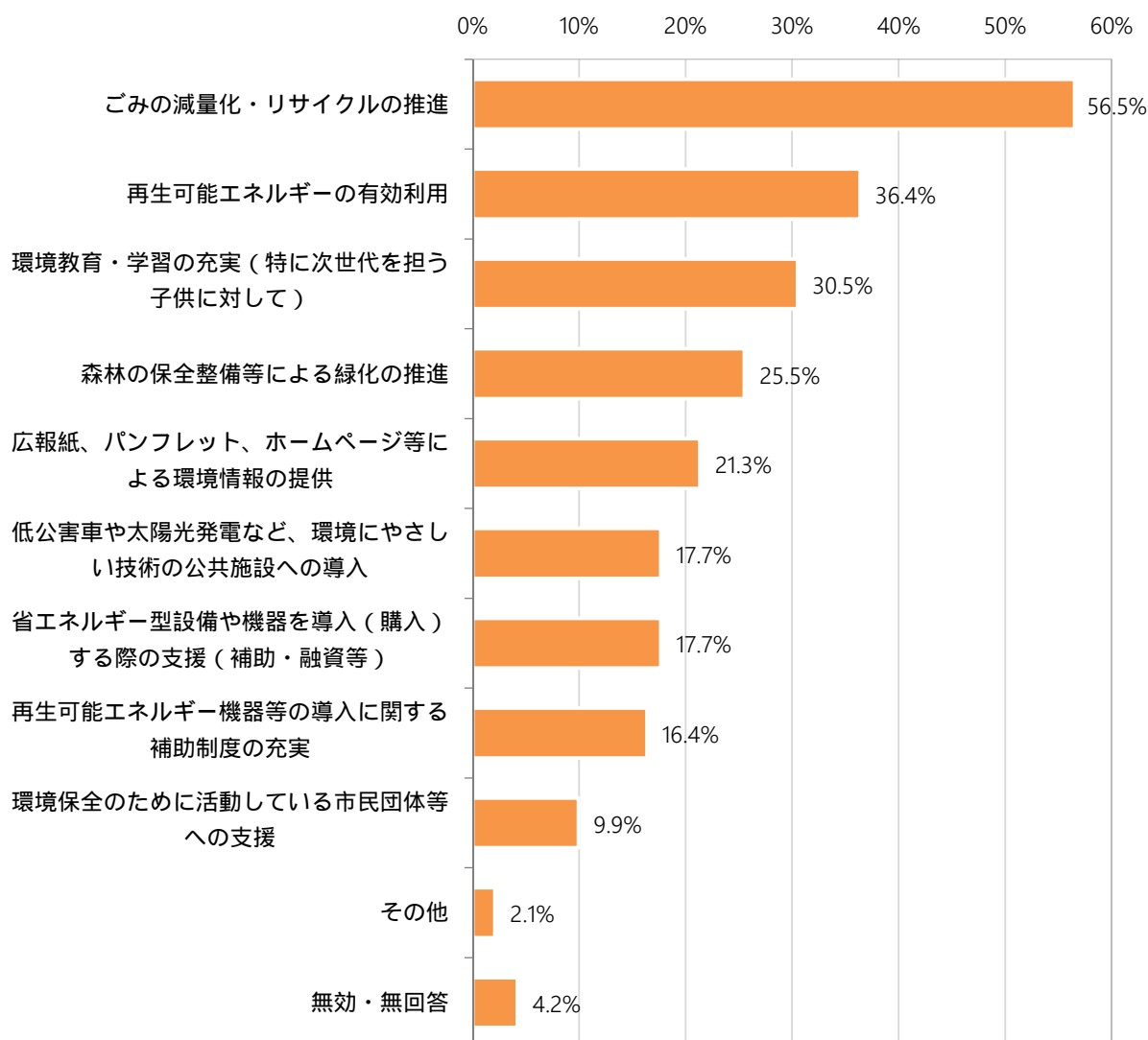
	n	工場・事業所などでの取り組み (産業部門)	商業施設やオフィスなどでの取り組み (業務部門)	家庭や地域などでの取り組み (家庭部門)	自家用車やトラックなどに関する取り組み (運輸部門)	森林をはじめとする吸収源確保の取り組み (吸収源対策)	地球温暖化により生じるリスクを回避・軽減する取り組み (適応策)	その他	無効・無回答	
		総合	764	66.1%	27.4%	44.4%	27.0%	32.7%	36.8%	1.8%
年齢	10代後半	32	59.4%	25.0%	43.8%	28.1%	31.3%	28.1%	6.3%	3.1%
	20代	69	59.4%	23.2%	44.9%	17.4%	34.8%	40.6%	1.4%	1.4%
	30代	98	68.4%	35.7%	33.7%	24.5%	30.6%	38.8%	1.0%	3.1%
	40代	102	66.7%	25.5%	30.4%	27.5%	40.2%	39.2%	2.9%	4.9%
	50代	127	65.4%	36.2%	51.2%	33.1%	31.5%	35.4%	2.4%	0.0%
	60代	169	72.2%	26.0%	51.5%	26.6%	30.2%	34.9%	1.2%	3.0%
	70代以上	157	65.6%	21.7%	49.0%	29.3%	33.8%	38.9%	1.3%	13.4%
居住地区	旧烏山東部	83	77.1%	34.9%	43.4%	25.3%	37.3%	30.1%	0.0%	3.6%
	旧烏山西部	350	68.9%	29.4%	44.3%	30.6%	29.1%	34.9%	2.3%	4.3%
	旧南那須南部	170	60.6%	25.9%	42.9%	24.1%	37.1%	42.9%	1.2%	4.1%
	旧南那須北部	135	63.7%	22.2%	48.9%	23.0%	37.0%	42.2%	3.0%	5.2%

7-4 環境に対する取り組みについて [ 問 44 : 単数回答 n=764 ]

「ごみの減量化・リサイクルの推進」が5割以上で最多となっている。

( 結果概要 )

・若年層では、次世代への教育を重視している。





		n	広報紙、パンフレット、ホームページ等による環境情報の提供	環境教育・学習の充実（特に次世代を担う子供に対して）	ごみの減量化・リサイクルの推進	森林の保全整備等による緑化の推進	環境保全のために活動している市民団体等への支援	再生可能エネルギーの有効利用	入 低公害車や太陽光発電など、環境にやさしい技術の公共施設への導	再生可能エネルギー機器等の導入に関する補助制度の充実	省エネルギー型設備や機器を導入（購入）する際の支援（補助・融資等）	その他	無効・無回答
総合		764	21.3 %	30.5 %	56.5 %	25.5 %	9.9%	36.4 %	17.7 %	16.4 %	17.7 %	2.1 %	4.2 %
年齢	10代後半	32	21.9 %	28.1 %	34.4 %	28.1 %	9.4%	21.9 %	21.9 %	12.5 %	12.5 %	6.3 %	6.3 %
	20代	69	24.6 %	39.1 %	56.5 %	24.6 %	8.7%	33.3 %	17.4 %	10.1 %	15.9 %	1.4 %	0.0 %
	30代	98	24.5 %	30.6 %	50.0 %	29.6 %	10.2 %	31.6 %	13.3 %	22.4 %	21.4 %	3.1 %	0.0 %
	40代	102	8.8%	34.3 %	50.0 %	27.5 %	7.8%	35.3 %	13.7 %	24.5 %	27.5 %	2.9 %	3.9 %
	50代	127	22.0 %	29.9 %	62.2 %	22.8 %	8.7%	40.9 %	18.9 %	14.2 %	22.0 %	3.1 %	0.8 %
	60代	169	22.5 %	30.2 %	62.1 %	22.5 %	10.7 %	39.6 %	22.5 %	16.6 %	16.6 %	0.6 %	3.0 %
	70代以上	157	25.5 %	27.4 %	61.8 %	28.0 %	12.7 %	38.2 %	17.2 %	12.7 %	8.9%	1.3 %	7.6 %
居住地区	旧烏山東部	83	16.9 %	33.7 %	59.0 %	24.1 %	14.5 %	38.6 %	16.9 %	16.9 %	20.5 %	0.0 %	2.4 %
	旧烏山西部	350	22.9 %	25.4 %	58.6 %	24.9 %	7.7%	38.0 %	19.7 %	17.1 %	18.0 %	2.0 %	4.0 %
	旧南那須南部	170	24.1 %	40.6 %	56.5 %	28.8 %	10.6 %	32.4 %	16.5 %	15.3 %	15.3 %	1.8 %	0.6 %
	旧南那須北部	135	19.3 %	30.4 %	55.6 %	26.7 %	12.6 %	37.8 %	16.3 %	16.3 %	18.5 %	4.4 %	3.0 %

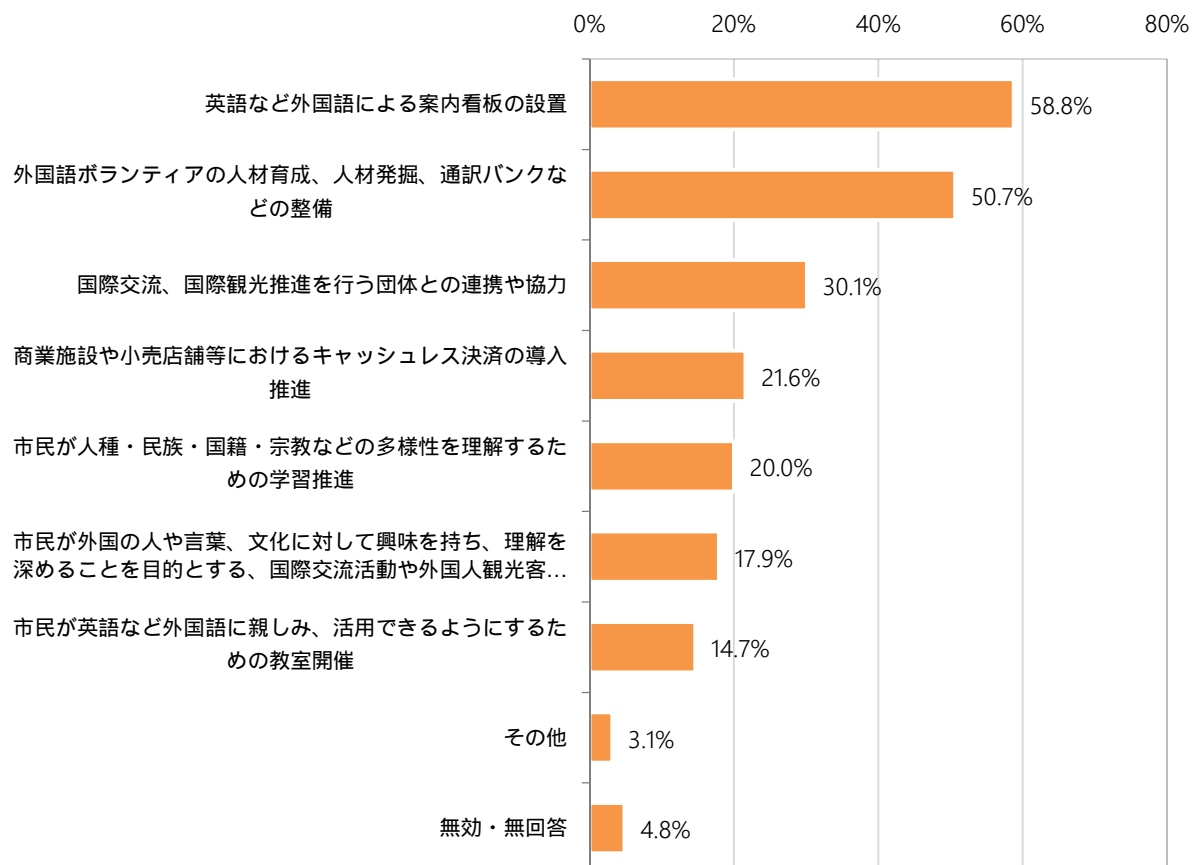
## 8 その他の項目について

### 8-1 旅行で訪れたり滞在したりする外国人に対する準備 [ 問 45 : 単数回答 n=764 ]

「英語など外国語による案内看板の設置」が約6割、次いで「外国語ボランティアの人材育成、人材発掘、通訳バンクなどの整備」が約5割となっている。

#### ( 結果概要 )

- ・若年層では、キャッシュレス化の推進も重視している。



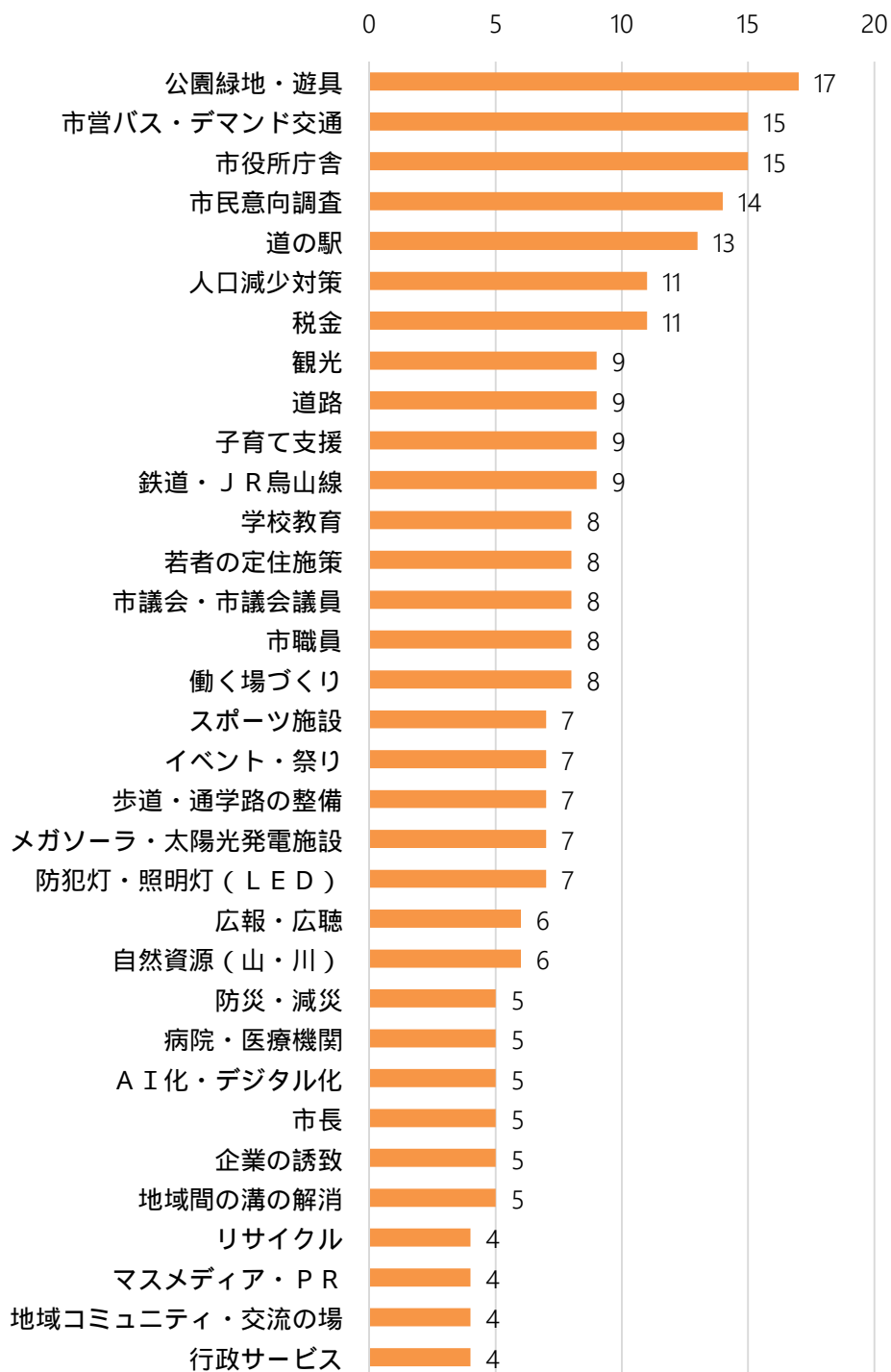
		n	英語など外国語による案内看板の設置	外国語ボランティアの人材育成、人材発掘、通訳バンクなどの整備	国際交流、国際観光推進を行う団体との連携や協力	市民が英語など外国語に親しみ、活用できるようにするための教室開催	市民が人種・民族・国籍・宗教などの多様性を理解するための学習推進	市民が外国の人や言葉、文化に対して興味を持ち、理解を深めることを目的とする、国際交流活動や外国人観光客対象活動を積極的に行う団体・個人の講演会開催	商業施設や小売店舗等におけるキャッシュレス決済の導入推進	その他	無効・無回答
総合		764	58.8%	50.7%	30.1%	14.7%	20.0%	17.9%	21.6%	3.1%	4.8%
年齢	10代後半	32	65.6%	53.1%	31.3%	12.5%	12.5%	12.5%	31.3%	9.4%	3.1%
	20代	69	69.6%	53.6%	36.2%	11.6%	23.2%	10.1%	29.0%	1.4%	0.0%
	30代	98	67.3%	44.9%	25.5%	16.3%	18.4%	11.2%	44.9%	2.0%	2.0%
	40代	102	55.9%	42.2%	29.4%	20.6%	17.6%	19.6%	30.4%	2.9%	2.0%
	50代	127	60.6%	56.7%	34.6%	11.8%	20.5%	18.9%	17.3%	3.9%	0.0%
	60代	169	56.2%	55.0%	27.2%	12.4%	22.5%	20.7%	13.6%	3.0%	4.7%
	70代以上	157	53.5%	51.6%	30.6%	16.6%	21.0%	22.3%	9.6%	3.2%	10.2%
居住地区	旧烏山東部	83	56.6%	55.4%	33.7%	13.3%	22.9%	12.0%	15.7%	0.0%	3.6%
	旧烏山西部	350	60.9%	53.1%	33.7%	16.3%	18.3%	18.3%	22.6%	3.1%	4.0%
	旧南那須南部	170	57.6%	52.9%	22.9%	14.7%	22.9%	22.9%	23.5%	2.9%	2.9%
	旧南那須北部	135	60.7%	43.0%	30.4%	12.6%	20.0%	16.3%	22.2%	5.9%	3.7%

## 9 那須烏山市の行政に関するご意見・ご要望

### 自由意見の分類

調査票の有効回収数764のうち、209(27.4%)に行政に関する自由な意見等の記述があり、今後のまちづくりに対する市民の方々の関心の高さがうかがえる結果となっている。

全ての意見等の内容から、まちづくりの各分野による分類・整理を行った結果は以下のとおりであり、「公園緑地・遊具」「市営バス・デマンド交通」「市役所庁舎」に関する内容が多くなっている。



- その他の自由意見の分類 - ( )内の数値は意見数

- ・景観(3) ・ファミリーレストラン(3) ・マイナンバーカード(3)
- ・烏山城跡(3) ・子どもの医療費助成(3) ・少子高齢化対策(3)
- ・若者の定住促進(3) ・防災行政無線(3) ・SDGs(3)
- ・新型コロナウイルス対策(3) ・協働のまちづくり(3)
- ・高齢者福祉(2) ・外国人との共生(2) ・人づくり(2)
- ・生活環境(2) ・農林水産業(2) ・障がい児者福祉(2)
- ・上水道(2) ・生活道路(2) ・安全・安心な生活環境(2)
- ・河川の整備(2) ・旧跡・名所(2) ・大型商業施設(2)
- ・山あげ祭(2) ・SNS、LINE(2) ・婚活支援(2)
- ・ふるさと納税(2) ・市町合併(2) ・防災集団移転(2)
- ・農地の管理(2) ・学習施設(2) ・空き家対策、空き家バンク(2)
- ・図書館(2) ・若者の発想力、感性の活用(2) ・文化会館(2)
- ・投票・選挙(2) ・交通安全(2) ・生涯学習(2) ・野菜直売所(2)
- ・特産品(2) ・買い物環境(2) ・学校の統廃合(2) ・地域福祉(2)
- ・那須烏山市の将来像 ・商工業 ・公共交通網 ・土地利用 ・健康づくり
- ・ペットの保護 ・市民意識の啓発 ・広報誌 ・個人情報
- ・近代化遺産 ・見守り活動 ・避難活動 ・自治会活動 ・障がい者の自立支援
- ・田舎ならではの魅力 ・魅力度ランキング ・産婦人科
- ・キャッシュレス決済 ・誇り、プライド ・若者の来訪機会 ・市民性
- ・公共施設の統合・再編 ・ハローワーク ・医療費 ・Wi-Fi環境
- ・楽しめる環境づくり ・不法投棄対策 ・コミュニティ施設 ・ソフト対策
- ・散策路、サイクリングロード ・再生可能エネルギー ・引き売り、移動販売
- ・保育士の給与 ・スクールバス ・宿泊施設 ・行政と市民の役割分担
- ・ごみ処理 ・悩み相談、相談窓口 ・ケーブルテレビ ・ホームページ
- ・国民健康保険料 ・移住、定住施策 ・那須烏山市を盛り上げる環境づくり
- ・社会資源(産業)の活用 ・他市町との差別化 ・GIGAスクール構想
- ・まちづくりビジョン ・再生可能エネルギー ・不登校児童への対応
- ・おしゃれスポット ・レジャー施設 ・龍門の滝 ・温泉施設 ・紅葉
- ・広域連携 ・下水道 ・過疎地域の指定 ・コンパクトシティ
- ・福祉ボランティア